

豊かな心と確かな力をほぐくむ造形学習

第45回 全道造形教育研究大会  
いしかり'95千歳大会



平成7年7月28日(金)・29日(土)

千歳市立向陽台小学校  
千歳市立向陽台中学校



# 第45回 全道造形教育研究大会 いしかり'95千歳大会

北海道造形教育連盟研究主題

## 自らの心をより豊かに拓く造形学習のあり方

＝一人ひとりの造形的表現活動の喜びを実感するために＝

いしかり'95千歳大会研究主題

## 豊かな心と確かな力を拓く造形学習



平成7年7月28日(金)・29日(土)

千歳市立向陽台小学校  
千歳市立向陽台中学校

主催 北海道造形教育連盟・石狩管内教育研究会図工美術部会・千歳市教育振興会  
主管 石狩造形教育連盟  
後援 北海道教育委員会・石狩管内教育研究会・石狩教育研修センター  
石狩教育研究所・千歳市教育委員会・北海道国公立幼稚園研究会  
北海道私立幼稚園協会・北海道私立幼稚園協会石狩支部  
千歳市私立幼稚園連合会・北海道高等学校文化連盟・千歳市PTA連合会

## \* 目 次 \*

ご 換 拶 .....	北海道造形教育連盟委員長 船 着 昭 弘 .....	1
ご 換 拶 .....	いしかり'95千歳大会運営委員長 和 田 弘 .....	2
ご 祝 辞 .....	北海道教育庁石狩教育局長 高 橋 茂 .....	3
歓迎の言葉 .....	千歳市教育委員会教育長 佐 藤 利 雄 .....	4
歓迎の言葉 .....	千歳市立向陽台小学校校長 見 藤 毅 .....	5
大会日程・開閉会式次第 .....		6
記念講演・歓迎セレモニー紹介 .....		7
チャレンジ工房・造形の広場紹介 .....		8
会場案内図 .....		9
大会役員・運営委員・実行部委員・事務局一覧 .....		10
研究の概要		
北海道造形連盟研究主題 .....		14
千歳大会研究主題 .....		16
公開授業一覧 .....		26
公開授業指導案 .....		27
分科会構成一覧 .....		40
分科会提言の要旨 .....		42
北海道造形教育連盟名簿 .....		67
全道造形教育研究大会の開催地と研究主題一覧 .....		68
北海道造形教育連盟規約 .....		70



## いしかり'95千歳大会に寄せて



北海道造形教育連盟委員長 船 着 昭 弘

緑豊かな大地と清冽な流れに恵まれる国立公園支笏湖を擁し、国際航空定期便が就航する「北のゲートウェイ」で、鉄道と高速自動車道が密接に連絡する北海道の交通拠点都市の千歳市で、第45回全道造形教育研究大会いしかり'95千歳大会が盛大に開催されることを心から喜びとするところです。

本大会の開催に当り、研究主題の追究とその準備に日夜ご協力を傾けられた運営委員長和田弘先生をはじめ、石狩管内教育研究会図工美術部会の先生方に、当連盟を代表して心からお礼を申し上げます。また、ご後援を賜りました北海道教育委員会、千歳市教育委員会など教育関係諸機関団体の皆様にも厚く感謝申し上げます。

さて、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの育成を学習の基本とする新しい学力観に立ち、自ら課題をみつけ、自主的に考え、自律的に判断し、表現し、決断したことを積極的にしかも誠実に実行、解決し、その結果に責任をとることができる力を育てる授業の構築が、今私たちに求められている何よりの課題となっています。

そのためには、個に即してねがいをもち、その子の心に寄り添いながら、その子のよさや可能性を生かし、おもしろい、楽しい、もっとしたいという授業を造形教育においても展開することあります。新しい学力観に基づく授業の改善は、自分の目的、自分の意志によって自分で学びとるものであることと、子どもの学習観を転換させることから始まります。学習に対する自己責任意識を醸成することが大切でありましょう。

この意味で、この千歳大会が、新しい学力観に基づく豊かな学力を育てるために、「千歳から明日に向かって新しい風を起こしてほしい」とねがって止みません。

この大会の結果に大きな期待を寄せるとともに、皆様のご活躍を祈念し、ご挨拶といたします。



## ようこそ、清流と国際空港の街、千歳へ



### 第45回全道造形教育研究大会

運営委員長 和田 弘

第45回全道造形教育研究大会が、ここ千歳市で開催され、ご来賓はじめ、全道各地から多数の先生方をお迎えし、ご指導いただく機会を得ましたことを厚くお礼申し上げますとともに、心より歓迎申し上げます。

千歳市は国立公園支笏湖とサケのふるさとの千歳川と美しい自然に恵まれた街です。また、昭和63年にオープンした新千歳空港は欧米に近いと言う事もあって国際空港としておおいに注目されている所でもあります。

今、「いじめ」や登校拒否、新しい学力観に基づいた学習指導、学校5日制などの課題があり、「一人一人の個性を伸ばし、豊かな心を育てる」教育が求められています。図工・美術教育はまさに、この求められている教育に欠くことの出来ない重要な存在です。

第45回千歳大会のテーマは「豊かな心と確かな力を育む造形学習を」としました。これは、北海道造形教育連盟主題や釧路大会の結果などをふまえたものです。

豊かな心とは、生きていく中で美しさを求める心  
確かな力とは、思いを表し、生きていく力  
とし、今研究大会を契機に、幼稚園・小中学校・高校のそれぞれの幼児・児童生徒が、表現することに喜びを見出し、生き生きとした創造活動をとおして、豊かな心と確かな力を身につけるために、私たち教師が力をつけるべく努力を続けてきたところ です。

この2日間の公開授業、チャレンジ工房、分科会協議、記念講演などをおして、ご参会の皆様方の実践研究の一助になれば幸いです。

終わりにになりましたが、ご指導ご後援いただきました、北海道教育委員会、千歳市教育委員会、石狩教育研修センター、各教育関係機関の方々や本研究大会の運営・研究にご尽力いただいた方々に厚く感謝申し上げますとともに、全道各地からご参会される皆様方に、心から歓迎申し上げます。

## 夢を育む造形教育



北海道教育庁石狩教育局長 高橋 茂

第45回全道造形教育研究大会が、全道各地から多数の先生方の参加のもとに、ここ千歳市において盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

また、北海道造形教育連盟が発足以来、人間教育としての造形教育の重要性を認識し、豊かな感性やより美しいものを追求する豊かな心の育成を目指して指導内容や指導方法の改善・充実に取り組むなど、本道の造形教育の発展に大きな成果を上げられたことに深く敬意を表するものであります。

さて、今日、社会の変化に主体的に対応し、個性的、創造的で豊かな心を持ち、たくましく生きる子供を育成する教育の推進が求められております。図画工作・美術科においても、造形的な創造活動の基礎的な能力の育成とともに、表現する喜びや芸術を愛好する豊かな心を育てることが重視されています。

そのためには、個性の伸長や創造性の育成を重視した指導計画などの作成とともに、子供たちの夢を育み、自分なりのよさや感覚を思いのままに発揮し、表現活動を楽しむ子供主体の創造活動を展開することが大切であります。

このような中で、本研究大会が「自らの心をより豊かに拓く造形学習の在り方」を研究主題に掲げ、造形教育に携わっている幼稚園から高等学校までの先生方が一堂に会して研究協議を深められますことは、誠に時宜を得たものであります。

本研究大会の成果が、北海道の造形教育の一層の充実に寄与するものと期待しております。

終わりに、本研究大会の開催に御尽力いただきました関係者の皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、実り多い研究大会になることを祈念して、お祝いの言葉といたします。



## 歓迎のことば



千歳市教育委員会教育長 佐藤利雄

このたび、第45回全道造形教育研究大会いしかり'95千歳大会が、全道各地から多数の先生方をお迎えし、当市におきまして盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに歓迎を申し上げます。

社会の変化が急速に進む中、学校教育においては、生涯学習の基礎を培うという立場から、児童生徒の内発的な学習意欲を喚起し、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などを学力の基本とする新しい学力観に立った教育計画や実践を具現化していくことが課題であります。

このような折りに、「一人ひとりの造形的表現活動の喜びを実践する」ために「自らの心をより豊かに拓く造形学習のあり方」をテーマに、研究協議を深められますことは、時代の要請に応えた取り組みとして、その意義が大きいと存じます。さらに、幼稚園、小・中学校、高等学校の先生方が、同一テーマのもとに研究協議するこの大会は、大きな特色をもつものでありましてその成果が今後の教育の充実発展に生かされますよう、ご期待を申し上げます。

当市では、水と緑に包まれた豊かな自然環境のもと、国際定期航空便が就航する空陸交通の拠点都市、道央テクノポリス開発計画、地方拠点都市地域計画など大型プロジェクトを積極的に推進しております。そして、「せせらぎに創造し、世界にはばたく、つどいの里」を都市づくりのテーマに、「人間性と個性を培う“教育文化都市・ちとせ”」を目ざして教育を推進しております。当市の取り組みなどについてのご意見をいただければ幸いと存じます。

終わりに、本研究大会の準備・運営にご尽力いただきました関係の皆様方に心から感謝申し上げます。本大会の実り多い成果を祈念して歓迎のことばといたします。

## 歓迎の言葉



千歳市立向陽台小学校 校長 見 藤 毅

「明るく伸びゆく街であれ！太陽に向かってたくましく花咲き続ける向日葵の如くあれ！」との希望を託して昭和53年に工事が着手された街の名前、それが「泉沢向陽台」団地の云われです。

この団地に建つ本校を会場として、第45回全道造形教育研究大会～いしかり'95千歳大会～が開催されますことを喜ばしく思いますとともに、全道各地からご参加されます皆様を心より歓迎いたします。

校歌にもある「ママチの澄んだ流れ」「樽前の雄々しき仰ぎ」「大地をつつむ樹海」の豊かな自然環境に囲まれ、開校14年目の学校です。この自然条件を生かして「花と緑と小鳥がいっぱい」の学校を合い言葉に数々の花いっぱいコンクール賞の受賞、愛鳥モデル校指定を受けています。

また、「自ら学ぶ意欲と温かく思いやる心を育てる学級・学年・学校づくりをとおして、児童一人一人の個性を伸ばし、より豊かな心を育てる」を学校課題とし、研究主題「感性の磨き、情操豊かな児童の育成をめざして～創造する喜びを感じ、生き生きと表現する活動を通して～」を掲げ、3か年の継続研究を進めてきました。今年度はそのまとめの年でもあります。

ささやかな拙い研究ですが、子ども達がどのくらい成長したか、身についたか、表現できたかをこの機会に多くのご指導、ご意見を頂き明日からの糧にしたいものと考えております。

終わりに、本研究大会が大きな成果を上げられ、実りあるものとなりますよう心からご祈念申し上げ、授業公開及びアトラクションをされた9校と幼稚園を代表して歓迎の言葉といたします。



# 大会日程

## 大会第1日目 7月28日(金)

8:30	9:30	10:20	10:45	11:40	12:20	13:10	13:25	16:10	18:30	20:30
受付	公開授業 (小・幼、向陽台小学校 中 向陽台中学校)	移動	歓迎セレモニー 開会式 (向陽台小学校)	昼食 休憩	学年合同授業 (向陽台小学校)	移動	分科会 (向陽台小学校)	移動 市内観光 (はけのふるさと館)	歓迎 レセプション (キリンガーデン)	

## 大会第2日目 7月29日(土)

8:30	9:00	10:20	10:30	11:50	12:00	12:20
受付	チャレンジ工房 ネットワーク部会 (向陽台小学校)	移動	記念講演 (向陽台小学校)	休憩	閉会式 (向陽台小学校)	

### 開会式次第

	進行	千歳大会運営副委員長	関	建	治
☆ 歓迎セレモニー		千歳市立北栄小学校スクールバンド			
1. 開会のことば		千歳大会実行委員長	宮	川	誠
2. 挨拶		千歳大会運営委員長	和	田	弘
		北海道造形教育連盟委員長	船	着	昭
3. 祝辞		北海道教育庁石狩教育局長	高	橋	茂
		千歳市教育委員会教育長	佐	藤	利
4. 来賓紹介					
5. 研究概要説明		北海道造形教育連盟研究部長	菅	原	清
		千歳大会研究部長	伊	藤	光
		千歳市学校課題発表研究部長	松	島	貴
6. 閉会のことば		千歳大会実行委員長	宮	川	誠
※ 連絡事項					

### 閉会式次第

	進行	千歳大会運営副委員長	本	庄	勝	弘
1. 開会のことば		千歳大会実行委員長	宮	川	誠	一
2. 挨拶		北海道造形教育連盟委員長	船	着	昭	弘
		千歳市立向陽台小学校長	見	藤		毅
3. 連盟旗引継ぎ		千歳市 → 札幌市				
4. 次期開催地代表挨拶		札幌造形教育連盟委員長	伊	藤	善	彬
5. 閉会のことば		千歳大会実行委員長	宮	川	誠	一
※ 連絡事項						

### 記念講演次第

	進行	千歳大会事業部長	藤	木	邦	啓
1. 開会のことば		千歳大会事務局長	吉	田	英	夫
2. 講師紹介		千歳大会運営副委員長	池	端	外	博
3. 講演						
4. 謝辞		千歳大会運営副委員長	福	田	靖	之
5. 閉会のことば		千歳大会事務局長	吉	田	英	夫

## 記念講演

### 「夢と喜びの広がる造形学習」

～造形の要素と教材を見なおす～

#### 講師 砂場三郎氏



##### 〈講師略歴〉

- 1926年 石川県に生まれる
- 1950年 金沢大学教育学部卒業
- 1951年 東京都公立小学校図工専科教員
- 1986年 東京都板橋区立成増小学校を最後にご退職
- 1987年 帝京大教育学部非常勤講師
- 1989年 竹早教員養成所非常勤講師
- 1990年 作家活動に専念
  - ・二紀会会員
  - ・日本美術家連盟会員

### 歓迎アトラクション

#### ★出演

千歳市立北栄小学校

スクールバンド 53名

#### ★指揮者

塚本英治先生

#### ★会場

千歳大会全体会場

(千歳市立向陽台小学校 講堂)

#### ★日程

平成7年7月28日(金)10:45～



昭和55年校舎改築を記念して結成され、今年で15年になります。過去500名以上のバンド部がこのバンドで音楽の楽しさを体得し、巣立っております。

千歳市は飛行場の騒音が絶えない街ですが、その中から美しい音楽をと、部員一同頑張ってお練習しております。入学式・卒業式・運動会・学芸会・全校集会など学校行事を中心として活躍しております。

過去3回、北海道吹奏楽コンクール最優秀校となり、長野・神戸・千葉で行われた全国大会に出場した経験をもっております。

どうぞ、素晴らしい演奏をお楽しみ下さい。



# チャレンジ工房

## アクセサリ工房

銅版や銅線を曲げたり、ひねったり、金槌でたたいたり、延ばしたりして、素材のもついろいろな表情を生かした、楽しい手づくりアクセサリを創ってみましょう。

## ペーパー工房

「ペーパー工房」と名付けましたが、紙の他に空瓶など身近な材料を使って、「おもちゃ」を作ります。こどもが大好きな音のでるおもちゃ（さかさま風鈴と名付けました）を作りたいと思います。

優しい音色の風鈴を作って涼しい気分には浸りませんか。

## アニメ工房

ANIMATIONという言葉はANIMATE「活気ある・生命のある・動いている」が語源となっています。生命のないものに生命を吹き込むというこの言葉は何か教育にも深い関係があるように思えます。

ここではプロや生徒の作った作品の上映の他、機材の紹介や使い方等、さまざまな方向性を示します。

## 版画印刷工房

一学期に実践した板紙凸版のなかから数点を、実際に参加者の皆さんに刷っていただきます。

さらに簡易リトグラフの作成手順を実際に体験していただき、造形学習における可能性を追求していただきます。

## マルチメディア工房

きたるべき21世紀に向け、教育とマルチメディアの関わりは一層深いものになっていくことはまちがいない。そんなことを耳にして気にはなっている、とつくチャンスがない教師が多いのでは。

この工房では、札幌エレクトロニクスセンターから、インターネットを通じて全世界に子供たちの絵の展覧会をする！ことを提案しています。

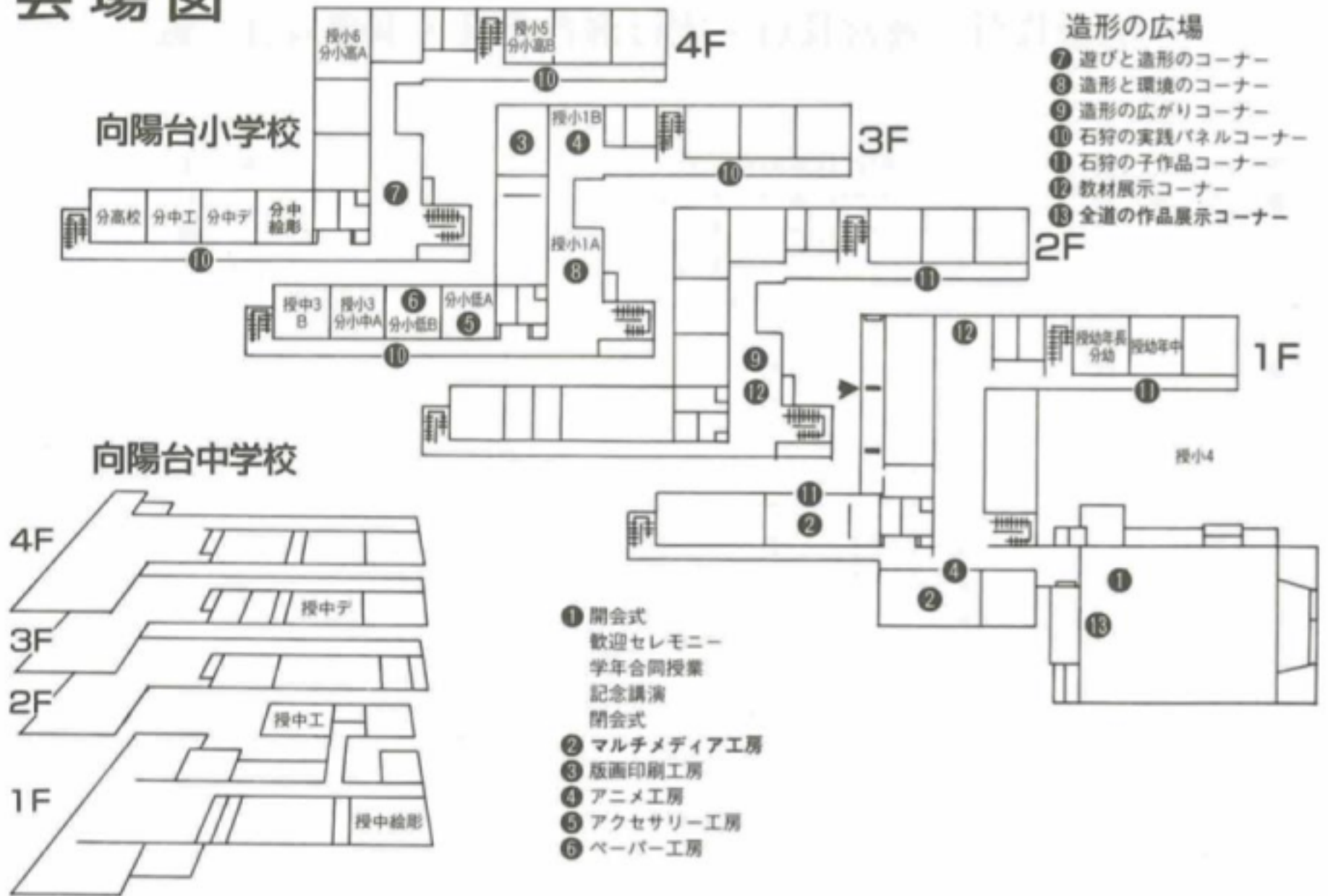
このことに、「？」と思う人、必ず「！」と解答を得るはず。千歳マルチメディア情報センターの協力で、実際にインターネットを通じて世界のホームページを見ることができます。

その他、CD-ROM体験コーナー、コンピューターグラフィック体験コーナーなど、10台のコンピューターとハイパーなスタッフがあなたをお待ちしています。

## 造形の広場

- 「遊びと造形のコーナー」……………遊びの楽しさを暮らしのなかに
- 「造形と環境のコーナー」……………環境教育と造形の接点をさぐる
- 「造形の広がりコーナー」……………造形学習の広がりの可能性
- 「石狩の実践パネルコーナー」……石狩の風土に根ざし、石狩の人々の生き方に
- 「石狩の子の作品コーナー」……………触れ、こどもの喜び溢れる作品を

# 会場図



# 市内案内図

水と緑のまち さけのふるさと ちとせへようこそ

**レセプションのご案内**  
 28日 18:30～  
 キリンガーデン  
 会費 4,000円

**市内観光のご案内**  
 28日 16:15向陽台小より  
 バスが出ます。  
**「さけのふるさと館」**  
 千歳川の川底が見える淡  
 水魚の水族館  
 入館料は 640円





## 大会役員・運営役員・実行部各委員・事務局員一覧

大会 副大会 長	北海道造形教育連盟委員長 北海道造形教育連盟副委員長 北海道造形教育連盟副委員長 北海道造形教育連盟副委員長 北海道造形教育連盟副委員長	船小伊鍋奥 着杉藤谷野 昭信英尊郁 弘雄明之夫
顧問	北海道教育庁石狩教育局長 北海道教育庁石狩教育局義務教育指導班指導主事 千歳市教育委員会教育委員長 千歳市教育委員会教育長 千歳市教育委員会教育部長 千歳市教育委員会教育部次長 千歳市教育委員会学校教育課長 千歳市校長会長 石狩管内校長会長 石狩管内教育研究会長 石狩教育研修センター所長 北海道高等学校文化連盟会長 北海道国公立幼稚園研究会長 北海道私立幼稚園協会長 千歳市PTA連合会長 千歳市立向陽台小学校PTA会長 北海道造形教育連盟顧問 北海道造形教育連盟顧問 北海道造形教育連盟顧問 北海道造形教育連盟顧問 北海道造形教育連盟顧問 北海道造形教育連盟顧問 北海道造形教育連盟顧問 北海道造形教育連盟顧問 石狩造形教育連盟顧問 石狩造形教育連盟顧問 石狩造形教育連盟顧問 石狩造形教育連盟顧問	高上島佐神齊渡佐小若十藤杉大古川高伊種森松金鹿三巖谷奈 橋田倉藤藤藤部藤椋原河枝淵林川村橋藤市川島井鳴上村良 茂充平雄徹隆夫朗史利皓道吾文俊広吉惠次郎夫男男健晤栄巳秋 充利 英徹哲英勝直正昭宏昌安栄 誠昭輝秀 信宏孝
運営委員長	和田 弘	(恵庭市立恵庭中学校長)
運営副委員長	工藤文夫 見藤毅 松浦武光 関建治 池端外博 福田靖之 本庄勝弘 柴井義雄 関寛 横山和郎 桑田正博	(千教振会長、千歳市立千歳中学校長) (会場校小学校長、千歳市立向陽台小学校長) (会場校中学校長、千歳市立向陽台中中学校長) (千歳市立北陽小学校長) (石狩町立南線小学校長) (江別市立野幌小学校長) (当別町立蔵岱小学校長) (当別町立青山中央小中学校長) (千歳市私立幼稚園連合会長、千歳市くるみ幼稚園長) (道立千歳北陽高等学校) (石教研凶美部長、広島町立東部中学校)

運 營 委 員

田	中	千	代	(千歳市わかば幼稚園長)
横	田	清	子	(千歳市メリー幼稚園長)
梅	原	久	雄	(千歳市つくし幼稚園副園長)
菊	地	俊	弘	(石狩町立八幡小学校校長)
丸	子		武	(千歳市立北栄小学校教頭)
今	川		勲	(千歳市立祝梅小学校教頭)
計	良	嘉	典	(千歳市立向陽台小学校教頭)
伊	藤	和	幸	(千歳市立北陽小学校教頭)
阿	部	桂	三	(千歳市立青葉中学校教頭)
佐	藤		侃	(千歳市立向陽台中学校教頭)
岩	間	弘	光	(惠庭市立惠北中学校教頭)
竹	内	督	人	(浜益村立浜益中学校教頭)
野	原	嘉	人	(広島町立西の里小学校教頭)
野	澤	紀	人	(当別町立当別中学校教頭)
瀬	尾	広	義	(石教研図美部会事務局長、石狩町立花川北中学校)
			志	

大会実行委員長  
大会実行副委員長  
実行部委員

宮	川	誠	一	(千歳市立東千歳中学校長)
林		憲	一	(千歳市立信濃小学校教頭)
木	谷	史	郎	(千歳市立桜木小学校教頭)
堂	下	由	子	(江別市江別第二小学校)
雨	海	亜	美	(惠庭市立恵み野中学校)
清	野		幸	(広島町立広葉中学校)
宮	武	輝	久	(江別市立大麻中学校)
田	中	勝	治	(千歳市立向陽台中学校)
天	谷	道	子	(厚田村立聚富中学校)
佐	藤	竹	晴	(広島町立大曲小学校)
綱	淵	敏	幸	(千歳市立祝梅小学校)
阿	部		恵	(千歳市立向陽台小学校)
池	浦	公	美	(千歳市立向陽台小学校)
遠	田	悦	子	(千歳市立信濃小学校)

事務局次局長  
事務局

吉	田	英	夫	(千歳市立千歳中学校教頭)
奈	良	昌	美	(千歳市立千歳中学校)
島	田		茂	(千歳市立信濃小学校)
本	田		章	(江別市立江陽中学校)
川	名	義	美	(石狩町立花川北中学校)
墓	田	充	泰	(当別町立西当別中学校)
陰	山	千	文	(千歳市立真町中学校)
小	島	裕	美	(千歳市立北斗中学校)

研究部  
研究副部長  
研究部

伊	藤	光	悦	(惠庭市立柏陽中学校)
山	崎	正	明	(千歳市立向陽台中学校)
加	藤	雅	子	(石狩町立石狩小学校)
玉	木	美	香	(千歳市わかば幼稚園)
本	田	美	智	(千歳市わかば幼稚園)
相	坂	い	ず	(千歳市わかば幼稚園)
馬	越	由	香	(千歳市わかば幼稚園)
松	島		斉	(千歳市立向陽台小学校)
小	森	政	英	(千歳市立向陽台小学校)
駒	場	雅	子	(千歳市立向陽台小学校)
伊	賀	悦	子	(千歳市立向陽台小学校)
小	山	寿	樹	(千歳市立向陽台小学校)





事業部員

田前三越井堀能本岡	中田浦後上井戸城田	博尚優芳治みち真日出祐	之子彦子子美男子	(千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立桜木小学校) (千歳市立長都中学校) (石狩町立紅葉山小学校) (江別市立江別第一中学校) (千歳市立青葉中学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校)
-----------	-----------	-------------	----------	--

広報部長  
広報副部長  
広報部員

田岩宮黒高葛佐山高林	中田鳴川浜西藤端橋	嘉ひと由弘正真典美三	み美子子行之子智子親	(江別市立大麻東中学校) (江別市立中央中学校) (恵庭市立柏小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立祝梅小学校) (千歳市立緑小学校)
------------	-----------	------------	------------	--

庶務部長  
庶務副部長  
庶務部員

安住坪石山越佐三高沖三細瀬辻長澤原謙中桜森関小富田松小野谷樋畑	藤友松丸内智藤木張崎浦越野村内里田田篠井田谷高榎中井寺内渡山	信俊早靖菜穂三三政俊啓かお登有悦英祐伸節武敏アイ千五理仁真博	行郎苗之郎子豊勉男晋明治おり和子敏子子志秀子月惠美司博	(江別市立中央小学校) (恵庭市立恵庭小学校) (千歳市立日の出小学校) (浜益村立浜益中学校) (江別市立大麻中学校) (恵庭市立恵庭中学校) (恵庭市立恵み野旭小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立向陽台小学校) (千歳市立日の出小学校) (千歳市立千歳第二小学校) (千歳市立祝梅小学校) (千歳市立日の出小学校) (千歳市立千歳小学校) (千歳市立駒里小学校) (千歳市立向陽台中学校)
---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	--

協力者

千歳市立向陽台小学校PTA

下川部	美奈子
佐々木	多紀子
葛間	鈴代子
池田	貴静子
成田	悦子
松川	すみみ
石井	さとみ
中住	吉信子
坂口	和子
斎藤	友子
川原	艶子
山口	真紀子
山井	田龍裕子
上竹	條鳴梨佳子
野中	野美喜子
後藤	由美



## 自らの心をより豊に拓く造形学習の在り方

一人一人が造形的表現活動の喜びを実感するために

北海道造形教育連盟研究部長 菅原清貴

(札幌市立三角山小学校)

### 1. はじめに…人間形成のドラマを！

今年に入り、様々な社会の歪みが表面化する出来事が噴出している。これまで、戦後の華々しい復興の中で培ってきた自負心である、経済の伸長や治安の維持などが、21世紀を前に音をたてて崩れていくかのようである。また、教育現場にあっては、頻発するいじめ・暴力・登校拒否など子どもたちは忌まわしい教育環境におかれている。学校経営や生徒指導にかかわる教育問題と片付けず、この悪しき教育非行を解決しなくては教育もまた暗黒である。

そこで、学校が生きる活力の源であるために、人と物と事の新鮮な出会いの場であり、創造的な喜びの場であることを一層保障する「感動劇場」である必要があると考える。

そのために教師は、優れた演出者の感性で、子どもをとらえ、その子のこだわりを価値を見出し（支援・援助）成長の兆しを感じとることが必要である。

また、一人ひとりの子が、学ぶ意欲を高めるために、子どもの感性（価値あるものに自ら気付く感覚）が、以下のものにつながる必要がある。

- ・人、もの、ことに関わりをもつ関心や意欲。  
{体験を大切に生の実感を豊富に味わわせる}
- ・創造への自分なりのこだわり。  
{没頭する姿、鼻歌がでる楽しさ}
- ・自ら問い続ける姿・自ら学習を切り拓く姿。  
{楽しさを見付け出す喜びの実感}

これらの土台に、対象に対する深い「愛」が必要である。つまり、認め合い・ひびきあう人間形成ドラマの中に、創造教育は存在するのだ。

### 2. 魂が躍動する「魅力の場」としての造形学習

「自らの心を豊かに拓く」とは、この人間形成のドラマの中で、自分の表現・自分なりの原理・自分らしさの発揮など造形活動を通して、自己実現へ向かおうとする、子どもの自主的な姿を期待するものである。

その活動を通して、以下のような表現の喜びを実感させていくことが大切である。

- ・形や色を通して、言葉ではあらわせないことを表現する満足
- ・自己の思いに向かう喜び
- ・自己の思いが実現（表現）される満足
- ・自己が決定する（活動や作品の中で）快感
- ・自己が獲得した創造的な技能に対する自信

この「喜び」の実感は、その子のもつ「よさ」のあらわれともいえる。さらに、活動を通して「その子のよさ」が蓄積されていくなれば、「その子らしさ」の形成へと高まっていくであろう。

自分で考え・思いをめぐらせ・試み・判断してまとめあげていく力が、人間として自主的に生きていく基本的な力であるとするなら、このことが最も発揮されるのが、造形活動ではなかろうか。

心豊かな自己表現（豊かな情操・感性の磨き）を目指し生涯にわたって絶え間なく自己研鑽を続けることが、人生に二倍の充実感と広がりをもたらせるであろう。（人生倍増計画だ）

### 3. 研究内容…4つの研究課題の実現の一步を

この間私たち北海道造形教育連盟の研究部は、全道造形教育ネットワークをつくり発展させよう取り組みを重ねてきた。北海道の美しくそして厳しい自然やそこに住む人間の逞しく温かな心情



を、造形活動の中に生かし個人的で価値ある「北の造形教育」を構築したいと夢を描いてきた。今年で千歳大会で3回目を迎える「ネットワーク分科会」で、また新たな実践交流が図られることを期待している。

北海道独自の造形教育とは、いかなるものなのか。「しばれる」という実感溢れる方言があるが例えば、このしばれるを主題に造形活動ができないものか。具体的に低温利用の造形活動もあろう。寒さをテーマに多様な表現ができるかもしれない。もっと深くそして広く「北の造形教育」の可能性の狼煙をあげてみたいものである。

ここで当連盟の本年度研究課題をあげる。

#### 1. 自らの心を拓く魅力

ある授業を実現するために、授業改善の取り組みを一層発展させよう。

{各地区の授業研究の充実と交流の輪を}

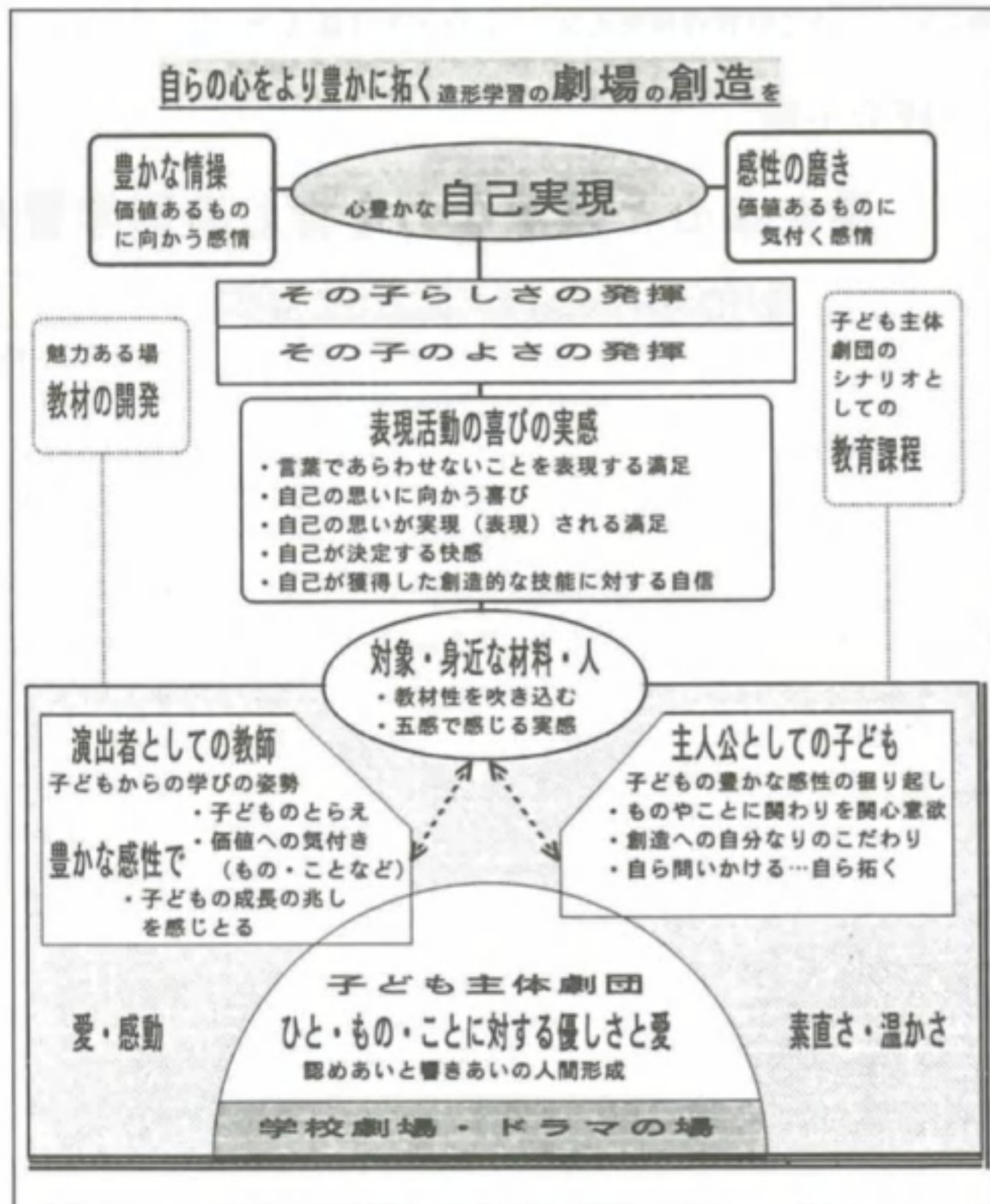
#### 2. 基礎・基本の重視と個性を生かす学習活動を実現し、積極的に開拓精神旺盛な教材の開発。

{子どもの願いを大切に、子どもの良さが開花する魅力ある場としての題材を}

#### 3. 教師の感性を磨き、子どもと共に学ぶ豊かな感覚や感情をもった人間教師として子どもと共に育つ立場を堅持したい。

{造形教師としての自負心と生涯学習の中での造形教育の普遍的価値への自信を}

#### 4. 北海道の自然や風土に根差した、しっかりと根の生えた造形教育の発展をめざしたい。



{18地区共同研究の場それが「全道大会」}

#### 4. おわりに…切り開く姿を千歳でみる

「子どもの数だけ答えがある」それが造形教育であるならば、子どもがその子らしく生きる題材やその子らしく活動できる学習の場を、子どもと一緒に一生懸命つくっていくことが、我々教師の責務である。「自分色が答え」の教科…それが造形教育の大きな価値となるよう一層授業改善の取り組みを前進させたい。

千歳大会は、これらの多様な造形教育の課題に対し、おさえ・手立て・視点を提示して意欲的な提案がなされようとしている。教育が暗黒から抜け出し、「感動劇場」の扉を造形教育を鍵に力強く切り開く姿を千歳(石狩)でみることだろう。



## 研究主題

# 豊かな心と確かな力を育む造形学習を

石狩造形教育連盟研究部

## I、はじめに

石狩では石狩管内教育研究会（石教研）図工・美術部会で長く指導過程に関わる研究「子どもの創造性や造形能力を育てていくための指導過程はどうあるべきか」に取り組んできた。その中で適切な指導過程のあり方、技法指導のあり方、魅力ある題材・素材の開発等の研究が積み重ねられてきた。

また、1975年に開催した第25回全道造形教育研究大会（江別大会）では、「未来に生きる子どもの造形教育～自ら創りだす力をどう育てるか」をテーマに「教えるもの・引き出すもの」を明確にしながらか研究発表を行った。

研究の成果である授業における学習内容の吟味と教師のスタンスのあり方は今も石狩の造形教育の中に流れている。

今大会の研究主題を設定するにあたり、北海道造形教育連盟研究主題「自らの心をより豊かに拓く造形学習の在り方」、一昨年の旭川大会「思いを温め心はずませる創る喜びを」、昨年の釧路大会「心ときめく創造の喜びを求めて」の研究成果を踏まえ、これまでの石狩の造形教育の流れに立ちながら教科における基礎・基本、指導法や題材に関わる研究をさらに掘り下げ、新たな道を拓こうとした。

## II、主題設定の理由

### 造形教育の価値

造形教育は子供たちの感性を深め、豊かな情操を

育むことに大きく貢献をしてきた。幼児期から見られる造形活動への芽生えは、人間形成に深いかわりがあることはこれまでの多くの研究の成果からも明らかである。

直接ものに触れ、自分の思いを形づくっていく造形行為は、子供たちのあらゆる感覚や行動を刺激し、人間としての基礎的な能力を育む。ここで育まれた力は生涯を通し、生きてはたらく確かな力となっていく。特に自立の時代となる青少年期の造形教育は大きな役割を担っていると考えられる。

### 教科の現状

新しい時代の幕開けに伴い「個性の伸長」や「創造性の育成」が叫ばれて久しく、造形教育の果たす役割は大きい。しかし、現実には過熱する受験体制の中で知育偏重の思潮はますます広がり、図工・美術科の伸ばす能力がさしあたっての必要性の薄さから軽視されている。

また現在、教科の再編成や選択性の導入が検討されていく中で時数削減が現実のものとなりつつあり、必ずしも我々が望むところの教科の存在を高める方向にっていないのが現状である。教科の危機が言われる所以である。

図工・美術科軽視の要因に、美術は才能であり趣味であるという通念がある。その通念を打ち破ることができなかったのは、実践が作品主義に陥り、大人から見た「良い作品」を作ることが目的化され「美術を学ぶ教育」となり、「図工・美術を通して人間として何を育てていくのか」という真の意味での教科の存在理念を打ち立てて来なか



ったことに一因がある。全ての子供たちの自立への成長過程の中で、図工・美術を学ぶことによって育まれる具体的な心や力を指し示していくことが今大切である。

#### 子供の現状

一方、社会環境の変化に伴い子供たちを取り巻く

状況は大きく変化した。

豊富なものや情報で、作り出すことに苦勞のない生活は、子供たちを受け身にし、つくるという行為を狭めてきた。そこが耐性の無さや依存性の強さ、感性の乏しさや不器用さが生まれる原因となった。

しかし、これまでの様々な教育実践の中で子供たちはみずみずしい感性を発揮し、創造へのエネルギーに溢れ、発見し工夫する力を秘めていることが示されてきている。

豊富なものや情報に流されるのではなく、意識的（能動的）に組み立てなおし、子供たちに投げかける事が造形教育の今日的課題ではないか。

例えば、コンピュータを中心としたマルチメディアという新しい分野で、子供たちは人間が本来持っている発見し、工夫することの面白さを実感している。それを自然や生活体験と結びつけ、より創造的に取り組ませることで新たな表現の可能性が生まれ、子供たちを高めていくことができるのではないか。

#### これからの造形教育

新しい時代に生きる人間像とは、人間が本来

持っている感性を十分に発揮させながら自らが環境に働きかけ、人に優しく、自然に優しい人間性豊かな社会を築き、たくましく、心豊かに生きていく人間である。

古来、造形行為は人間の根源的な営みであった。創造の行為は人間のあらゆる感覚や知識などが総合して行われる極めて人間的な行為であり、そこに価値が生まれ、美意識が社会を豊かに形どった。現代の社会や教育が抱えている課題を解決する糸口が、そこには様々な形で示されているよ

うに思われる。

これからの造形教育では、造形学習を通し、子供が本来持っているよさを引き出し、子供たちに豊かな心と確かな力を育てていくことが大切である。そこに造形教育の今日的な課題があると思われる。

#### III、主題について

美術の活動とは事物に接し、感じ取り、技を持って新たな形をつくることである。その行為の連続によって心が高まり、さらにその心が感性と技を高め、技がまた心を高めていくという営みである。その美術本来の営みをより具体的な形で、より効果的に教育場面の中に根付かせ、子供に内在する力を引き出し、伸ばし、新しい時代に生きる能力を持った人間を育てたい。

これらのことから研究主題を「豊かな心と確かな力を育む造形学習を」とし、人間形成の役割を担う教科としての存在価値を、内外に確かめようとした。

#### 豊かな心と確かな力を育む造形学習を

「豊かな心」とは  
「生きていく中で美しさを求める心」

「確かな力」とは  
「思いを表し、生きていく力」

#### 「造形学習」について

これらの育みたい心と力を生涯学習の基礎を培うという観点に立ち、子供たちに真に身に付けさせていくためには、子供たちの主体的な学びを引き出すことが重要である。そのような願いを込めて「学習」とした。



## 豊かな心

### 生きていく中で美しさを求める心

造形学習の中でとらえる「豊かな心」とは、人間が生きていく中で美しさを感じとり、その美しさにこだわり、求めていく心である。またここでいう美しさとは人間が色や形などを通して認識できるものはもちろん、造形活動によって育まれる心そのものでもある。感性、創造性、好奇心、探求心、向上心、自然観、人生観など人間の「美意識」に関わるすべての心性を言う。それらは個性を磨き、人格として身に付いていくものである。

## 確かな力

### 思いを表し、生きていく力

「確かな力」とは、一つは造形活動によって育まれる観察力、発想・構想力、見通しを立てる力、決断力、比較能力、集中力、伝達能力、理解力、創造力等の能力をいう。ここで育んだ力は生涯を通して生きてはたらく確かな力となっていく。

もう一つは、造形活動の中で発見していく技法や文化遺産としての造形要素や技法である。これらは造形教育独自の教育要素として身につけさせたい力である。ここで育んだ力は自分の思いを表すための具体的な力となっていく。具体的には、

- ◎美術の造形要素・知識。
  - ◎道具・材料の使用・活用能力。
  - ◎基礎的な文化遺産としての技法。
  - ◎自ら発見し身に付けていく感覚や技法など
- これらを総称し、「確かな力」を「思いを表し、生きていく力」と考えた。

造形学習の中で語られる心と力とは別々の切り離された概念ではなく、密接に関連しあったものである。心が力を高め、力が心をもつ。そしてこの事は「創造活動のメカニズムそのもの」でもある。

造形活動で育まれる心と力という抽象的な概念を明らかにし、それを教育現場に持ち込む事で、教育効果をより高いものにしようとした。

そうした時、豊かな心や確かな力を育む基礎・基本を明確にする必要が出てきた。基礎・基本を心の側から検討を加えたり、技法が心に与える作用を究明し、その中で造形学習が育むものを明確にしたいと考えた。

そこで、この基礎・基本を、子供たちにどのように身に付けさせていくのが課題となった。そのために造形学習の具体的な場で題材・素材の扱いはどうあらねばならないのか、授業成立にはどのような配慮がなされなければならないのかを明確にすることにした。

これらの事を切り込み口にしながら研究内容をさらに深め、「自己実現」を目指す教科観の構築を試みた。

そして、研究仮説を次のように設定した。

#### IV、研究仮説

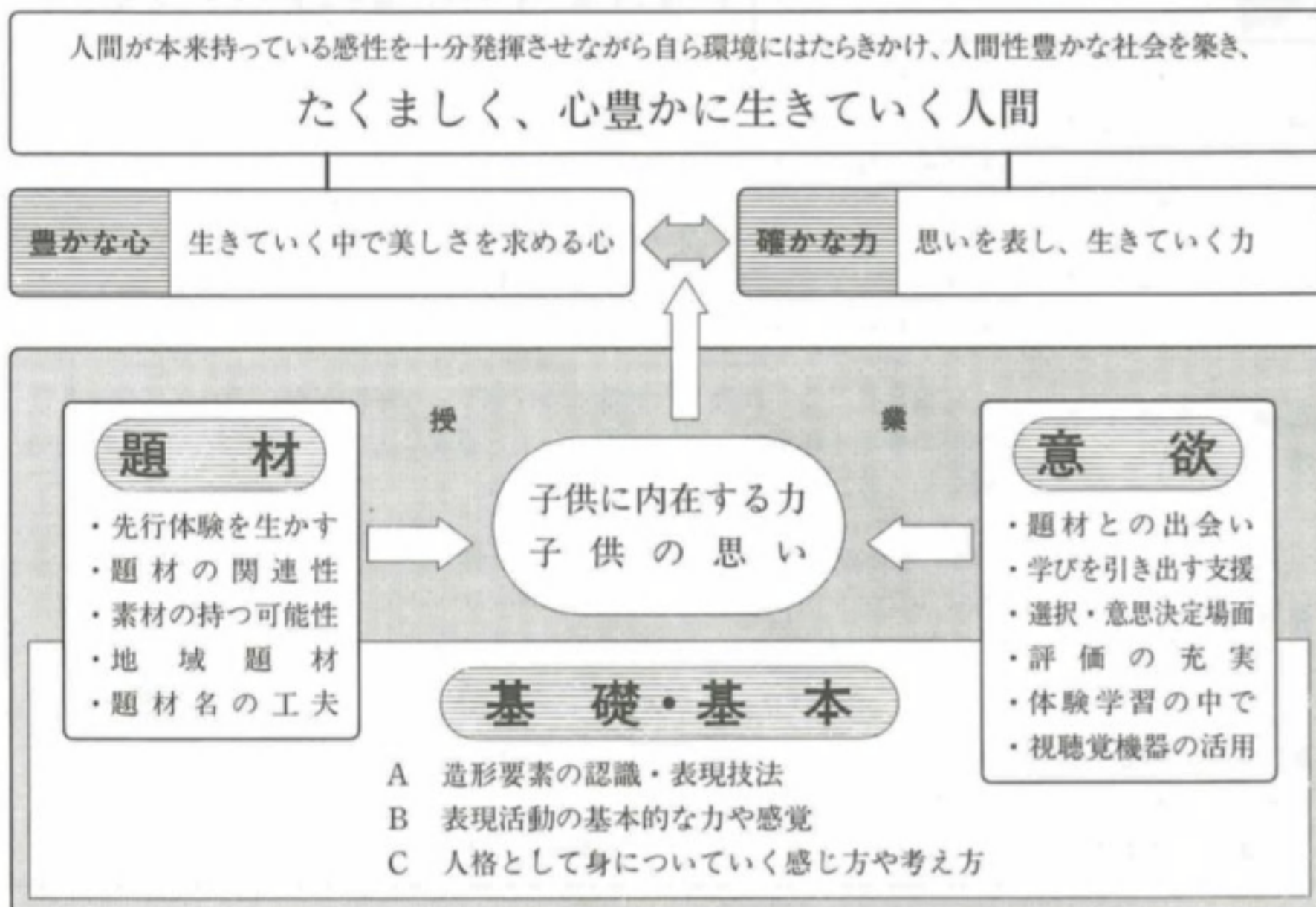
子供の思いを大切にしながら、基礎・基本を明確に押さえて、題材の開発や見直しをし、子供の表現意欲を引き出すことで子供たちに豊かな心と確かな力が育まれていく。

#### V、研究の視点

研究仮説を基に次の3つを研究の視点とした。

- 1、基礎・基本を押さえる。
- 2、題材の開発と見直しをする。
- 3、表現意欲を引き出す手立てを研究する。

<p>1、基礎・基本をおさえる</p>	<p>◎子供に育んでいきたい「豊かな心と確かな力」につながる基礎・基本を次のように押さえ、発達段階を踏まえながら、造形学習の中に位置付けていく。</p> <p><b>基礎・基本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 造形要素の認識・表現技法</li> <li>B 表現活動の基本的な力や感覚</li> <li>C 人格として身につけていく感じ方や考え方</li> </ul>
<p>2、題材の開発と見直しをする</p>	<p>◎「豊かな心と確かな力」を育む具体的な場が体験学習としての題材であることを踏まえ、題材の開発と見直しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎・基本が豊かに含まれ位置付けられる題材を！</li> <li>(2) 既成の題材にとらわれない「題材の再発見」を！</li> </ul>
<p>3、表現意欲を引き出す手立てを研究する</p>	<p>◎子供たちが意欲を持って主体的に取り組む手立てを研究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 子供の主体的活動を引き出す支援の姿勢を</li> <li>(2) 選択・意思決定場面の設定を</li> <li>(3) 子供がやる気を起こし見通しを持つ評価のあり方</li> <li>(4) やる気と目標が見える題材との出会い</li> <li>(5) 体験学習の中での基礎・基本の位置付け</li> <li>(6) 視聴覚機器の効果的活用</li> </ul>





## VI、研究内容

### 1、基礎・基本を次のように押さえる。

(ウエイトは発達段階で異なる)

A 造形要素の認識・表現技法		図工・美術科が独自に持っている人類や民族の文化遺産としての基礎事項である。
色や形の認識と表現	造形行為を通して色や形の認識が高まり、その高まりが造形行為の質を高めていく。	
基礎的な表現技法	様々な表現分野における基礎的な技法。技法のない表現は存在しない。	
材料・用具の基礎知識	表現を成立させるために必要な材料や用具に関する基礎知識。	
作品の見方	鑑賞の基盤となるものは一人ひとりの感性ではあるが、発達と共により深く味わうためには基本的な作品の見方も必要。	

B 表現活動の基本的な力や感覚		造形活動には人間としての基本的な力が必要とされ、また育まれる。今の子供に最も必要と考えられるもの。
選び、決める力	創作活動は選び、決定することの連続からなる。情報・素材を収集し取捨選択・決定する中からイメージが形づくられ個性が際立ち、自己決定力を育む。造形活動で最も本質的でおもしろい場面を教師に依存する子供がいる。	
比べる力	感覚の良さは、比べ、違いが分かる事にある。全体と部分の比較から、さらに正確な全体像を把握する行為は全ての物の見方に通じる。的確な把握をするための比較能力を身に付けさせる。	
目途・見通しを持つ力	『目途を立てる』は職人の作業上の行為で、伝統的な用語である。様々な目安を持つ事から作業は造形的な質の向上と完成に近づく。子供たちの受動的な活動を組み替え、見通しを持つ力を育てる。	
発見し、気付く力	造形活動は自らが発見し気付いた事の記録ともいえる。記録の深さや多様さが質につながり作品は生きた証しのモニュメントになる。受動的に多くの物、多くの情報に囲まれた子供たち。子供たちの発見し、気付く力が弱まってはいないか。	
見立てる力 (イメージを膨らませる力)	子供が石を魚に見立てるところから造形活動がスタートする。子供の内なる思いが物に触発され、それが多様な思い(イメージ)へと膨らんでいく。これが造形活動の原点となる。多くの体験がさらにその力を高めていく。	

C	人格として身につけていく 感じ方・考え方	造形活動を通して培われていく心のあり方。それは、さらに新たな表現のベースになり、またさらに心は練られ高められていく。
楽しみ、遊ぶ心	遊びの中の造形、遊びからの発展、楽しむことが創造のベース。「遊び」はまた物の作りの基本的な用語。造形の奥深さを示す。	
自己理解・他者理解	表現や鑑賞の過程を通し、自分のよさや他人のよさを発見していく。これは、一人一人の個性や他の文化を理解し、互いに尊重し合うことにつながっていく。自分を大切に、他を大切にする心の育成は教育の今日的課題でもある。	
根気や集中力	造形活動は自ら気付き、比べ、決め、記録する行為である。だからこそ自由でなければならない。その質を高めるためには自らの規制や集中と根気が必要。楽しさの持続、困難の克服等多くの要素が含まれ、子供たちが培うものは幅広い。	
達成感	完成の喜びが次の製作への意欲・発展につながる。達成感の体験が自信と自立を生む。高学年以降の完成度へのこだわりは「個性」となる。	
豊かな感受性と美意識	事象へのみずみずしい感受性が表現の拠り所となる。感受性は育みたい重要な心性である。そのような表現活動の積み重ねが美意識を形作り、モラルとなって人格の形成につながる。	

## 2、題材の開発と見直しは次のような視点からおこなう。

(1) 基礎・基本が豊かに含まれ位置付けられる題材を！

(2) 既成の題材にとらわれない「題材の再発見」

(1)  
子供の先行体験  
を考慮しさらに  
豊かに発展を！

イメージの源となる直接体験が乏しくなっている。だからこそ、そこにこだわりたい。レディネスが意欲を生み、造形活動が体験を彩り豊かにする。その体験が新たな造形への、そして事象へ関わる新たな体験のレディネスとなる。

(2)  
他題材の関連を  
求めて

一題材で高められた力は次で生かされ、さらに発展する。題材の有機的なつながりは高い学習効果を生む。造形活動は他題材・他教科・諸活動などと深い関連がある。



(3)  
素材・題材の新たな可能性を

素材・題材の持つ造形の様々な可能性を考える。新素材だけではなく見慣れた素材あるいは題材の角度を変えた取り組みは、子供の既成概念を砕き、造形活動の醍醐味を体験させることができる。

(4)  
生まれ育った地域の題材に目を向けて

生まれ育った地域から生まれた題材・素材は基本的に多くの親密性や再発見を含む。身の周りの造形要素に目を向けさせることは、造形行為への意欲を育みやすい。主題に沿って地域に関わる題材・素材に目を向ける。

(5)  
題材名の工夫を

子どもが表現する側に立って題材名を決める。題材名が表現意欲や課題意識を生み出すこともある。教師の題材観があらわれてくる場でもある。題材名が子供の造形活動へのさりげない提案にもなる。

### 3、意欲を引き出す手立てを次の視点から考える。

(1)  
子供の主体的な活動を引き出す支援の姿勢を

教師の学習の中におけるスタンスのあり方を検討する。子供の主体的な学びをつくりあげるために『教えるもの、引き出すもの』をどのように組み立てるか。放任ではない、子供の一人一人の持つよさが生かされ、子供の感覚がフルに活動する学習での教え、学びをどうつくるか。

(2)  
選択・意思決定場面の設定を

子供が自らの意思で自己の表現に応じた素材や表現方法を選び、決める場を設定する。題材の中で取り上げた様々な造形行為（比べ、気付き、見通し等）の認識場面の設定を工夫する。これらの設定の積み重ねが子供たちに自分の個性を認識させ、確かな力を育み、自己実現へとつながっていく。

(3)  
子供が意欲を持ち、見通しを持つ評価のあり方

表現と一体となった評価のあり方（指導と評価の一体化）を検討する。子供が意欲を持ち、見通しを持つ評価のあり方はどうあるべきか。具体的評価の方法は次の3つに分けて考える。

①自己評価 ②相互評価 ③教師による評価

(4)  
やる気と目標が見える「題材との出会い」を。

やる気を起こし、造形の方向が見える題材提示を工夫する。子供と題材との出会いは先行体験を踏まえつつ、新鮮で、既成概念を変えるものでありたい。また、環境も出会いとしてとらえる。幼児段階における「環境」は造形学習において特に重要である。「環境が人間をつくる」ともいわれる。環境を整備し、充実させる事は豊かな心と確かな力を育てていく上でも重要な要素である。

(5)  
「体験学習」の中での基礎・基本の位置付け

造形学習は直接見て、感じて、触れて作る行為であり、体験学習そのものである。その特質を重視し、様々な造形上の諸知識も感覚を十分に機能させた中から認識させたい。実体験が乏しいとされる現代の子供たちに五感を十分に機能させた体験を持たせる事は造形学習のもう一つの使命でもある。

(6)  
視聴覚機器の効果的活用

造形学習では視覚に訴える事が特に重要である。視聴覚機器を効果的に活用することによって、課題意識を明確にしたり、学習の見通しが持ちやすくなったり、意欲を引き出ししたりすることができる。媒体としてコンピュータ・OHP・OHC・スライド・ビデオなどが考えられる。

## VII、おわりに

この「豊かな心と確かな力を育む造形学習を」という研究主題を3つの視点から研究を進めてきた。

石狩の中で「授業者研修会」「研究実践交流会」を数回にわたり実施しながら共同研究として取り組んできた。その中で教師が変わり、授業が変わり、子供たちが変わって行く確かな手応えを、わずかではあるかもしれないが感じ取れてきたことが一番の成果であろう。例えば基礎・基本を授業の中で意識する事で題材の価値がより高まり、他題材などとの関連が一層深まってきた。教師が授業を工夫していくことで、子供たちがより熱心に製作に取り組み、こだわりを持って表現するようになってきた。子供自身が変わってきた。また、そのような子供たちの姿に触れ、子供にとっての題材の持つ意味をより深く考えるようになった。今、子供にとって何が大切なのかということを経験という立場から見直す事ができたことは大きな収穫であった。

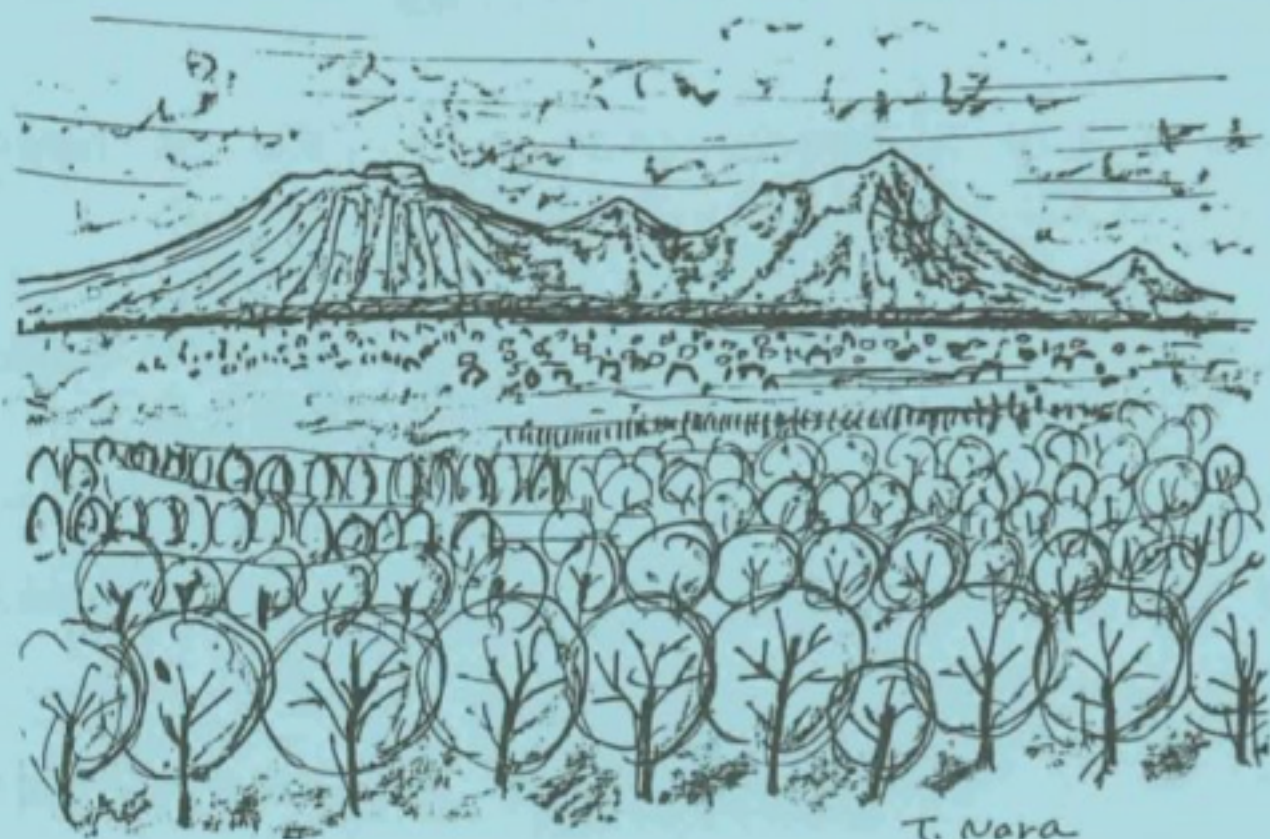
今後は、この研究で明確になってきた基礎・基本そのものや題材についての考え方、意欲を引き出す手立てなどを、本大会での検証をもとに、さらに見直していきたい。また各発達段階での押さえを、具体的にしていくことが、今後の研究の方向となろう。教科の存続の危機にある現在、造形学習は子供達に豊かな心と確かな力を育む教科であるということを経験という視点に立ち、内外に力強く示すということは重要な取り組みであると考えている。

最後に研究の方法論として旭川大会から打ち出されてきたネットワークの動きについても今回の研究の中で札幌の造形連盟との研究交流を持ったり、研究実践ビデオ版をつくるなど工夫してきたが、石狩としても大変有意義であった。今後もさらに充実させていきたいものである。





# 指導案集





公開授業

校種	学年	領 域	題 材 名 ・ 内 容	授 業 者 ・ 学 校 名
幼稚園	年中	表 現	ほくたち・わたしたちの竜宮城	玉木美香 本田美智子 千歳わかば幼稚園
	年長	表 現	つくろう、アニマル・ランド	相坂いずみ 馬越脇由香 千歳わかば幼稚園
小学校	1	造形あそび	トンネルめいろ	吉田かおり 千歳市立向陽台小学校
	1	つくりたいものをつくる	ペンペンとリスリスの大冒険	米積由佳 千歳市立祝梅小学校
	3	絵にあらわす	ある日、夢でみたんだよ	古林史子 千歳市立信濃小学校
	4	つくりたいものをつくる	トローリ、ポタポタ不思議の国への贈り物（石膏で遊ぼう）	山田陽子 千歳市立桜木小学校
	5	つくりたいものをつくる	アルミ缶を使って作ろう不思議な世界 ～ほくたち・わたしたちからの提案～	村田勝巳 千歳市立向陽台小学校
	6	絵にあらわす	森の中に入ってみると……	平山一弥 千歳市立北陽小学校
小学校	学年合同4年	造形あそび	晴天時 フォレストシティ2055 雨天時 デザートシティ2055	伊賀悦子 小山寿樹 駒場雅子 奥田信恵 小森政英 千歳市立向陽台小学校
中学校	3	絵画・彫刻	自己をみつめて (自分という人間の存在証明)	山崎正明 千歳市立向陽台中学校
	3	デザイン	異次元の世界からのデビュー (CDジャケット制作)	山田浩人 千歳市立青葉中学校
	3	工芸	夢中にさせるおもちゃ	浜口秀樹 千歳市立千歳中学校

！指導案の中に記されているA、B、Cの記号は本研究の基礎・基本を示しています。研究紀要P16、17参照。

題材名 「Forest City 2055～緑の惑星  
に自分たちのまちを作ろう」

小学校4年生167人

造形遊び



千歳市立向陽台小学校

授業者 伊賀悦子 奥田信恵 小山寿樹  
小森政英 駒場雅子

### 1. 題材観

この題材は身近な材料を使って学校林に町作りを行うものである。

子どもたちの造形活動は一様ではなく、遊びと制作が同時進行するかたちが最も意欲がわく。さらに、素材が大きな物であるほど全身で取り組む行動的な活動になる。遊びの空間が小さなものへと移りつつある現在、広大な空間でのダイナミックな活動の楽しさを味わわせたい。表現活動はグループで行うので、事前に話し合いを十分に行う。アイデアスケッチを元に、素材の選択、様々な技法など、試行錯誤を重ねながら自分たちで発見していく主体的な活動をさせたい。

#### \*この題材で育みたい主な心と力（基礎・基本）

B-選び、決める力…材料選択の力

B-見立てる力…素材と場を元にイメージを膨らませる。

B-発見し、気付く力…しっかりとした造形にするための技法に気づく。

C-自己理解・他者理解…自分の発想を大切に、友達の良さにも気付く。

C-楽しみ、遊ぶ心…全身で取り組むことで新たな造形を生み出す。

#### \*題材の開発と見直し

・「向小夏祭り」を受けての関連を重視し、子どもたちの思いを広げさせる。

#### \*意欲を引き出す手立て

・既存の造形を新たな場に設置することで題材の導入時にイメージを膨らませる。

### 2. 題材の目標

◎素材と場を生かして豊かな発想をし、楽しく造形活動をすることができる。

### 3. 学習の全体計画（9時間）

①場で遊んでみよう	(0.5時間)
②学習課題の把握	(0.5時間)
③発想	(1時間)
④構想(グループ討議)	(1時間)
⑤構想・表現	(1時間)
※材料集め	時間外
⑥表現	(4時間・本時4/4時間)
⑦鑑賞	(1時間)

### 4. 本時の目標（8/9時間）

○一人ひとりの思いや良さを生かしながらグループで協力しあい、作品を完成させる。

○他のグループの作品を見て面白さ、工夫したところなどをみつける。

### 5. 本時の展開

児童の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①場を元に豊かな発想をし、それを生かした制作に取り組む。 ※グループで完成をめざし協力して制作する。	①本時の学習を確認する。 ②制作の良さを認め励まし、共感する。 ③本時の学習をふり返らせる。	B 発見し気づく力 C 自己理解・他者理解
②自分たちの工夫したところ、制作の感想や他のグループの良さを認め合う。		C 楽しみ遊ぶ心



題材名 「僕達、私達の竜宮城」

幼稚園年中組（4歳児） 表現

千歳わかば幼稚園  
授業者 玉木 美香  
本田美智子



### 1. 題材観

子供たちが保育の中で楽しみにしている絵本やお話の時間は、想像力を豊かにし、子供らしい素晴らしい発想を生み出します。

また、幼稚園で飼育している金魚には、とても興味を持って、飽きずに眺めています。

そこで、絵本の中のお城と水の世界のイメージを膨らませて、楽しい夢の世界を作り上げる喜びを味わわせたい。

また、さけのふるさと館や千歳川の見学の経験を基に、自分たちの町の特徴にも興味を持って、楽しい造形活動に取り組みせたい。

#### \*この題材で育みたい主な心と力（基礎・基本）

A-色や形の認識…色の選択、形の大小などを理解する。

A-材料・用具の基礎知識…用具を安全に使用し、材料を大切に使用する。

B-見立てる力…お話や体験を通じて、イメージを膨らませる。

B-選び、決める力…イメージに合う色・形を

選択して、自分で決める。

C-楽しみ、遊ぶ心…作ることが楽しいという気持ちを大切にする。

#### \*題材の開発と見直し

・浦島太郎のお話から、題材名への興味を引きつけ、想像力を豊かにする。

・体験から膨らむイメージを大切にする。

#### \*意欲を引き出す手立て

・先行体験を通じて、みんながイメージを膨らませる話合いを行なう。

・題材への興味を重視して、環境への配慮をし、楽しみながらつくる雰囲気をつくる。

### 2. 題材の目標

◎自分の手で、伸び伸びと創る。

◎自分の表現したいものを大切に、豊かな発想で色や形を決める。

◎子供たちがお互いに協力しあい、クラス全体が楽しい雰囲気で行なうようにしたい。

### 3. 題材の全体計画（11時間）

①題材を知る。	（1時間）
②構想を練る。	（1時間）
③表現	（8時間・本時7 / 8時間）
④鑑賞（遊ぶ）	（1時間）

### 4. 本時の目標（9 / 11時間）

・それぞれが思い思いに、作ることを楽しみながら、作品を仕上げる。

・海の中をイメージして、部屋全体の装飾に楽しんで取り組む。

### 5. 本時の展開

園児の活動	保育者の支援・環境	育みたい心と力
①自分のイメージを大切に、思い思いに魚を描く。	①安全な作業に注意する。	A材料用具の基礎知識
②部屋全体の装飾を考えて、楽しみながら作り上げる。	②伸び伸び描くように、言葉かけをする。関心のない子に配慮する。	B選び決める力
③作り上げた海の中で、楽しく遊ぶ。	③部屋全体の環境に配慮し、海の中の雰囲気を作り出す。	C自己理解・他者理解
		C楽しみ遊ぶ心

題材名「つくろう、アニマルランド」

幼稚園年長組（5歳児） 表現

千歳わかば幼稚園  
 授業者 相坂いずみ  
 馬越脇由香



気持ち、協力して作業する楽しさを感じる。

\*題材の開発と見直し

- ・1枚の大きな模造紙を使用してみんなで協力して作り上げる楽しさやダイナミックさを体験させたい。

\*意欲を引き出す手立て

- ・先行体験を通じて、みんながイメージを膨らませる話合いを行なう。
- ・動物ばかりでなく、動物たちが住んでいる大地と捉え、子供たちの興味を広げる。
- ・主体的にイメージを膨らませるために、部屋全体の環境を配慮する。

1. 題材観

子供たちにとって、動物園や絵本の中で接する動物たちは、とても興味を引く対象です。

そこで、動物たちを見るという立場から、動物たちと一緒に暮らす、一緒に遊ぶ楽しい世界のイメージを膨らませたい。

世界で一つのアニマルランドを、みんなの協力で作り上げる喜びを味わわせたい。

また、大きな模造紙などで、伸び伸びと表現活動に取り組ませたい。

\*この題材で育みたい主な心と力（基礎・基本）

Aー色や形の認識…色の選択、重なり合う色の変化を感じる。

Aー材料・用具の基礎知識…用具を安全に使用し、材料を大切に使用する。

Bー見立てる力…お話や体験を通じて、イメージを膨らませる。

Bー発見し、気付く力…クレヨンや筆以外の着色方法を体験し、表現の楽しさを感じる。

Cー楽しみ、遊ぶ心…作ることが楽しいという

2. 題材の目標

- ◎イメージしたものを、絵で表現する。
- ◎共同作業を通じて、自分の考えたことを、友達に伝える。
- ◎子供たちが興味を持っている動物を通して、生き物に体する思いやりの心を持たせる。

3. 題材の全体計画（9時間）

- |         |               |
|---------|---------------|
| ①題材を知る。 | (1時間)         |
| ②構想を練る。 | (1時間)         |
| ③表現     | (8時間・本時7/8時間) |
| ④鑑賞(遊ぶ) | (1時間)         |

4. 本時の目標（7/9時間）

- ・作ることを楽しみながら、作品を仕上げる。
- ・共同作業を通じて、自分で考えたことを、言葉で友達に伝える。  
また、それを作品づくりに生かす。

5. 本時の展開

園児の活動	保育者の支援・環境	育みたい心と力
①今までの体験を振り返り、大きな紙に思い思いの動物を描く。	①絵本を読んだり、歌を歌いながら、楽しい雰囲気をつくる。	A色や形の認識 B見立てる力
②アニマルランドの中で、探検ごっこで楽しむ。	②部屋の回りに本時までの作品を飾る。	B発見し気付く力 C達成感
③作り上げた作品をみんなで話し合う。	③その子その子の良さを見つけて、励ます言葉掛けをする。	C楽しみ遊ぶ心



題材名「トンネルめいろ」

…段ボールを使って

小学校1年生 造形遊び

千歳市立向陽台小学校  
授業者 吉田 かおり



B-選び、決める…どうつなげよう

C-根気、集中力…作業

B-発見し、気付く力…なるほど！

#### \* 題材の開発と見直し

- ・発達段階から考えて、ひとつの素材に慣れ親しむことを重視。同一の素材に対し、一年間を通して取り組むことにより、発想を広げやすくさせたい。また、季節や環境に応じた題材の提供。

#### \* 意欲を引き出す手立て

- ・生活環境の整備。身近（手の届く所）に、段ボールを置いておき、発想を広げやすくする。段ボールの国での、遊びを推進。

## 1. 題材観

大好きな段ボールと大好きなめいろの合体は、子供たちにとって大変興味深い題材であると考え。また、1年を通しあらゆる場面で段ボールという同一の素材を用いることにより、体や五官を通して慣れ親しませ、自然にその素材の取り扱い方を体得させたい。

子供の発想は、限り無い興味と意欲を通し試行錯誤していくうちに次々と発展して行く。ひとりひとりが一つの素材から発想を更に広げ、仲間で作る楽しさや自分にはなかった発想を知り、材料の可能性の見つけ方、表現方法などを身に付けさせたい。

全身を使った活動で得るものは多い。

#### \* この題材で育みたい主な心と力

B-イメージを膨らませる力…つくってみよう！

B-目途、見通しを持つ力…材料集め

C-楽しみ、遊ぶ心…仲良く、楽しく

C-達成感…やったー！大成功！

## 2. 題材の目標

- ◎楽しくつくり、元気に遊ぶことができる。

## 3. 学習の全体計画（4時間）

- ①題材を知る
- ②材料集め ※③～④をいったり（4時間）きたりする。
- ③迷路づくり
- ④遊ぶ、手直し
- ⑤発表

## 4. 本時の目標

- ・みんなで楽しみ遊ぶことができる。（遊ぶ）
- ・楽しみながらつくることができる。（つくる）
- ・つなげ方を考えることができる。（考える）

## 5. 本時の展開

児童の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①前時を想起し発表する。	・工夫したこと、楽しかったことを発表させる ・友達の作業や、発表も参考にできるよう助言 ・それぞれが、意欲的になれる助言(共感・共鳴) ・楽しい雰囲気づくり ・さらに発展させる。	Bイメージを膨らませる力 B発見し、気付く力 C根気や集中力 C楽しみ、遊ぶ心 C達成感
②本時の見通しを持つ。		
③自由に伸び伸びつくる。		
④みんなで楽しく遊ぶ		
⑤楽しかったことを発表し合う。		

題材名「ペンペン・リスリスの大冒険」  
～飛行機に乗って夢の国へ～

小学校1年生 つくりたいものをつくる



千歳市立祝梅小学校  
授業者 米 積 由 佳

\*この題材で育みたい主な心と力（基礎・基本）

- B-選び、決める力～材料選択
- B-見立てる力～創作場面とイメージの広がり
- B-発見し、気づく力～造形の技法
- C-自己理解・他者理解～協力と友だちの支援

\*題材の開発と見直し

- ・シリーズ化することで、場面の移り変わり素材との新しい出会いが期待できる。

\*意欲を引き出す手立て

- ・構想の場面を未知の世界に設定することで、子供のイメージを広げる。

1. 題材観

その題材に出会ったとたん子供達が目を輝かせ、「つくってみたい!!」「よし!それつくる!!」と夢中になり、つくる喜びを味わいながら、楽しんでつくれるものとは…。

低学年の子供たちは、さまざまなきっかけをもとに、経験なども生かしながら夢のような想像をします。何気なく教室の棚に置いた小さなぬいぐるみのペンギンとリス（ペンペンとリスリス）と子供たちとの情動的な結びつきを教材の中に発展的に扱い、大好きな2匹のぬいぐるみに命を与え、「ペンペンとリスリス」シリーズで題材を開発して行きたいと考えました。日頃愛着をもって接しているものを登場させることにより、一人一人の「つくる思い」が強まり特別な思いのつまった個性ある作品が生まれることが期待されるからです。今回は飛行機に乗って夢の国へ大冒険に旅立つのです。創作活動を楽しませ、その喜びを味わわせながら、一人一人のよさに目を向け、支援していきたい。

2. 題材の目標

- ◎表現してみたいという自分の思いを持つとともに、進んで創造力をはたかせ、自分らしい方法で表現しながら、友だちのよさにも気づき、ともに完成の喜びを味わう。

3. 学習の全体計画（6時間）

①学習課題の把握	(1時間)
②発想・構想	(1時間)
③表現	(3時間・本時3 / 3時間)
④鑑賞	(1時間)

4. 本時の目標（5 / 6時間）

- ◎「夢の国」への思いを深めながら、自分なりの方法で楽しく表現する。
- ◎友だちと共に完成の喜びを味わう。

5. 本時の展開

児童の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①今までの学習を振り返り、本時の活動の見通しを持つ。 ②「夢の国」への思いを深めながら自分なりの方法で楽しく表現する。 ③協力し、制作する。 ④友だちの作品のよさを認めあう。	・前時の活動を評価し、さらに工夫していくことを促す。 ・一人一人の良い所、工夫している所を評価し、思いを深める支援をする。 ・協力し合えた場面を評価する。 ・本時の学習を振り返らせる。	A材料・用具の基礎知識 B見立てる力 B選び決める力 C達成感・他者理解 C楽しみ遊ぶ心



題材名 「ある日、夢で見たんだよ！」

小学校3年生 絵に表す

千歳市立信濃小学校  
授業者 古 林 史 子



C－自己理解・他者理解…関心を持って鑑賞。

\*題材の開発と見通し

- ・絵を描くことにこだわらずに物語をつくらせ、想像の幅を広げる。(他教科との関連)
- ・TPシートを使った絵本づくり。

\*意欲を引き出す手立て

- ・導入以前の活動として物語を発表し合い、それをさらに絵画表現へとつなげていく。
- ・選択・意思決定の場面を設定する。(画用紙の色)

1. 題材観

子供たちは、夢や想像のお話が大好きである。自分がつくった物語をもとに絵を描き、その自らの想像の世界に十分にひたらせたい。

本題材では、教室で飼っている3匹のかえると自分を登場させた夢の絵本を描くという活動を通し、自分の日常生活と関連する物から様々なイメージを広げていく楽しさを味わわせたいと思う。一人一人が自分の思いから生まれた主題(物語)を持ち、その思いの羽を広げてのびのびと表現していくことができる……。

そんな活動を期待して設定した。

\*この題材で育みたい主な心と力(基礎・基本)

C－豊かな感受性…感じたこと、想像したことを自分らしく表現する。

B－目途・見通しを持つ力…完成・発表までの見通しをもつ。

B－選び、決める力…イメージに合う画用紙の色・形を選択。

A－基礎的な表現技法…色作り、加える水の量。

2. 題材の目標

- ◎想像したこと、表したいことを素直に表現できる。
- ◎自分のイメージに近づけるような色作り、組み合わせを工夫する。
- ◎自分や友達の作品の良さを見つけ、関心をもって鑑賞することができる。

3. 題材の全体計画(8時間)

①題材を知る	(0.5時間)
②構想を練る	(0.5時間)
③表現	(本時5/6・6時間)
④鑑賞	(1時間)

4. 本時の目標(6/8時間)

- ・物語の展開からイメージを膨らませ、場面・雰囲気・表情の変化を表す。

5. 本時の展開

児童の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①前時までの学習をふり返り、本時の学習内容を確認する。	・本時の学習について確認する。 ・一人一人の発想の良さを認め、励ます。 ・本時の学習をふり返らせ、次時の学習への目標を持たせる。	B目途・見通しを持つ力
②自分の物語を読み返し、場面・2への展開を考えながら下絵を描く。		Bイメージをふくらませる力
③イメージを膨らませながら彩色。		
④次時の活動への見通しを持つ。		

題材名「トローリポタポタ、石膏で遊ぼう」  
～ふしぎの国からのおくりもの～

小学校4年生 つくりたいものをつくる



千歳市立桜木小学校  
授業者 山田 陽子

### 1. 題材観

この単元は、石膏を使ってふしぎの国からのおくりものをつくるという教材である。

新しい教材との出会い。

それは、子供の創造力をかきたて、わくわくするような楽しさがある。

小学校の4年生というと、新しいものへ挑戦する意欲に満ちあふれている。

少々の失敗も身体の汚れも、その意欲の前ではたいした問題にならない。

この表現活動を通して、未知のものへ挑戦することの楽しさ、どうなるか確かめる時のわくわく感、うまくできた時の満足感、などを味わわせたいと思って、この教材を選んだ。

#### \*この題材で育みたい主な心と力（基礎・基本）

A－材料、用具の基礎知識。石膏。

A－石膏独特の表現方法を知る。

B－選び、決める力。おくりものの形。

B－見通しを立てて、作業する力。

C－石膏の感触を楽しみ、遊ぶ心。

C－新しいものに挑戦する心。

#### \*題材の開発と見直し

・新素材の発掘をし、子供にとって新鮮な出会いを設定した。

・題材名を工夫し、石膏のもつトローリとした感触に着目させた。

・色水で溶くことにより、白一色だった石膏のイメージをカラフルな作品にした。

#### \*意欲を引き出す手立て

・学級の子供たちにとって、身近で親近感のわく導入を工夫する。

・初めての素材との出会いを大切にし、やる気を持たせる。

### 2. 題材の目標

◎石膏のトロトロ段々ネット、その後ガッチリという感触を楽しみ、自分だけの個性的な作品を作ることができる。

### 3. 学習の全体計画（5時間）

- ①石膏がどのようなものか知る(0.5)  
②芯材をつくる。(1.5)  
③芯材に石膏をつけ、飾り付けをする  
(2.0－本時)  
④友達の作品を見る(1)

### 4. 本時の目標（4／5時間）

・石膏の特性を活かし、芯材に石膏をたらしたり、飾りをつけたり、かたまった石膏を削ったりして自由で個性的な作品を制作する。

・協力して楽しく作業し、石膏の感触を楽しめる。友達の作品の良いところを見つけて、ほめることができる。

### 5. 本時の展開

児童の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①本時の学習内容を確認する。 おくりものの完成を目指す。 ②最終的にどんな作品にするか見通しをもつ。 ③飾り付けの材料を、自分たちで選び制作する。 ④友達の作品をみて、良いところを見つける。	・本時の作業の内容を確認。 ・制作は自由に行わせる。 子供の発想を活かした、独創性のある作品を認め、ほめる。 ・石膏の特性をつかみ切っていない児童に助言する。 ・児童に作品のお話をしてもらう。	B－見通しをもつ力 B－制作の方法を選ぶ力。 A－石膏による独特の表現方法。 C－石膏の感触を楽しむ心。 C－友達の良さを認める心。



題材名「アルミ缶を使って  
つくろう不思議な世界  
～ぼくたち、わたしたちからの提案～」

小学校5年生 つくりたいものをつくる



千歳市立向陽台小学校  
授業者 村田 勝己

- B－見立てる力…表現活動の中で膨らませる
- C－自己理解、他者理解…自分と他者の良さの発見
- C－根気や集中…楽しさの持続

\*題材の開発と見直し

・金属という素材の新鮮さによって、造形活動の楽しさを体験させたい。

\*意欲を引き出す手立て

- ・素材に慣れさせるため、製作に入る前に、自由に切ったり、つぶしたりさせ、アルミ素材の可能性を理解させる。
- ・活動場面での教師のアドバイス。(個々に)

1. 題材観

本題材は、子供たちがふだんよく手にしているアルミ缶を、切ったり、つぶしたりする中からイメージを広げ、自分の思いのままに違う物に作り変えようというものである。

アルミ缶は金属である。子供たちは、造形活動の中で金属を扱うことは、ほとんどなかったことと思う。それゆえ、新鮮な驚きと感動を呼び起こさせることになると思う。また、子供たちに、アルミという抵抗感のある素材を与えそれを克服させるということもここでの目標としたい。

それと、道具の使い方、安全に作業をする姿勢・態度についてもしっかりと身につけさせたいと思う。

\*この題材で育みたい主な心と力(基礎・基本)

- A－基礎的な表現方法…切る、つぶす、裂く
- A－材料・用具の基礎知識…万能ばさみ、ペンチ、アルミ素材
- B－選び、決める力…材料選択

2. 題材の目標

◎素材の特徴を理解して、思いついたものを楽ししくつくることができる。

3. 学習の全体計画(8時間)

- ①素材に慣れる、道具の使い方 (2時間)
- ②イメージを膨らませる (1時間)
- ③表現活動 (4時間・本時3/4)
- ④評価・鑑賞 (1時間)

4. 本時の目標(6/8時間)

- ・今までの製作過程をふりかえりながら本時の活動の見通しを持つ。
- ・自分の思いにしたがって、自由につくる。(細部についても)
- ・安全に気をつけながら作業を行う。

5. 本時の展開

児童の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①今までの学習をふりかえり、本時の活動の見通しを持つ。 ②自分の思いにしたがって、自由につくる。 ③安全に気をつけながら作業を行う。 ④本時の活動をふりかえり、次時への目標を持つ。 ⑤後片付けをする。	・今日の学習について確認をさせる。 ・一人一人の良い所や工夫している所を認めていく。(作品の紹介) ・正しい道具の使い方ができているか、また、安全に扱っているかを見回りながら指導する。 ・本時の学習をふりかえらせ、次時への目標を考えさせる。	A基礎的な表現技法 A材料・用具の基礎知識 B見立てる力 (表現活動の中で) C自己理解・他者理解 C根気や集中

題材名 「森の中に入ってみると……」

小学校 6年生 絵に表す



千歳市立北陽小学校

授業者 平山 一 弥

C－根気や集中力…自らの課題を持ち、次時の学習の意欲につながる自己評価。

#### \*題材の開発と見直し

・森とのかかわりを通して自らお話を創作し、思いを絵に表現させたい。

#### \*意欲を引き出す手立て

- ・題材に入る前に、森とのかかわりを持たせるために体験的な活動を取り入れる。
- ・お互いの良さを認め合う雰囲気づくり、自己評価や教師の適切な支援。

### 1. 題材観

日常的に物を観察したりよく見る目を養うために、人物や植物、樹木などの素描を継続して取り組んでいる。森と子供達のかかわりをたいせつに考え、題材に入る前に学校周辺の「観察の森」や防風林の植物観察や森に関する詩や物語づくりなどを計画した。こうした森とのかかわりの経験を通して得た子供達の思いを大切に、自分が創作したお話を絵に表現させる学習を今回は取り上げてみた。本時の学習場面では、お互いの作品の良さを見つけることを目標に鑑賞場面の学習を計画した。

#### \*この題材で育みたい主な心と力（基礎・基本）

A－基礎的な表現方法…混色、線がき、絵の具の扱い方

A－材料、用具の基礎知識…絵の具、サインペン、わりばしペン、ボールペン、タンポ

B－選び、決める力…材料の選択

C－自己理解、他者理解…自分の良さや友達の良いところを見つける。

### 2. 題材の目標

- ◎自分が創作したお話の雰囲気が効果的に表われるように、色の明暗・寒暖の効果を工夫して表す。
- ◎お互いの作品を鑑賞し、作品の良さを見つける。

### 3. 学習の全体計画（8時間）

- ①森とのかかわりを通して、「森の中に入ってみると……」というお話を創作する。（1時間）
- ②お話を絵に表す。（下絵）（1時間）
- ③下がきをもとに絵に表す。（5時間）
- ④お互いの作品を鑑賞する。（本時・1時間）

### 4. 本時の目標（8/8時間）

- ・これまでの学習を振り返るとともに、友達作品を鑑賞し、作品の良さを見つける。
- ・次の作品作りへの意欲を持つ。

### 5. 本時の展開

児童の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①これまでの学習の取り組みについて振り返る。 ②本時の学習内容について確認する。 ③作品を発表し合いながら、友達作品の良さを見つけ発表する。 ④本時の学習を振り返り、自己評価し、これから取り組みたい作品について交流する。	・これまでの活動の様子を記録化（ビデオ、写真、スライド）し、提示する。 ・学習の課題を明確にする。 ・一人一人の作品の良さを見つけるように支援する。視点を与える。 ・評価の視点を明確にし、次の作品作りに意欲を持たせるようにする。	B 目途・見通し C 自己理解・他者理解／集中力 C 達成感



題材名「自己を見つめて（自画像）  
…自分という人間の存在証明。」

中学校 3年生 絵画または彫刻(レリーフ)  
〈生徒選択〉



千歳市立向陽台中学校  
授業者 山崎 正明

### 1. 題材観

基本は「自画像を描く」授業であり、これまでの学習の集大成である。

中学校3年生という精神的発達が著しいこの時期に、造形活動を通し、生徒たちが自己をじっくり見つめ、自分の生き方について考え、さらに「表現とは何か」ということを感じとらせたい。表現にあたっては、自らが材料を選択し、自分で物ごとを決めていく価値やおもしろさを味わわせたい。

実際の表現活動においては、生徒自身がそれぞれが学習計画を立て、自己の表現に見通しを持ち、主体的な学習になるようにしたい。

#### \*この題材で育みたい主な心と力（基礎・基本）

- B-選び、決める力…材料選択・完成の判断。
- B-比べる力…自分の姿を客観的にとらえる。
- B-イメージを膨らませる力(水平思考・垂直思考という発想方法を押さえて構想を練る。)
- C-自己理解、他者理解…表現と鑑賞を通して。

C-美意識…自分が表現したいテーマは何か、そして、それをどんな方法で。何にこだわるか。

#### \*題材の開発と見直し

・題材の関連性を重視してきた。また一題材の中で絵画か彫刻を選択する事で生徒の意欲や個性を引き出しやすい。描画材も幅を広げている。

#### \*意欲を引き出す手立て

・題材の導入時の鑑賞学習（教師の語りも重要）で題材との出会いを重視。また選択・意思決定場面の設定(画材・表現方法)をする。

### 2. 題材の目標

◎自分の表現意図に応じた材料を選択し、自分らしさを表現することができる。

### 3. 学習の全体計画（15時間）

- ①練習として描いてみよう (1時間)
- ②学習課題の把握…鑑賞・発想 (2時間)
- ③発想から構想へ(水平思考で) (1時間)
- ④構想(垂直思考で) (1時間)
- ⑤表現 (10時間・本時2/10時間)
- ⑥鑑賞 (時間外)

### 4. 本時の目標（7/15時間）

- ・自分の学習計画にそって見通しを持ち、集中して表現活動に取り組む。
- ・自分の準備した資料や参考作品などを基に自己の表現に生かすことができる。あるいは意欲的に自分の姿を描く。

### 5. 本時の展開

生徒の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①学習表をもとに本時の自分の学習内容の確認をする。 ②自分が立てた計画にしたがい、制作をする。 ③他の生徒作品や参考作品の鑑賞をし、制作へのヒントにする。 ④自分の作品を鑑賞し、学習表に本時の評価（次時の自分の課題）を記入。	・今日の生徒の学習の仕方について確認（途中で鑑賞の時間を取る） ・生徒の主題を尊重しながら、主として表現方法に関することでの助言。 ・鑑賞の視点は造形的な事以外に意欲の面も。鑑賞資料を充実させておく。 ・作品の見方について指導。 ・記入前の自分の作品鑑賞がポイント。	B 目途、見通しを持つ力（課題意識） B 選び、決める力（表現意図をいかに表現方法。） C 自己理解・他者理解（鑑賞を通し） B 比べる力（作品を離れて見る。）

題材名「異次元の世界からのデビュー  
～CDジャケットの制作」

中学校 3年生 デザイン (コンピュータ)  
～視覚伝達デザイン



千歳市立青葉中学校  
授業者 山田 浩人

### 1. 題材観

自分を表現するとき、言葉だけでは十分に伝えることは難しい。本題材では、自分の意志や願い、自分の持っている能力・特徴などの良さを、造形的に表現し、未来へメッセージとして、CDジャケットを通して、相手に伝えることを目指す。

#### \* この題材で育みたい主な心と力 (基礎・基本)

A-色や形の認識と表現

B-イメージを膨らませる力…自分の想像と、コンピュータを操作して生まれてくる画像の両面を融合させながら。

B-目途・見通しを持つ力、比べる力…何を、どのように伝えるか。

C-自己理解・他者理解…作品の構想

#### \* 題材の見直しと開発

・コンピュータを使ったデザインの授業の開発。

#### \* 意欲を引き出す手だて

・コンピュータの使用…手でかくときの上手下

### 5. 本時の展開

生徒の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①学習表をもとに本時の自分の学習内容の確認をする。 ②ファイル呼び出す。 ③拡大縮小、移動、配色の機能を使い、レイアウトを工夫する。 ④2人組でレイアウト効果について話し合いながら進める。 ⑤制作を交代し、③、④を繰り返す。 ⑥学習表に本時の評価と次時の課題記入。	・制作の進め方について確認。 ・機能の使い方等について、個に応じて紹介していく。 ・二人が気楽に話し合うようにし、より効果的なレイアウトを模索させるとともに、こういう姿を積極的にほめていく。	B 目途、見通しを持つ力 (課題意識) A 色や形の認識と表現 B 比べる力 C 自己理解、他者理解

手という意識にとらわれなくて、表現に取り組むことが可能。

- ・自分がミュージシャンとしてデビューし、自分のCDジャケットを制作するという、題材への出会いを重視。

### 2. 題材の目標

- ◎自分の願いや思いを、コンピュータを活用してイメージ豊かに造形的に表現する能力や意欲的な態度を育てる。

### 3. 学習の全体計画 (13時間)

①パソコンで遊ぶ	(1時間)
②学習課題の把握	(1時間)
③発想・構想	(3時間)
④表現	(本時4 / 7・7時間)
⑤鑑賞	(1時間)

### 4. 本時の目標 (9 / 13時間)

- (1)自分の学習計画にそって見通しを持ち、意欲的に表現することができる。
- (2)コンピュータの機能を駆使し、配色の工夫を図り、効果的な表現を追求することができる。
- (3)2人組でお互いの良さに気づき、助言をすることができる。



題材名 「夢中にさせるおもちゃ」

中学校3年生 工芸



千歳市立千歳中学校  
授業者 浜口 秀樹

- C-楽しみ、遊ぶ心…楽しみながら制作する
- C-達成感…自分の作品が機能する喜びを味わう
- C-自己理解・他者理解…相互評価を通して他の発想の良さに気づく

**\*題材の開発と見直し**

生徒の先行体験を重視する。材料や技法の選択に幅を持たせることで個に対応する。

**\*意欲を引き出す手立て**

グループ内で相互評価することにより互いのアイディアに注目し、刺激しあう。制作の手助けとなる資料・素材を豊富に用意する。

**1. 題材観**

ものを創ることは人間の本能的な欲求であり喜びでもある。日常で使うものを制作させることは、生徒のこのような人間感情と結びつくもので、つくる喜びや楽しさを味わわせるうえで好適な学習経験といえる。

本題材では、比較的入りやすく生徒にとっても親しみを持ちやすい木材をメインにし、金属、プラスチック、繊維（紐、布）等の素材を組みあわせることで、それぞれの材質感を生かしたおもちゃ作りに取り組ませたい。

また、グループ学習の中で相互評価を行ないながら自分のイメージ（価値）を追及し、手作りの良さや喜びを味わってくれればよいと考えている。

**\*この題材で育みたい主な心と力（基礎・基本）**

- A-基礎的な表現技法…適切な加工技術
- B-選び、決める力…材料の選択
- B-イメージを膨らませる力…様々な形の素材から遊具の形を発想する

**2. 題材の目標**

◎表現に取り組む中で自己の可能性を追求し、作品を生活の中で生かす能力や態度を育てる。

**3. 学習の全体計画（16時間）**

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| (1)いろいろなおもちゃ  | (1時間)           |
| (2)アイディア・スケッチ | (2時間)           |
| (3)材料の選択      | (2時間)           |
| (4)材料の加工      | (本時2 / 10・10時間) |
| (5)鑑賞・評価      | (1時間)           |

**4.本時の目標（7 / 16時間）**

- 計画に従って、材料を加工することができる。
- 他者の表現したいことをわかろうとし、自分なりの助言をすることができる。

**5. 本時の展開**

生徒の活動	教師の支援や評価	育みたい心と力
①学習計画表から、本時の取り組み内容をつかむ。 ②本時の作業のポイントを、グループ毎に確認する。 ③制作カードを基に、自分で準備した材料の加工を始める。 ④グループ内で制作手順や技術的な面の相互評価をする。 ⑤学習計画表に本時の学習の反省・次時への見通しを記入する。（グループ）	・前次の反省を確認し、本時の目当てにつなげる ・それぞれの計画を具体化する際につまづきそうな表現に関わる助言をする。 ・相互評価する上での視点を明確にする（次の作業のプラスになるように）	B 目途・見通しを持つ力 A 基礎的な表現技法 C 自己理解・他者理解 B イメージを膨らませる力

# 分科会提言集





分科会構成

校種	領 域	学年	授 業 者	提 言 者		助 言 者
幼稚園	表 現	年中	玉木美香 本田美智子 千歳わかば幼稚園教諭	古川 明美 千歳メリー幼稚園教諭	吉田耕一郎 きくすいもとまち幼稚園教諭	奈良 孝秋 千歳市教育委員会
	表 現	年長	相坂いずみ 馬越陽由香 千歳わかば幼稚園教諭	森 美由紀 ふくいの幼稚園教諭	山下 清江 函館市立松風幼稚園教諭	青山 清輝 空知美術教育研究会顧問
小学校	造 形 遊 び	小低A	吉田かおり 千歳市立向陽台小学校教諭	菅原 治子 江別市立野幌若葉小学校教諭	和田 浩司 幕別町立中里小学校教諭	本庄 勝弘 当別町立廣信小学校長
	つくりたいものをつくる	小低B	米積 由佳 千歳市立祝梅小学校教諭	濱野三喜男 恵庭市立和光小学校教諭	松浦 恵子 帯広市立明星小学校教諭	林 憲一 千歳市立信濃小学校教頭
	絵にあらわす	小中A	古林 史子 千歳市立信濃小学校教諭	細川 道子 石狩町立南線小学校教諭	内山 博之 網走教大付属小学校教諭	池端 外博 石狩町立南線小学校長
	つくりたいものをつくる	小中B	山田 陽子 千歳市立桜木小学校教諭	竹津 昇 江別市立大麻東小学校教諭	柏尾 和市 中標津町立若竹小学校教諭	福田 靖之 江別市立野幌小学校長
	つくりたいものをつくる	小高B	村田 勝巳 千歳市立向陽台小学校教諭	池田 元治 江別市立大麻西小学校教諭	添田 好美 北見市立緑小学校教諭	柴井 義雄 当別町立青山中央小中学校長
絵にあらわす	小高A	平山 一弥 千歳市立北陽小学校教諭	巖島 裕二 江別市立江別第三小学校教諭	野島 操 増毛町立別荘小学校教諭	関 建治 千歳市立北陽小学校長	
中学校	絵 画 彫 刻	全	山崎 正明 千歳市立向陽台中学校教諭	野口 裕司 石狩町立石狩中学校教諭	佐竹 秀行 苫小牧市立東中学校教諭	宮川 誠一 千歳市立東千歳中学校長
	デ ザ イ ン	全	山田 浩人 千歳市立青葉中学校教諭	宮武 輝久 江別市立大麻中学校教諭	伊藤 尚 札幌市立米里中学校教諭	上田 充 石狩教育局指導主事
	工 芸	全	浜口 秀樹 千歳市立千歳中学校教諭	松尾もと子 江別市立江別第一中学校教諭	矢元 政行 室蘭市立鶴ヶ崎中学校教諭	吉田 英夫 千歳市立千歳中学校教頭
高校	造 形	全		垂石 幸男 道立千歳高等学校教諭		香西富士夫 札幌市立札幌平野高等学校教諭

助言者	司会者		運営委員	記録者
鹿嶋 健 道造形教育連盟顧問	柏木 順 札幌市立いなづみ幼稚園教諭	斉藤 三佳 札幌市立白楊幼稚園教諭	鈴木 和美 千歳わかば幼稚園教諭	三平 貴美 千歳わかば幼稚園教諭 嘉屋亜希子 千歳わかば幼稚園教諭
森川 昭夫 道教育大札幌校講師	鉄田 貴子 千歳第2メリー幼稚園教諭	金内 祐子 千歳第2メリー幼稚園教諭	新潟真理子 千歳わかば幼稚園教諭	小俣 絹 千歳わかば幼稚園教諭 内藤 由貴 千歳わかば幼稚園教諭
渡辺 貞之 深川市立深川小学校教諭	菊地 俊弘 石狩町立八幡小学校長	日下 薫 小平町立鬼鹿小学校教諭	山田 眞美 江別市立江別小学校教諭	野村 利明 恵庭市立和光小学校
坂口 三津雄 蘭越町立港小学校長	野原 嘉人 広島町立西の里小学校教頭	千葉 錦一 えりも町立えりも小学校教頭	中野 悟 江別市立江別第三小学校教諭	津川 邦彦 恵庭市立柏小学校教諭
手代木 惇 八雲町立野田生小学校長	伝住 修一 江別市立江別第二小学校教諭	今野 博信 室蘭市立知別小学校教諭	長谷部典孝 江別市立大森小学校教諭	説田菜穂子 石狩町立八幡小学校教諭
鈴木 文雄 早来町立遠浅小学校長	土井 勝典 石狩町立紅葉山小学校教諭	岡田 貴幸 余市町立沢町小学校教諭	富樫 剛雄 広島町立大曲小学校教諭	高倉 妙子 恵庭市立恵み野旭小学校教諭
絵面 和子 函館市立石崎小学校教頭	松島 斉 千歳市立向陽台小学校教諭	岡本 眞一 幕別町立糠内小学校教頭	鈴木 秀幸 広島町立大曲東小学校教諭	紺野いく恵 石狩町立八幡小学校教諭
萱場 敏彦 室蘭市立東明中学校長	堂下由紀子 江別市立江別第二小学校教諭	吉中 博道 上富良野町立上富良野小教諭	秋本 和子 江別市立対馬小学校教諭	千葉扶佐江 江別市立文京台小学校教諭
多田 絃一 札幌市立北白石中学校教頭	野澤 紀義 当別町立当別中学校教頭	川合 薫 旭川市立明星中学校教諭	本田 章 江別市立江陽中学校教諭	天谷 道子 厚田村立繁富中学校教諭
長谷川英二 苫小牧市立勇弘中学校教頭	岩間 弘光 恵庭市立恵北中学校教頭	中島 洋一 滝川市立江陵中学校教諭	川名 義美 石狩町立花川北中学校教諭	小田島裕美 千歳市立北斗中学校教諭
鈴木 俊昭 苫威子府村立苫威子府小学校長	桑田 正博 広島町立東部中学校教諭	村上 陽一 帯広市立緑園中学校教諭	陰山 千文 千歳市立真町中学校教諭	工藤 宣子 恵庭市立恵み野中学校教諭
	福士 隆敏 道立札幌厚別高等学校教諭		横山 和郎 道立千歳北翔高等学校教諭	高橋 知子 道立恵庭南高等学校教諭



〈提言〉「表現しようとする  
気持ちを育てる」

幼稚園・年少

千歳メリー幼稚園  
古川 明美



### 1. はじめに

造形活動とは、もとより遊びから始まる活動であるが、造形体験の少ない3歳児にとって、自らの遊びの中で造形活動を発展させ楽しむ事は難しいので、身近な材料体験を豊富にし、素材や題材に感動を持って出会う事で、幼児の造形意欲を育てていきたいと考えた。

### 2. 研究内容

3歳児は個の遊びから集団への遊びへと発展していく大切な時期であるため造形活動をコミュニケーションの一方法として育てていくことを考慮し、次のような視点で年間カリキュラムを立てている。

- (1)「作品をつくる」という事にとらわれず、素材の感触を楽しんだりし、造形活動そのものに「熱中」できるようにする。
- (2)制作したものが遊びの道具となり、次の遊びへと発展していくようにする。
  - ・「見立て」を大事にする。
  - ・「ごっこ遊び」へ発展するよう配慮する。
- (3)様々な材料体験させていく中で、材料・用具の知識を系統的に身に付けさせていく。
  - ・「お約束ごと」…はさみの扱い方。お片付け。
  - ・遊びを通し身に付けさせていく。…のりの性質
- (4)日常の生活の中での驚きや発見を大切にする
  - ・粘土との出会い・絵の具との出会いをより効果的に。「さぐり箱」「色水遊び」
- (5)年間を通じて、教材を豊富に与え、選んだり、工夫したりできる活動を中心とする。

### 実践例「レンジでチン！」

ダンボールを○△□に切った物にジャム（のりを絵の具で着色し、イチゴジャム・チョコレートに見立てて、作っておく）をつけて、その上に色画用紙を細かく切った物をトッピングし、ダンボールでつくったレンジで焼く。バニラエッセンスをふりかけていい匂いがしたら出来上がり。できたクッキーをままごとに使ったり、それをもとにピクニックごっこをしたりし、遊びを発展させていく。

子供たちは、のりを楽しんで、抵抗なく扱っていた。バニラエッセンスのにおいにも感動し、遊びが広がっていった。

自分だけの物を楽しく作ることが、集団遊びへと発展し、友達との関わりの中から社会性が育ち人格形成へとつながっていく。

#### 〈研究との関わり〉

##### ①この題材における基礎・基本

「選ぶ」「楽しみ遊ぶ」「材料・用具の扱い方」「自己理解・他者理解（個から集団への発展）」

##### ②題材の開発と見直し

子供の生活体験との関わりを押しえクッキーづくりを。

##### ③意欲を引き出す

レンジとバニラエッセンスを準備、子供をその気にさせる演出（環境づくり）

### 3. 今後の課題

- ・子供が「ドキドキ、ワクワクする」体験を豊富にさせたい。題材を子供に提示するとき「どのようにしたら子供のイメージが膨らんでいくか」その導入と題材開発を特に大切にしてきたが、今後も大切にしていきたい。
- ・今回の研究を通じて年間カリキュラムの重要性を再認識した。今後も「子供たちに豊かな心と確かな力を育む」という視点からカリキュラムや各題材の中身をより充実させていきたい。

〈提言〉「年中児とかわる時  
—生活の流れの中の造形」

幼稚園

札幌市立きくすいもとまち幼稚園  
吉田 耕一郎



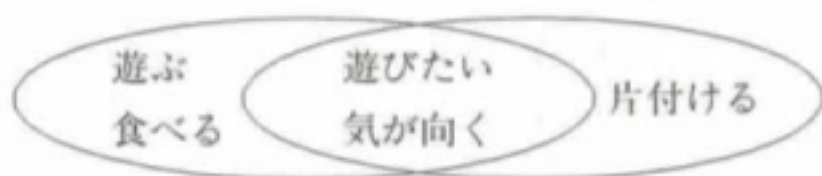
1. はじめに

幼稚園の年中児は年齢4～6歳の幼児です。この時の子供達の精神的な発達の様子は、具体的・視覚的な経験に基づき、その表現は夢のようにファンタジックなものと言えます。また、気が向かなければ手をつけないという純粋に個人的な興味を中心にした生活とも言えます。

今回は、幼児の幼稚園での生活の中で、幼児自身が一番過ごしやすい生活の流れと、教師が幼児に期待していくものをどのように融合して進めていったらいいかを考えてみたいと思っています。

2. 研究内容

◎生活のとらえ

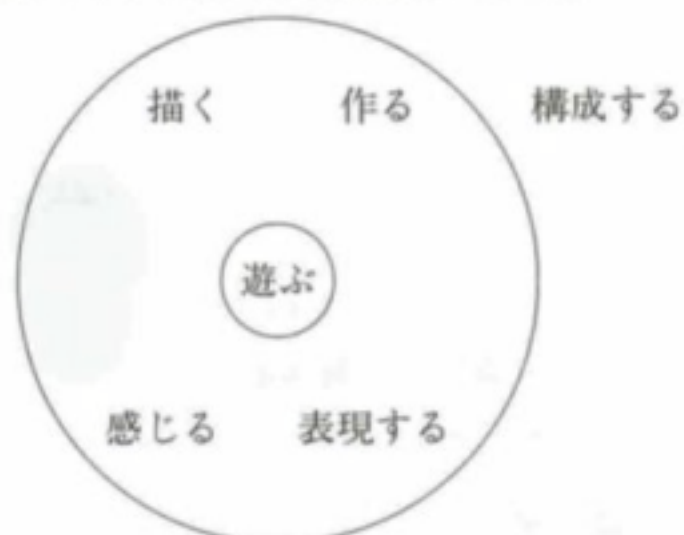


※生活全般をこのようにとらえる

☛ ⇒勝手にさせていて育つのかという反論

◎造形活動の位置付け

- ・時間割的な経験のさせ方
- ・遊びの中に組み入れる経験のさせ方



これを結合して

- ・環境の中に造形的な表現が随時できるようなスペースを設けたり、ごっこあそびのなかの造形的な表現を大切にしたり、遊び感覚で、全員で何かに取り組む



3. まとめと今後の課題

教師側のプランを先行させると、楽しい表現が生まれて来ないように思います。

幼稚園では、子どもの前ではなく、子どもの後に教師のプランがあると考えたほうが良いと思っています。



〈提言〉「幼稚園という環境の中で……」

幼稚園

札幌市立ふくいの幼稚園  
森 美由紀



## 1. はじめに

今回、思いがけず幼稚園の年長部会で発表することとなり、何を発表したらよいものかといろいろ考えました。しかし、あまりにも期間が短くて頭の中は混乱したままなのが実情です。が、まずは、幼稚園そのものをいろいろな校種の方に知っていただくこと、そして、幼少の関連も考えながら今後の課題をみなさんと話し合いの中から見い出せたらという思いから、研究発表というより、幼稚園の実態報告をさせていただこうと考えております。

## 2. 主題について思う事

幼稚園教育要領の中で、造形教育は“感性と表現に関する領域「表現」”という中でそのねらい及び内容が打ち出され、「この領域は、豊かな感性を育て、感じた事や考えたことを表現する意欲及び創造性を豊かにする。」という観点からねらいと内容が出されている。

幼稚園の活動は学校とは異なり、いろいろな要素が含まれて一つの活動になっています。例えば、廃材を利用して楽器を作り、それを曲に合わせて鳴らして合奏する。絵本の読み聞かせの後、登場人物を絵に描いたり、お面や遊びに必要な物を自分たちで作ってごっこ遊びをしたり、造形活動は日常生活の中で子ども達がいつも触れている活動です。しかし、その部分だけをとって考えることはほとんどなく、遊びの流れの一部で、必然的な活動としてとらえられて

いる様に思います。

でも、学級全体でクレパスや絵の具を使って絵を描いたり、紙粘土で作品を作ったり、折り紙をしたりといった時間も勿論あります。

今回の大会主題、並びに主題について、幼稚園ではどうかと私なりに考えてみました。「豊かな心」とは“豊かな感性”にあたり「これはなんだろう」「何に使うものかな」「何してるの」「どうしたらできるかな」「〇〇に似てるな。並べてみようかな。くっつけてみようかな」等という、素朴な思いから、好奇心や探求心、ひらめき、創造性等の芽を育て、太らせていくこと。「確かな力」とは、心の中に芽生えた事を自分なりに表現してみたい、形に表現してみたいという気持ちを育て、「どうやって描こうか」「これで作るとどうなるだろうか」等という創造性を培い少しずつその子の力として蓄えていくこと。「造形学習」とは、遊び。幼稚園は学校のように時間で生活を区切る事はほとんどなく、子どもの遊んでいる様子によって流動的に次の活動に移っていくことが多い。教師にとっては予定外の活動でも、子ども達が興味を持って取り組んだり、広めたりしていく場合があり、子ども達の意欲が強ければ強いほど、長い時間取り組んだり、自分の学級から他の学級へと輪を広げて楽しんだりすることも多い。

幼稚園という所は、いつ何が始まるか分からず、緊張感と楽しみが入り交じっている場所です。それに必要な環境をつねに用意しておくと共に、教師が咄嗟にどれだけ対応できるかという教師のひらめきも大きな力になります。小学校へと進んで行った時に、幼稚園で蒔いた種が、芽が、大きく育っていくように、子ども達一人一人に確かに根付いていくように、「豊かな心と確かな力」を子ども達と共に教師も一緒に身に付けていけるようにしたいものだと思います。



〈提言〉「自らの活動に取り組み、  
豊かな心情や思考力の芽生えを  
培う援助のあり方」

幼稚園・年長

函館市立松風幼稚園  
山下 清江



### 1. はじめに

幼児は、自らが環境にかかわり、遊び込む中で発見・驚き・感動・意欲等の心の動きを示し、自分なりに様々な形で表現しようとする。その気持ちに、教師や友達が共感し合う事を通して、幼児は、表現する意欲を高め、創造する楽しさや喜びを味わう。従って、造形的な遊びにおいても、幼児が主体的に取り組めるよう、援助のあり方について研究を進めている。

### 2. 研究内容・方法

- (1) 幼児一人一人の発達過程を捉えた幼児理解に努める。
  - ・心の育ちを重視した個人観察記録の活用
  - ・幼児の思いや願いを大切に援助の工夫
  - ・用具の基本的な扱い方に対する指導・援助
- (2) 意欲的にかかわれる環境の工夫に努める。
  - ・多様な体験を通して、心のゆさぶりやためこみができる環境の工夫
  - ・意欲的に考え、取り組めるような素材や用具、時間や空間の確保
  - ・幼児の柔軟な発想に寄り添う環境の構成
- (3) 教師と幼児、幼児同士の好ましい人間関係をつくるための援助のあり方を工夫する。
  - ・その子らしさを共感をもって受け入れるという教師の援助
  - ・お互いの「良さ」を認め合うような幼児同士のかかわりへの援助

### 3. 事例

- (1) 2年間の園生活の体験を土台に年長になっ

た喜びがきっかけで、造形的な遊びに進んで取り組むようになった例（5歳児）

〈3歳年少の時〉

「描く・作る」遊びは、家庭での経験が殆どなく興味をもたなかったため、あるがままの姿を受け入れ、鉄など用具の基本的な扱いを重視して援助してきた。

〈4歳年中の時〉

友達を模倣し、自分のできる表現方法で取り組もうとする気持ちの芽生えが感じられた。励ましたり、できた事を喜び認め合う等したり気持ちを重視した雰囲気づくりに心がけた。

〈5歳年長になって〉

お母さんの顔を描き、友達から認められた事で、更に「描く・作る」遊びが好きになり、進んで取り組むようになってきた。

〈考察〉

友達や教師の温かい人間関係が、失敗しても繰り返し取り組もうとする気持ちを育てた基盤になったと思う。また、生活の中で自信につながる体験を積み重ねた事で、造形的な遊びも進んで取り組むようになったと考えられる。

- (2) 気の合う友達ができたことで、絵を描く遊びに取り組み出した例（3歳児）
- (3) 友達とイメージを共有し遊びを広げていった例 —大型積木での恐竜作り—（5歳児）

### 4. まとめ

幼児は、自分を受け入れ見守ってくれる教師や友達がいることで安定し、環境に目が開かれ、意欲的に活動に取り組む始める。そして、活動し続ける中で、自分を表現するようになる。

そのため、教師は、日常生活の自然な流れの中で、幼児の内面を共感的に理解しながら個々の感じ方を大切に育てることが大切である。また、充実感や満足感が得られるよう、環境作りを工夫したり、一人一人の発達や興味・関心に添った柔軟な援助を続けていく事が大切である。



〈提言〉「素材の特性を生かし、  
造形意欲をかき立てる  
題材を求めて」

小学校低学年 造形遊び

江別市立野幌若葉小学校  
菅原治子



### 1. はじめに

学習指導要領の目標の中に、「材料をもとにした造形活動の楽しさを味わい……」というくだりがあるが、それを受けて造形遊びでは、材料とのかかわりを大切にしながら活動を楽しむことが、内容の中心となっている。

本大会の研究主題を受け、具体的にどの観点から提言に切り込むか考えていったときに頭に浮かんだのは、材料が持つ可能性を生かした題材とはどういうものなのだろうかということだった。特に造形遊びは私にはまだその位置付けがあいまいにしか捉えられていなかったせいか、実践集を読んでは、「材料と戯れている」ような内容に首をかしげる思いをしていたこともあったので、この機会に「材料」を意識して、低学年の造形活動のあり方を自分なりに考えてみたいと思った。

### 2. 研究内容

#### ・発泡スチロールトレーを使った実践

スーパーで食品を買うとあっというまにゴミ箱を一杯にしてしまう、身近素材としては大変集めやすい発泡トレー。これをはさみで切ってみると実に簡単に切れ目が入られる。逆にいうと割れやすいという欠点にもなるが、材料のストックがあれば惜しげなく使える。今まで発泡トレーを器として使ったり、浮かべて使ったりすることはあったが、トレーそのものをもっと自由に形作る材料として使う題材を考えてみ

たいと思った。

#### 「スペース・ライト・ツリー

(宇宙に浮かぶ木)」(2年)

発泡トレーを自由に切り、切り込みや差し込み口を入れて組んでいく。天井から下げたテグスにいろいろなトレーの破片をさげていくうちに、大きな白いオブジェが出来上がる。それを天井まで吊り上げて、部屋を暗くし、プラネタリウムのようにライトを当てれば、宇宙空間に漂う不思議な樹林となる。

#### 「未来ハウス」(1年)

発泡トレーに穴を開けて、プリンカップやフィルムケースなどを差し込んだり、トレー同士を組み合わせて、未来を想定した家を自由なイメージで組み立てる。



### 3. 今後の課題

造形遊びでは、子供が材料に対して主体的に取り組む過程を重視しているが、そういう意味では今回の実践は「造形遊び」と「作りたいものを作る」の両方にかかわる題材かとおもう。ただし主点においたのは、材料を組み立てていく楽しさ、組み立てていくうちに沸き上がり変化していく創造力を生かせる題材に、ということである。端的に言えば、発泡トレーを、自分で形作ることができる積木と考えて題材を組んでいったつもりである。積木であるから取り外しできるわけではあるが作品の保存性を考えると、接着の方法で課題が残る。

学年を問わず題材化が可能な素材である。今後も開発に努めていきたい。

〈提言〉「地域の環境や素材を生かした  
造形活動」

小学校・全学年・造形遊び他

幕別町立中里小学校  
和田 浩司



## 1. はじめに

私の勤めている学校は、川と林、そして畑に囲まれた中にある、児童数13名、職員数5名の極小規模校である。図工の授業については複式（1～3年と4～5年）で行うのが基本であったが、今年度からは全学年同時間にできるだけ同領域で行うようになった。題材により

- (1)全学年合同、
- (2)低（1～3）・高（4～6）学年別、
- (3)低・中・高学年別

など様々な形態で行っている。

また、指導についても担任団を中心に全教職員で取り組むチームティーチング（T・T）方式を取り入れることを研究中である。

以上のような点から、今回の提言については私個人のものでなく、学校全体のものであること、低学年を含む全学年を対象としたものであることをご了承願いたい。

## 2. 研究の内容

現在当校では、図工科を中心に子どもが身近かに感じられる地域の素材や環境をどのような教材として活用できるかを検討中である。その中から、ここ数年取り組んできた粘土を使った表現活動を紹介するものとする。

学校のすぐ近くを流れる川の河原には2種類の粘土層が随所に露出している。その大部分は砂が多く混じったものであるが、中には砕いて練れば児童にも扱いやすい粘土に変わるものも

ある。これを活用した活動は内容的には、  
①地域の素材を児童自ら探し調べ教材化するという裁量の時間を使った地域学習（ふるさと学習・児童会活動）の面。

②図工教科として表現活動を主体とした面。とに分けて行っている。①に関しては図工教科での取り組みではないが、図工に関わる造形活動の一環として押さえている。

### ①粘土探し～粘土作り（地域学習）

- ・全校生で川原に行き、粘土を探す。
  - ・スコップ等で塊状態の粘土を砕き採取する。
  - ・さらに砕き、ふるいにかけて粉末状と小片に分ける。
  - ・A：粉末状→水で練って粘土にする。
  - ・B：小片→水に溶かし泥状にした後、水分を減らし粘土にする。
- またはA、Bを混ぜ合わせ粘土にする。

### ②造形活動（数年の活動から）

#### ○図工教科としての活動

- ・使うものをつくる（楽焼）全学年
- ・ウサギをみて作る（素焼き）全学年
- ・建物を作る（楽焼）高学年
- ・塊を彫って作る（彫刻）高学年
- ・はたらく人（彫塑）高学年
- ・好きなものを作る（野焼き）全学年

#### ○地域学習（児童会としての活動）

- ・素焼きの鉢植え作り
- ・素焼きのマスコット作り

## 3. 今後の課題

子ども達は、今でこそ当たり前のように思っているが、当初は、岩みたいな塊が柔らかい粘土になること、出来た作品が堅い焼き物になることが驚きであったようだ。

今後は別の観点で子ども達が驚き、興味関心をもてる題材の検討と、これを図工科全体の中でどのように系統化していくか検討していく必要がある。



〈提言〉「子どもが夢中になる造形学習」

小学校

恵庭市立和光小学校

濱野 三喜男



## 1. はじめに

「子どもが夢中になる造形学習」とは。どんな教科でも、いつでも子ども達が夢中になる授業づくりをしたいものである。夢中になって何かに打ち込んでいる時こそ、子どもの真の姿が見られ、学習の深化が図られるからである。そのために、

### (1)一人ひとりの表現を大切にす

子どもの表現したものは、出来・不出来にかかわらず価値は等しく認めてやらなければならない。そのことによって、自らの表現に自信を持ち、生きるために大きな力になるからである。

### (2)一人ひとり課題を持たせる

造形学習の本質は、子ども達が表現したいものを自らの力で作り上げようとする主体的な学び方にある。そのために技法による能力主義の意識を取り除かなければならない。

### (3)新しい発見や驚きのある学習を

魅力あふれる題材・素材との出会い。楽しくのびのび表現し、多くの発見や驚きを経験した時こそ、豊かな心を育てることになる。

## 2. 研究内容について

2つの実践から

### 「水族館をつくろう」2年生、167名

この題材では、いかにしてイメージづくりをさせるか。そして、低学年という発達段階を考慮すると、作りながら楽しんだり、作りながら考え発展させていく流れの必要性を感じた。表現方法では紙袋を例にして、一枚の袋で

も多様な表現が可能で、さらに他の材料との組み合わせで、表現が広がることを学ぶと、子ども達は創造力を働かせ思い思いの作品をつくり上げていった。広い体育館が大きな水族館になり、子ども達は喜びを全身で表わし、魚の気持ちになって水族館の中を巡らせるなど遊びの要素も取り入れて実践してみた。

### 「丸太でオブジェをつくろう」4年生 110名

造形学習において確かな力を育てるためには、「手の労働」を軽視するわけにはいかない。以前と違って今日、大工道具を揃えている家庭が増えているように思える。しかし使用頻度は少なく、店に行ってもある程度加工されて、工夫して楽しむ余地がないようである。

「オブジェ」何となく漠然とした響きだが、ここでは作品のイメージづくりと大工道具の使い方と、つくる喜びに重点をおいて指導した。造形学習では、子ども達の豊かな発想・構想をどう引き出すかによって作品が決まってしまう。いかにしてイメージづくりをするか。最初の試みは、丸太の積んである場所に行ってスケッチさせたり、造形作品集を見せたりしたが、いずれも失敗に終わってしまった。子ども達がイメージ化できたのは、割り箸と輪ゴムを使って試作できた時で、ヒントは公園や広場にある遊具施設であった。子ども達から「土の中に埋めたら」「上からつるしたら」「地面から浮かしたら」……面白いアイデアが沢山出てきた。やっと現実的なものになり、班毎に準備を進めることができた。外の広場には、丸太という材料に親しみながら並べたり、組んだり、埋めたり、吊るしたりしながら思い思いに工夫しながら、体全体を使ったダイナミックな造形活動に発展していった。

## 3. まとめと今後の課題

造形活動は、材料との出会いが一つの重要な要素を占めている。実態に合わせて、どんな材料をいつ・どこで・どのように出会わせるか。次は発想の段階で、いかにしてイメージ化させて意欲を引き出すか、そして、学年の発達段階に合った道具の使い方や指導などが造形能力を高める重要な要素である。



〈提言〉「想いをふくらませる  
指導の在り方」

小学校 作りたいものをつくる  
「ゆめのすいぞくかん」

帯広市立明星小学校

松浦恵子



### 1. はじめに

子どもたちの生活が以前と比べて、質的な変化をしていることは一般に言われていることである。

既製のおもちゃで遊ぶ子どもたちは自分で物を作るという生活経験が乏しく、メディアを通じて発想の前ではいろいろなイメージを膨らませることができるのだが、それを自分の手で作り上げる方法や技法の面で経験が乏しい為に発想を思うように表現することが難しい。

一つの方法から想いを膨らませ、自分の想いを広げて行く上で、子どもたちがさらに工夫したり新しい技法に挑戦できるように手立てをこうし、それを支える力になることで、作りたいもののおおまかな形から、材料をもとに作りながら自分の想いの形を生み出して行くという造形活動の喜びを味わえるようにしたい。

### 2. 研究内容

1年生にはイメージデッサンは難しい、自分の作りたい物を材料をもとにおおまかにイメージして作りながら構想を練って行く。自分の想いがどんどん広がって行く。

図工環境を整え教室を夢の水族館に見立てて誰も見たことのない生き物を泳がせてみる。水の中の透明な感じを出すために、ペットボトルなどの透明容器を材料の中心におき、他の材料を付け加えて行く中でおおまかな形のイメージが少しずつ膨らんでいくように支援していき

いと考えた。

#### (1)イメージ化をはかる

各自が持ち寄った材料や教師が用意した材料をもとに、おおまかな組み合わせを考え想いを膨らませる。

ペットボトル、プリンカップなどの透明容器のほかに、空き箱、発泡スチロール容器、トレイなどいろいろな材料を持ち寄ってコーナーを作っている。ほかに色画用紙、紙テープ、すずらんテープなどの材料をどのように組み合わせるか、自分に必要な材料を選択させおおまかな形をつかませる。

#### (2)作り方を考え、さらに工夫を重ねて楽しみながら製作する

ポリ容器が中心材料となるためセロテープ中心の接着になるが、紙類はについても他の容器材料をつけるとなると強力な両面テープなどが必要となる。どのように作るかという方法、手段を自ら考え工夫を重ねて行く必要がある。

個人製作ではあるが、夢の水族館に住む生き物を作る上で共同制作にもつながり、お互いの工夫している点を参考にしながら、自分の想いを膨らませることができる。

#### (3)かざりつけ、作品を紹介しあう

作品交流の場を設定し自分の活動を振り返り、それぞれの表現や工夫の良さを認め合う場とした。

### 3. 今後の課題

テーマは共通でも、一人一人の想いは多様である。技法上のつまずきから、せっかくの想いに広がりや深みをもちえず、容易に方向転換したり、思いつきに終わったりしてしまうこともある。みな一様に楽しみながら真剣に取り組んではいたが、注意深く製作を見続ける必要がある。



〈提言〉「子供の豊かな思いを育む  
造形活動を求めて」

小学校・4年生・絵に表す  
「ある日の記録」

石狩町立南線小学校  
細川道子



### 1. はじめに

これからの学校教育は、豊かな心を持ちたくましく生きる子供の育成を目指して子供側に立つ教育を展開する必要がある。子供の豊かな思いを育むことは、そのような教育を推進するための極めて重要な視点であり、新しい教育が求める「子供のよさを生かす教育」すなわち「子供の豊かな自己表現の教育」の基盤となるものである。造形活動を通して、自分らしさを素直に表現することのできる子の育成を目指し本主題を設定した。

### 2. 研究内容

「絵に表す」は、自己表現に他ならない。従って子供たち一人一人の豊かな思いを素直に表現させたい。4年生は生活行動が広がり、周囲の事物に対する関心が高まり、より思考が深まることから、「自分らしい表現」への意欲が現れてくる。一方、このことの男女差や個人差もかなりはっきりと現れる時期でもある。個々の子供の発達や興味・関心を考慮し、個々の欲求（思い）を生かす立場からの支援の在り方を究明してみたい。

〈提言実践例〉

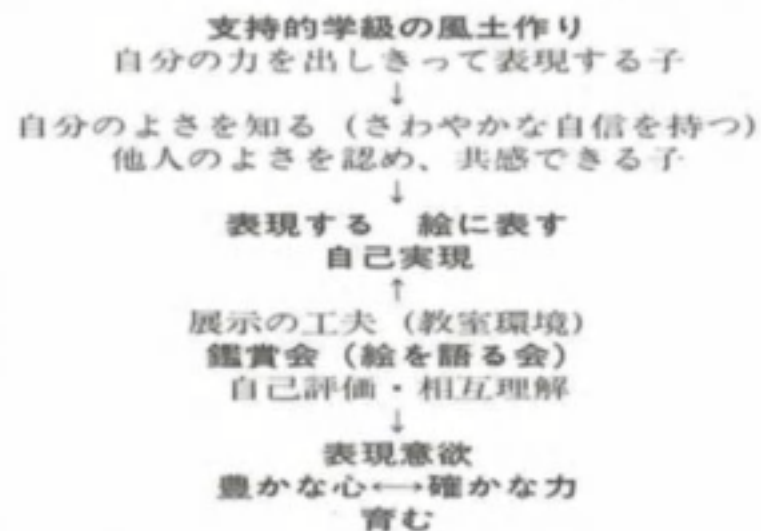
- 「ある日の記録」～体験による絵～
- 自分の生活の中から印象に残る出来事を思い出して、その様子を絵にかこう。
  - 自分が表したい思いが表現できるように、画面の組み立てを工夫しよう。

私は、豊かな思いを育むことを造形教育の基本的な方針としている。その実現には、豊かな思いを育む土壌作りや豊かな体験活動が大切と思う。

それにはまず、学級がそれらに共感するものとなっていることが重要である。豊かな思いの強弱は、様々なものを自己の眼と心で創造的に把握しようとする意欲の大小によって左右される。その指導にあたっては、造形の対象とじっくり対話できる場と時間的なゆとりある授業の展開が大切である。そのことは、自分の思いを創造するだけでなく、相手のよさにも気づきそれを認めようとする姿勢を生むことになる。

次に、一人一人の思いが生かされ、さらに学級全体に発展するような教室環境の整備が大切である。そして何より、相互に心を通わせる学級の支持的風土を作ることや、一人一人の個性や持味を生かし、心を育てる学級経営・学校経営が基盤になるのである。

豊かな思いを育む造形教育



### 3. まとめと今後の課題

子供の豊かな思いを培うためには、教師自身が一人一人の思いを豊かに感じ、受けとめ、生かす力量を身につけることが最も大切なことではないか。子供たちが持っている様々な思いに共感的に理解し、それを基に考え、更に思いをふくらませて新たな表現に向かう、このことを意図的に繰り返させることによって、その子らしい確かな表現と豊かな心が育まれていくものと考えられる。

〈提言〉「創造性を生かすための  
感性にひびく学習指導のあり方」

小学校

北海道教育大学教育学部  
附属釧路小学校

内山博之



### 1. はじめに

造形活動において、子供一人一人の創造性を生かすことは、豊かな表現活動の取り組みにつながり、自分の表現を味わうとともに豊かな情操が養われることにもつながるのである。

「創造性」とは、創造的な思考力によって生み出される新たな思考であり、新たな意味（価値）のある行為である。その創造性を生かし、培うための基礎的な観点とは、直観力想像力、論理的な思考力（構想力）、観察力である。そのような、創造性を生かし培うことによって、子供は、より能動的・主体的に活動し、表現活動そのものを楽しむようになると考えられる。

### 2. 感性にひびく学習指導のあり方

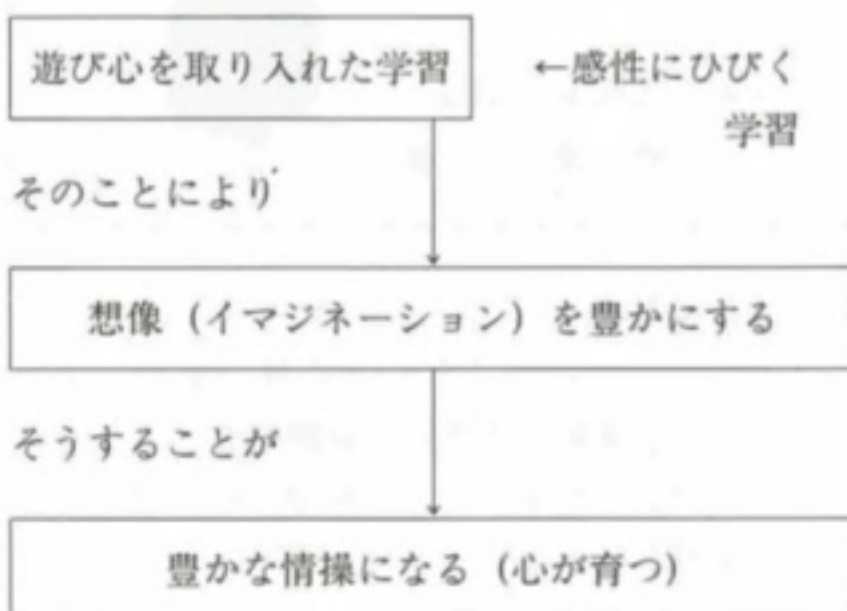
様々な事象に対して価値あるものに気付き子供自身が自分ごととして必要感のある学習をしていくには、子供の感性にひびく学習指導が大切である。

そのために、子供一人一人の直接体験を重視することや造形表現の幅広さを感じることができるとなるような活動を行うことによって、子供が題材及び主題追究の価値を見出すことができると考えた。

その一つとして、授業の中に創造の素である遊び心を取り入れることである。

### 3. 指導の実際

造形教育が果たす教育機能は、見取る力、創造する力、行動する力の三つに集約できる。遊び心を取り入れる感性にひびく学習を進めることによって、その三つの力が育つと考え実践してきている。



#### ●具体的な感性にひびく学習指導のあり方

- (1)題材と直接かかわりのある体験的活動。  
(工具や用具を使ったり、材料とのかかわりを持たせる。)

#### (実践例)

モダンテクニックといわれる様々な表現技法を遊びながら試してみる。

- ・こすり出し ・貼り絵
- ・墨流し ・霧吹き
- ・たらし絵、吹き流し ・合わせ絵

- (2)子供の既成概念の崩しと、驚きや感動の触発。

#### (実践例)

経験や体験の掘り起こしとして波の効果音を聞いたり、用紙に穴を開け窓をつくる。

### 4. 今後の課題

子供は、興味を持って能動的に造形活動に取り組んだり、様々な表現が出来るようになってきた。さらに、子供一人一人の創造性を生かすために遊び心を通して子供の感性にひびく学習の在り方を究明していきたい。



### 〈提言〉「身近素材から創造する造形学習」

小学校・2・5・6年生  
絵にあらわす  
つくりたいものをつくる

江別市立大麻東小学校  
竹津 昇



## 1. はじめに

ここでは、容易に手に入る身近素材（ダンボール、包装紙、空き缶、新聞紙など）を用いて、素材から想像したり、触発されて創造する造形学習を紹介する。

実は、図工という教材では、わざわざ高い材料費をかけて、作品をつくり、そしてその作品が、「ごみ」として葬られることが少なくない。私は逆に、「ごみ」になる運命の材料に子どもの思いや手の作業という付加価値をつけて、できたものが捨てがたく、愛着のもてるものをと考えて、実践してきた。それを紹介する。

## 2. 研究内容

### ①魅力のある題材づくり

- ・「あなの中で」2年、絵であらわす  
あなを包装紙でとりかこむ。包装紙の模様から触発され、思いもしなかった絵ができる。
- ・「わたしのすきな動物」2年、ねんど  
空き缶や空き瓶から想像できる動物を、紙ねんどやビー玉などをつけてつくる。絵の具で着彩し、存在感のあるものができる。
- ・「ペーパーシューズ」5年、紙工作  
ダンボール、厚紙、新聞紙の紙だけで、質感の備わったしっかりした紙の靴をつくる。紙で靴ができる驚きがある。
- ・「ライフ、マスク」5年、ねんど、紙工作  
使われなくなった油ねんどと新聞紙から生き

生きした表情の自分の顔ができる。

- ・「わたしの甲冑」6年、紙工作  
厚紙、ダンボール、廃品などを利用して、自分に合った甲冑をつくる。身につけてみて、思いがけない、自分の姿を知る。
- ### ②表現意欲や発想を引き出す手立て
- ・「あなの中で…」  
独自の穴の形から、いろいろな活動を想像する。
  - ・「わたしのすきな動物」  
空き缶や空き瓶をねかしたり、立たせたりしてできる動物を想像する。
  - ・「ペーパーシューズ」  
本物の靴から、できる紙の靴を想像する。
  - ・「ライフ、マスク」  
さまざまな表情をしてみても、生き生きした表情をみつけて、自分の顔を表現する。
  - ・「わたしの甲冑」  
戦国時代の武将の甲冑を参考に自分なりの甲冑を想像したり、見えそうな廃品を考える。
- ### ③基礎、基本を重視した技法指導
- ・用途や技法に合った材料や道具の選択
  - ・失敗のない作業工程の理解
  - ・表現に合った技法の選択



## 3. まとめと今後の課題

これらの題材でそれなりに自分の思いや自分の感覚を表現できる児童が多くなったと思う。しかし、それらの思いや表現をつなぎ、発展させる、生きた造形活動を構築する必要があるのではないだろうか。そのために、これらの題材を利用したり作品を再利用する、題材のリサイクルのような題材も考えてみた。



〈提言〉「版画文集の取り組みを通して、子どもたち一人ひとりが自分のよさや可能性を生かし豊かな自己表現を目指す学習活動の指導」

小学校4年生

中標津町立若竹小学校  
柏尾和市



## 1. はじめに

本校で、毎年欠かさずに発行している版画文集「ほくたち・わたしたちのわかたけ」というのは児童の1年間の成長のまとめとして、児童個々の活動の様子がよりよく見えるものを目指して製作するものである。そのため個人ごとに写真・作文・版画を1セットとして編集していく事とする。作文についてはその題材を生活のあらゆる活動の中から求め、具体的に掘り起こしたものでその作文群の中で特に表現したい場面を版画にしている。

この文集を通して子どもたちに育てたいものはまさしく「生き生きと表現できる力」である。それを育てるために、基盤となるのはやはり「感動する心」を育てるというところに到達する。

学校行事を中心とした子どもたちの活躍の場を与える事によって子どもたち自らが、それらを作りあげているという事を実感させる必要がある。

一つの感動を作文に表現し、じっくりと分析しながら、やがて版画表現に置き換えるということはこどもの思考力を育てるうえでたいへん有意義なことである。

## 2. 研究内容

本校の〈わかたけ集会〉は、人間として相互に信頼し合い、理解し合い、高め合いたいという教師の願いを具現化するために設けられ、その子のものの見方、感じ方、考え方など各方面に求めるとともに伸び伸びと自由に感じたこと

を表現できるようにさせたいということである。

大きく言えば、その子の生き方にまで迫っていきたいと考えながら取り組んできている。

その〈わかたけ集会〉の内容というのは、一人の子の作文発表を皆で聞いて、互いに思った事や感じた事、考え、感想などの意見交流を教師の指導によって進められていく訳だが、その子なりの素晴らしい文章表現の背景には、学校すべての教育活動（教科、道徳、特活、ゆとりなど）を始め家庭生活や、地域社会の影響など、子どもを取り巻くすべての生活環境が関係してくるのである。

すなわち、子どもたち一人ひとりに、生き生きと充実した学校生活を送らせたときには、その子なりの最も素晴らしい文章表現や生活画表現を生み出す基本になるということである。

この〈わかたけ集会〉で発表される作文は日頃書いている絵日記や生活ノートの短文をもとに、それを膨らませることによって一つの大きな発表にふさわしい作文へとなるのだが、集会に至るまでの事前の作文指導を行っている。

その主な要領として、耳[音が聞こえるように書く]、心[誰かが分かるように書く]、目[考えがわかるように書く]、口[ものがみえるように書く]を念頭にかけながら実践を重ねている。

これらのことは、日常の指導を積み上げることによって少しずつなされていくものだが、その成長の証しを確かめる場として、わかたけ集会を設けているのである。

## 3. 今後の課題・まとめ

我々教師は日常の授業改善はもとより、特に感動体験を多く持たさせるような心の耕しのための工夫を仕組む必要がある。

子どもたちの、つくりたいものをつくるという行為は、子どもたち自身が自分の考えを持っていなければ本当につくりたいものはつくれないという前提としておきかえたい。

普段からの子どもたちの発想を生かし、それらを大切にしながら、常に、心を掘り返してやらなければならないと考える。



〈提言〉「子どもたちの意欲と豊かな  
発想を引き出す手立て」

小学校・6年生・つくりたいものをつくる



江別市立大麻西小学校

池田元治

## 1. はじめに

私の学級の子どもたちは、造形活動を比較的好んで行うが、ともすると教科書の作品例や友達の作品の模倣で終わったり、また、意欲が持続せずせっかく取り組んでいた作品を途中で投げ出したりということに陥ってしまう。その多くは、どうしたらいいか分からないけど何とか作品をしあげようという苦しい気持ちの表れであったり、技術的な未熟さが障害になって自分のめざすところにたどり着けず、やる気を失ってしまうというものである。教師の支援不足は否めないが、こういう子どもたちに造形活動の楽しさをより確かに味わわせ、意欲を持って主体的に取り組めるような授業をめざした。

## 2. 研究内容

取り上げた題材は「クランクをつかって」で、これは小学校で扱う機構工作の中では最も高度なものである。それだけに動きが複雑でおもしろく、子どもたちの関心を引くものである。くふうの余地が大きいのも魅力で、子どもたち一人一人の発想を生かせるものと期待した。また、自分や友達の作品に触れ合うこと（友達の作品を実際に動かしてみ、そのおもしろさを楽しむこと）で、人間的な関わりも大いに期待できる。この題材を一つの機会として「豊かな心と確かな力」を育みたいと考えた。

実践のねらいと概略は次の通りである。

### ①意欲を引き出す手立て

題材の持つ魅力は左記の通りで、実際子ども

たちの集中もよかった。はじめに作品例を見せ、クランクの仕組みを考えさせた。次に、動きが複雑なので、製作に不安になる子が出ることを予想して、基本的な仕組みを示し、それに飾り付けをしていけば簡単にできあがることを見せた。どうすれば作り上げることができるか見通しを持てたことで、子どもたちはスムーズに製作に入れたようだ。今まで示した作品例がすべて同じ動きのものだったので、子どもたちの発想を膨らませるために、別の動きのものを提示した。（飾り付けはしていない。）この時点で、かなりの子が構想を固めたようである。せっかく作るのだから1年生が喜ぶような作品を作ろうと、意欲づけを重ねた。各自アイデアスケッチに取り掛かったが、スケッチをかけない子が多い。「できそうだ」という自信と製作の見通しを持つことが、子どもたちの製作意欲を高めることにつながると考える。

### ②基礎・基本を大切に

針金の加工の仕方や、力を伝達するためのストローの付け方の技法指導をした。ここでさらに見通しを持つことができたようである。作成中にうまく動かなく、いろいろくふうしていた子から、「そうか」とつぶやきが聞こえてきた。発見が新たな技法を学ばせ、さらにイメージを膨らませる。それをもとにどの材料を使うかさらに考える。見通しをもち、構想を練り、製作で試行錯誤し、解決していく。表現活動の基本的な力を生かして学んだことが、子どもたちに「確かな力」をつけると考える。

### 3. 今後の課題

子どもたちの意欲を引き出し、主体的に造形活動に立ち向かわせるには、多くの手立てがある。作品例を数多く提示することで見通しを持たせ、製作活動に自信を持たせることも一つであるが、子どもたち一人一人の個性や人間性をとらえたとき、その手立ては一様ではないと言える。さらに個に応じた支援のあり方を探っていく必要がある。



〈提言〉「地域素材を使って意欲的に  
取り組む造形活動」

小学校高学年 つくりたいものをつくる

北見市立緑小学校

添田好美



## 1. はじめに

子ども達の中に、自分達でルールを作ったり、工夫したりしながらの遊びがあまり見られなくなった。また、勉強や習い事さえ一生懸命やっていたら、家庭では手伝いなどやらなくてもよいという考え方も少なくない昨今である。必要なものは何でも与えられ、いろいろな体験をすることが減ったため、想像力の乏しい不器用な子どもが増えてきているのではないだろうか。このような状況を反映してか、図工科の学習においても、自分で必要な材料を考えて集めたり、自分から何かを作り出していこうとする意欲が弱まっている。

与えられることに慣れすぎてしまっている子ども達に、地域素材を生かして主体的に活動させる手立てを考えたい。

## 2. 研究内容

### 豊丘ブレンド「夢王国」

#### (1)題材のねらい

本校のグラウンドには、粘土がたくさん埋もれている。しかし、教師側で購入する一人分ずつ袋詰めされた“きれいな”粘土に慣れ、粘土がどのようにしてできるのか何の疑問をもつこともなく使っている子ども達にとって、それはただの土にすぎない。埋もれている土に子ども達自身が手を加え、粘土に変え、その粘土を使って制作することによって、ただの土は宝物に変化する。子ども達が自らの手で作った粘土で思いを表現する活動は、意欲をもって取り組む

主体的な活動になると考える。そして、直接土に触れるこの体験的学習によって、生きて働く力を育てたい。

#### (2)粘土づくりの手順

- ア. グラウンドから粘土の採取
- イ. 十分な乾燥
- ウ. 木槌での粉碎
- エ. ふるい通し
- オ. 数種類の粘土の調合（ブレンド）
- カ. 水を加えての練り
- キ. ねかし

#### (3)子ども達の声

- ・砕いて、何度もふるいに通すのはたいへんだったけどおもしろかった。
- ・最初はぐちょぐちょしていて気持ち悪かったけど、練っているうちに粘土らしくなっていたのでうれしかった。
- ・グラウンドの土から粘土が作れるのが不思議だった。やっぱり豊丘ブレンドの粘土は、ほくたちのそばにあるからほっと落ち着きます。

## 3. まとめと今後の課題

粘土採取から作品完成までの一連の活動を自分達の手で行うことができた。子ども達は、粘土づくりの段階で、腕や衣服まで汚してもふるい通しや粘土練りに熱中し、表現の段階で、グループ内でアイデアを出し合いながら楽しく取り組んだ。身近なグラウンドの土から粘土ができることに驚きと喜びもちながら、意欲的、主体的に活動することができたのではないだろうか。

課題として、準備や後始末が大変で時間がかかるので、内容の精選、他教科との関連などを考えていくことが挙げられる。また、教職員の協力態勢も必要である。

地域素材は、子ども達にとって「ほっと落ち着く」愛着あるものであろう。現任校においても、身近に、何気なく見過ごしているものがたくさんあるはずである。地域の素材に目を向け、生かしていきたい。

(これは前任校・雄武町立豊丘小学校での実践である。)



〈提言〉「子供の意欲や関心を引き出す  
題材づくり」

小学校・6年生・絵にあらわす

江別市立江別第三小学校  
養島裕二



## 1. はじめに

卒業を間近に控えた6年生に、自己をじっくり見つめさせることは重要なことだ。私は、将来に夢を持ち、自分を大切に生きていくことを、絵を描くということを通して、子供たちに学ばせたいと考えていた。しかし、学級の全ての子が、図工に魅力を感じているわけではなく、苦手意識を持っていた子も多数いたのである。教師のつとめは、一人でも多くの子に造形活動の喜びを味わわせることであり、一人一人の持っている興味や関心を引きだし、図工に意欲的に取り組ませることである。子供たちが自信をもって取り組み、それぞれの思い出に残るような楽しい授業になることを目指して、実践を行なった。

## 2. 研究内容

◎ 意欲や関心を引き出すには、子供の造形活動を重視した魅力的な題材を開発することが必要である。

いくら素晴らしい題材であっても、それが児童の実態に合わないものであれば、子供たちの可能性を引き出すことは難しくなる。子供の側にたった題材を設定することにより、児童の充実感や成就感を満たし、意欲を持った造形活動ができると考え、次の題材を設定した。

「未来の自分」（6年 絵にあらわす）

本題材は、10～20年後の自分の姿を想像しながら、一人一人の自分らしさを出すため、絵に

表紙をつけ、中に自分へのメッセージを書いた手紙や写真を貼り、タイムカプセル的な一冊の本として仕上げさせたものである。

題材を組み立てるにあたり、考慮したことは次のことである。

### ① 一人一人の思いが反映されるもの

子供たちの心にある願い、希望、夢、思い出また、生活の中からの経験、趣味、特技、などそれぞれの個性が発揮できるものを題材の中に盛り込めるようにした。本題材では、絵をとじ込む表紙作りをすることにより、子供がイメージをまとめ易いようにし、意欲を持って取り組めるよう配慮した。

### ② 題材の新しい切り口や見方を探す

子供たち既成概念を砕き、新鮮な気持ちで取り組ませることができたなら、表現意欲を高められると考えた。今回、自画像を描くにあたり未来の自分の顔を想像させることによって、逆に今の自分をしっかりみつめさせることができるのではないかと考えた。また、顔をとらえるのにそれぞれの個性をあらわす「目」をヒントにし、細かい部分にとらわれずに、自分の特徴をしっかりとつかむことができるよう支援した。

## 3. 今後の課題

本題材には、教師の思いもかなり強く入っている。そのため、児童の意欲を引き出すために精選したと思っていた内容が、実は、子供たちの表現の幅を小さくしていたかもしれない。実践の反省をふまえつつ、一人一人の良さを引き出し、意欲化を図っていく方法をさらに探っていかなければならない。





〈提言〉「一人一人が意欲をかきたて、  
表現する喜びを味わう絵画指導」

小学校・5、6年生・絵画

増毛町立別刈小学校

野島 操



## 1. はじめに

5年生7名、6年生11名の複式学級である。図工の時間はさらに6年生の情緒学級の児童が1名加わり、19名で行なわれる。6年生の児童は昨年も受け持っているので2年目となるが、5年生の児童は初めて受け持つ子どもたちである。

表現活動に意欲と喜びを持ってほしいという願いを込めて、まず子供たちの実態把握から始めることにした。心情面と技能面の両側面からアプローチして、具体的な支援につなげていきたいと考えた。

## 2. 研究内容

- ・アンケート～関心・意欲と彩色について
- ・クロッキー～観察力と形をとらえる力
- ・色作り～パレットの使い方と混色の仕方を4、5月にかけて指導してみても、意欲や基礎的な力にかなりの差を感じた。パレットの使い方や不十分な道具をそろえさせることなど一人一人に声をかけながら、いよいよ「石垣展」に



むけての作品づくりにはいる。「石垣展」というのは、別刈のお祭りに協賛して毎年行なっている全員参加の青空展覧会のことです。多数の地域の方に見ていただける場であり、はりきる子供たちも多いのである。

題材名 おくゆきのある絵をかこう  
～「自転車をとめて」

### ◎ねらい

描線や彩色に気をつけておくゆきのある絵をかこう



「おくゆきのある絵」とはどんな絵なのかを話し合わせ、いくつか観点をとらえた上で絵を2段階に分けて描くことにした。

初めに近景となる自転車を学校の前庭で描き、着色も出来るだけ実物を見ながら描いた。次に別刈の港まで写生に出かけ、自転車の後に置きたい風景を選んで描いた。港・船・働く人・崖・海・空。自分が選んだ思い思いの風景の前に置かれることになった自転車に、絵を仕上げた子供たちは成就感を味わうことが出来た。

## 3. おわりに

今回の作品は、一人一人が自分の絵になんらかの工夫や一生懸命さをしめしているため、段階ごとにそこを指摘し、認め、全員に示しながら表現活動を進めていくようにした。段階を区切ったこともあり、最後まで意欲が継続し、喜んで表現活動する子が多かった。今後、学校や地域の中で評価されることにより、さらに自分に対して自信を持ち、意欲的で喜びに満ちた表現活動が展開されることを期待している。



〈提言〉「自由に発想し、  
かたちにできるために」

中学校全学年 美術

石狩町立石狩中学校  
野口裕司



### 1. はじめに

人間とはタンスの様なものだと思います。それぞれが違った、たくさんの引き出しをもっていて、そこにいろいろな着物を入れることで初めて生きてきます。

子供はまだあまりものが入っていないタンスの様なものだと思います。これからどのようにでも生かすことのできる真新しいタンスです。どんどんものをいれて豊かになってもらうように支援する事が教師の最初の仕事です。そのタンスに入れるものにしてもいきなり豪勢なジャケットを入れても着こなす事ができず、一度もそでを通す事なく終わってしまうでしょう。そうさせないためにはシャツやパンツなどの基本となるものをきちんとそろえていかないと宝の持ち腐れになります。

私たち教師は基礎・基本となるものを順序だてて、少しずつ着方や着こなし方も教えつつ、タンスの出来る限り多くのいろいろな引きだしに入れられるよう、興味・関心のわくように示してやる事が理解度を高め、自分で引き出しを開けて選び・決めることのできる豊かな力と確かな力を得させることができます。

そしてそのうえに、自分の着たい服の必要性に合わせ、自ら探して自分のタンスの引き出しにいられるようになれたときこそ、自由に発想し、形にできる表現力を引き出せるでしょう。

私は子供が美術を通して中学3年生でそうなってくれたら理想だなと考えつつ授業を行っている。

### 2. 研究内容

造形学習において、その本質は自己表現であると私たちは考えるので自分を軸として、様々な領域から、かつ、複合させながら階段を追って進めている。

#### 1. 基礎基本を押えさせる。

1年生の時点で、とにかくたくさん引き出しを作れるように支援をしたいので、短期間完成型の小課題を遊びながら自分のもののできるものを数多くやった後、大課題を組み定着を図っている。

#### 1年 基礎・基本課題

小課題「自分のデザインをしよう」

「自分のクラスのイメージをつくろう」

「新しい表現。(モダンテクニック)」

大課題「ポスターを作ろう！」

#### 2. 題材の開発と見直しをする。

この課題が終わったから、次の新しい課題、という具合に進めた場合、新鮮な気持ちがある反面、切り口としてその課題に入り込めないという面も大きいので課題は経験のある部分を含んだ複合課題を行うことにより、興味・関心を高めさせている。

#### 1・2年 複合課題

「オリジナルグッズプラン」

シルクスクリーン・インダストリアルデザイン

・モダンテクニック・レタリング

「ものからかたらせよう！」

野菜・果物の粘土による塑像・平面構成 等

#### 3. 表現意欲を引き出す手立てを研究する。

基礎・基本においては楽しむ部分・見つける部分・見る部分から。

複合課題についてはそのありかた自体から。そして、3年生になった時点で自由に発想し、かたちにできる表現力を育ませるために、選択肢や、表現のほとんど限定のない課題も組んでいる。

#### 3年 自由課題 選択課題

「自分の世界をつくろう！」

「無から有へ」 等

### 3. 今後の課題

※興味づけや自主的に創造させるための資料・  
道具の充実

※創造意欲の日常化のための課題



〈提言〉「想像画指導における発想の  
てがかりを考える」

中学校2年生 絵画

(ドライポイント版画)

苫小牧市立苫小牧東中学校  
佐竹秀行



## 1. はじめに

「想像画」とか「物語の一場面」といった題材は今まで1、2度扱ったことはあるが、思ったような作品が出来上がらず、ここ10年くらい取り組んでいなかった。

想像画には写生画的な表現では味わえない楽しさや、独自の発想から自由に画面構成できるおもしろさ、といった要素があり、本来大人よりユニークな発想を持っているはずの子供にとって、豊かな心を育むための最適な題材であると思われる。反面、写実的な表現も要求され、頭の中で想像したものを絵として表せないもどかしさが、生徒にも、我々教師にも「想像画」という題材に対して消極的にさせている原因ではないだろうか。

## 2. 研究内容

この提言を機会に、なるべく触れたくない分野にあえて挑戦したわけであるが、今回はとにかく作品が仕上がった段階で、生徒がある程度満足感を得られものを目指した。そして、これまでの経験から、大部分の生徒が彩色段階でかなりの失望感を味わっているのではないかと推測し、サインペンを使った点描や、ボールペンによる線描なども考えたが、ドライポイントやエッチング、メゾチントといった繊細でデリケートな表現が、この場合最も適しているのではないかと考え、本当は銅版によるエッチングか、メゾチントをさせたかったが、費用その他

の面でドライポイント版画という表現方法を選んだ。

まず、生徒に「非現実的な世界」をいかに想像させるか、「心の中にあるものを一枚の紙に描いてみよう」などと言っても無理なことは言うまでもない。そこで、イメージ・トレーニングとして、フォト・コラージュをさせてみた。捨てても良いような雑誌を持って来させ、ハサミでどんどん写真を切り抜かせる。時間の関係から最初は八つ切画用紙に貼らせようと思ったが、さらにその半分の画用紙を与え、現実には有り得ない世界を作ってみよう、ということで作業を始めた。作業の前にはごくごく簡単なドライポイント版画の説明と、想像画に関する教科書や資料集の参考作品、マグリットやダリの作品を見せながら、制作意欲をかきたてようと簡単な解説を加えながら話した。生徒は、それなりの反応を示し、意欲的にハサミを片手に作業しだしたが、出来上がった作品はどれもこれも「想像」とはほとんど無縁のただのありふれたマンガチックな情景であった。また、部分的にはおもしろい発想も、画面全体を見ると、まとまり、構成力に欠けていたり、頭を柔軟にさせるためのトレーニングであるのに、既成概念を壊せない生徒がじつに多い。これは、ある程度予想はしていたものの、これから版画のための下絵づくりに入っていく段階ではさらに指導に工夫が必要であると痛感した。

フォト・コラージュの作業を2時間で切り上げた後、線の粗密による明暗の表現といったことを中心にドライポイントの説明をさらに詳しく行い、下絵づくりに入った。

## 3. 今後の課題

想像画を描かせるためのイメージ・トレーニングとして、今回はフォト・コラージュを選んでみたが、デカルコマニー、マーブリング、ドリッピングといった技法を利用することも可能であろう。時間が許せば、それらの技法を複数経験させたり、自分で選択させたりすると、さらに発想のてがかりとしては有効ではないだろうか。



〈提言〉「発想・構想の力を高める。」

中学校

～ビデオカメラを利用した

パラパラアニメーションの制作～



江別市立大麻中学校

宮 武 輝 久

### 1. はじめに

パラパラアニメーションを教材に取り入れて5年になる。はじめは、すばらしい合唱を聞いた時のような感激を絵の分野に取り入れられないかという動機からやり始めた。

90年、日文の教科書に「動く絵」のページがあってフェナキストスコープやアニメ映画の紹介があった。静止した絵から動くことで時間が加わり、見るおもしろさ増す。心が躍る新鮮な感激が沸き起こる。

上質紙でメモ用紙状のものを作り、1ページごと少しずつ形を変えて描いていき、ばらばらとめくることで絵が動いて見える。これだけでも十分楽しめるが、ビデオカメラを使って映像にすると全員が同じ作品を見られる。更に一人一人の作品がつながるように工夫すると、35、6の個性があるまとまったひとつのアニメになる。時間も7、8分と長く楽しめる。一人80枚の画面を描くが、前の形を少し変えて、だんだん予想外の形、色、ストーリーにしていくことに苦勞する。しかし、出来上がって録画され、最後にはみんなで鑑賞し合う時、ほぼ全員が、自分の作品はどう画面に表れてくるのか固唾を飲んでテレビ画面を注視する。見終わった後は「おもしろかった、もう一度見たい」という感想を一様に寄せてくる。今までの苦勞を忘れて自分なりに作った表現に満足するか、友達の表現に感心したか、どんな理由かはもう少し分析してみなければならないが、授業に取り上

げた側の教師にはほっとさせる反応である。

### 2. 研究内容

ここで、この教材の意義や他題材へどんな形で反映していくか、また、子供のどんな力を育てているか、など、実践から帰納的に考察検証を図っていきたい。

- (1)一定水準の素描力や表現技法にこだわらず個々の能力で自己表現しやすい。
- (2)この題材で養うべき力は発想力及び構想の力である。

ただし、1年のアニメ学習を皮切りにして、2年では、ポスター、レリーフ、平面構成、版画、そして、3年間の美術学習の成果が構想画、自画像へ総合的に表れてくることを押さえ系統的に養う機会をつくる。

- (3)最近流行している「漫画」「アニメ」について考える機会が持てる。(問題提起ができる。)俗に言われる「漫画は悪い」という、やや固定観念に近い意識へ問いかける契機になる。更に、アニメが娯楽の手段ばかりではない映像表現の紹介や理解を広げられる。
- (4)他教科との関連を図って内容を総合的に扱うことができる。さらに、小学校でも中学校においても、学年に応じて教材化する利点がある。
- (5)視聴覚機器とりわけパソコンを利用して学習できる。

動画にするための労力が軽減され効率化を図れる。また、BGMを取り入れられる。



〈提言〉「情報を処理する力を  
高める指導」

中学校・絵画・デザイン・彫刻

札幌市立米里中学校

伊藤 尚



### 1. 美術科と情報処理の関わり

「目」が人間にもたらす情報量は実に莫大です。それゆえに人々は、現代の電子機器の洗礼をうけるはるか以前から「眼力」を鍛え、「審美眼」を磨き上げてきたのだと思います。つまり、知識や理解をはるかに越える自然や社会の現象を視覚のはたらきを借りてすばやく処理する「術」をかり取ってきたのだらうと推測するのです。これを美術科の今日的な役割から言い直せば、「各教科で学んだ知識や技能を捨象・総合し、各自の生き方にあわせて再構築していくとする思考過程」とでも言えるでしょうか。

また、美術科の学習での「情報処理」について、私は次のような捉え方も妥当であると考えています。

「人間の「目」が、網膜上に集積した無数の視覚細胞の受け取った情報を総合し、形や色や空間の存在を認識していく過程である」。更に、バランスの良い形や配色に視線をとどめていたり、退屈な形態や色調から目をそらしたりする行動をも含めて、「人間の生理的で瞬間的な思考判断の過程である」と…。

どちらにしても、それがコンピュータの登場によってはじめて開発された技術と考えるのではなく、人間の思考力の中に、特に「目」の機能の中に内在する思考・判断のシステムとして捉えられる時、「情報処理」が美術科指導に果たす役割りの大きさが痛感されるのです。

### 2. 感性と電子の共同作業

美術科の、いわば「感性による情報処理」の

側面が、コンピュータの「電子による情報処理」と出会った今日的意義は、ほぼ次のような点に集約できると思います。

①コンピュータソフトの開発を通して、人間の造形的思考の諸過程が綿密に再度分析された点。特に、「発想」や「構想」など人の心の領域での作業について、その手順・作業構造・アルゴリズムなどが究明されてきた。  
(そして今後も追求は続いていくはずである)

②コンピュータソフトの利用を通して、人間の造形的思考の途中経過が簡単に画像として表出し、記録できるようになってきた点(シュミレーション)。また、それによって、発想・構想の自己評価が可能になり、造形的な専門知識がなくてもフィードバックを繰り返しながらより高い次元へと思考の枝を伸ばして行くことができるようになったことなど。

さて、コンピュータを授業に導入しようとする時、陥りやすい間違いのひとつは情報の処理の能力を育てるはずの授業が、市販ソフトの使い方を学習する授業に変質してしまうことです。そうならないために大切なことは、「電子による情報処理」が「感性による情報処理」に近づこうとする努力と成果に学びながらも、子どもの次のような能力の開発から目をそらさずに指導を進めて行くことだと考えています。

- ・多数の視覚情報から、自分にとって魅力ある情報は何かを選び出す力
- ・多数の視覚情報を幾つかの塊(概念のブロック)として整理蓄積したり引き出したりする力
- ・多数の視覚情報を秩序立てて他人にわかりやすく提示する力

### 3. 情報を処理する力と評価

新指導要領の導入に伴い、評価の中心が学習への態度から意欲へ、表現の能力から発想力構想力へと推移しようとしている今日、視覚情報の思考・判断場面での子どもからのサインを的確にとらえる手立ての確立が急がれています。その点からも数々のグラフィックスを中心とするコンピュータソフトが提起している情報処理のアルゴリズムに注目して行こうと考えています。



〈提言〉「自己表現を大切にする」

中学校2年生・工芸

江別市立江別第一中学校  
松尾もと子



### 1. はじめに

現代の美術は、抽象表現から具象表現まで様々な表現技法があることで、難解な要素が（生徒の目から見ると、芸術とは何だろう？）多く含まれている。

中学校2年生の3学期は、社会や未来に希望・不安を感じたり、自分の大切なものを模索（人間誰しもそうであろうが）し始める時期である。

美術科で、身につけたい力



①自己主張      ②自由な発想



表現する



豊かな心と確かな力を  
育くむ造形学習を

上記の①②を基に、自己表現を大切にすることで研究課題に迫ろうとしたものである。

### 2. 研究内容

実践例「イメージの追求」  
～寄せ木の技法を使って～

#### \*寄せ木について

寄せ木の技法は、木材を積層することで、小箱から家具、果ては建築材料にまで活用される工芸技法であり、一方では、彫刻技法としても活用されている。

寄せ木の良さは、木自体の温もりや、木材を張り合わせた木口の層が美しい文様となる点、そして造ることの出来る形の自由さや、積木的なおもしろさにある。

#### \*研究との関わり

##### 基礎基本

- A－基礎的な表現技法－適切な加工技術
- B－選び決める力－工芸、彫刻にこだわらない
- B－見立てる力－木辺から形へ
- C－楽しみ、遊ぶ心－題材の長所（自由な発想）
- C－自己理解、他者理解－自己表現→他者伝達

##### 題材の開発と見通し

デザイン（美の要素）、絵画（スクラッチ）  
→工芸（イメージの追求、環境との調和）→自画像

##### 意欲を引き出す手立て

- ・他題材との関連を理解
- ・自己決定場面の重視

### 3. 今後の課題

- ・相互に関連性をもった3年間の題材の組み立て
- ・制作表（手順、自己評価、他者理解）を意欲に発展させる方法
- ・体験から学習する場面をどこまで取り入れるか

〈提言〉「生徒の意欲を喚起させる  
工芸指導」

中学校 工芸

室蘭市立鶴ヶ崎中学校

矢元 政行



### 1. はじめに

美術科の領域において、彫塑や工芸の分野は  
絵画やデザインと比較して何か低迷しているの  
ではとの思いがある。

それは、私自身の美術教師としての立場から  
正直に自分の考えや感想を述べると、工芸ある  
いは彫塑の題材で何をやろうかと考えると何か  
非常に面倒なような、または億劫な感じを持つ  
ことがあるからである。

その背景になる事柄を挙げてみると。

- ・設備、用具、工具類の不備と準備に手間がかかる。
- ・制作途中の作品の管理の難しさ。
- ・教室の汚れ、あとかたづけが大変である。
- ・制作時間が長くかかる。
- ・工芸関係の展覧会やコンクールが少ない。
- ・教師の工芸専攻、専門者が少ない。

など以上のように工芸に対するマイナスのイ  
メージが見られる。

生徒側の状況を考えて工芸作品を制作する  
ことに人気があり、生徒の方にも強い欲求を感  
じる。

それは、次の事柄が大きいと考えられる。

- ・工芸的なものをつくるのが好きである。
- ・完成作品が使用できる。
- ・道具や機械が使える。

そこで、私どもが美術の授業を進めるにあたり  
生徒の興味関心の高い工芸分野にもっと力を  
入れる必要があるのではないかと室蘭市の教研造

形部を中心に研究が進められてきた。

### 2. 研究の内容

平成4年度から研究テーマ「個性豊かな発想  
と確かな表現力を育てる研究」サブテーマとし  
て「素材を生かした造形能力を育て意欲的に取  
り組む子どもに……！」と工芸分野に視点をあ  
て2年間にわたり授業研究を中心に研究を進  
め、実践交流を行った。

平成4年度 木工芸「手鏡」

授業者 黒田 孝教諭（蘭東中）

平成5年度 焼物「土鈴」

授業者 首藤 信之教諭（港北中）

こうした授業研究の中では、題材の導入の段  
階では完成された自分の作品をプレゼントする  
などの目的や動機の手立てを考えて題材に取り  
組む気持ちをつくり、個々に適切な指導をする  
ことで、それにより、一人ひとりの制作意欲が  
更に高まった。

また、実際の制作にあたり工芸の道具の扱い  
や使用技術、作業内容など生徒に言葉だけで説  
明することは難しいため、視覚に訴えるVTR  
教具の使用によりよりわかりやすく説明でき生  
徒もはっきりと認知できた。

多くの生徒は時間をかけ、こつこつとていね  
いに最後までやるのが苦手なため、木彫の場  
合はなるべく簡略化した図案を考えさせた。途  
中飽きる生徒も少なかった。

完成した作品は、ほとんどの生徒が家庭に持  
ち帰り、それぞれプレゼントに使用したり、自  
分で使ったりしている。

### 3. 今後の課題

室蘭市の造形部では、工芸の研究について  
は、まだまだ不十分な面があるのですが、昨年  
度からは市内の造形展に見られる絵画作品のレ  
ベルの低下などがあるとのことで、2年継続の  
絵画領域の研究を現在進めているところです。

工芸とは少し離れてしまったのですが、どの  
領域でも、生徒の作品に対する思いが弱まって  
いる現状では、すべてに魅力ある題材づくり  
にもっと力をそそいでいくことが課題である  
と考えます。



〈提言〉「私たちの学校」の設計

高等学校

北海道立千歳高等学校

垂石 幸男



私たちの学校・千歳高校は3年後、50周年を迎えます。そして現在の校舎は20年以上経過、老化が激しく改築を迫られています。そこで、私たちの未来の理想的な学校として、考えてみることにしました。新しい学校が完成する時には私たちはもう卒業している事でしょうが永久に残るし、私たちの2世の学び舎としてコンセプトして設計してみました。

果して、どうなるか……………。

この課題のねらい

10年前あたりから、はっきり感じとれたのは、この4・5年前あたりから生徒の創造力、作業能力及び作業スピードなど、特に手を使っての作業が著しく脆弱で低下していることが、気がかりであった。その原因は種々考えられますが、マスメディアの発達、情報の氾濫などで、いつも受け身の姿勢を社会全体がつくってしまった。それが大きな原因だと思われまます。また、目の形・色を写し取る力、別な表現をすると、模倣的な内容の作業はそこそこの力を発揮することができる。しかし何も無いところから出発して、自分でイメージを組立てていく力、要するに抽象的創造力が欠落しているような気がしてならない。このような訓練は美術におけるどのような作業をやらせてもよいのだが、興味を強く抱くものとしての課題を考えなくてはいけないところから出発したのです。

当初、「将来の自分の家」の設計を課題に取り入れたところ、強い制作意欲を示した。その延長線上に「学校の設計」が出てきた訳である。

はじめに

- 1 理想的な建物・施設をイメージしてみる。従って金額については考えない。
  - 1 建物・施設に「あそび」がふんだんにあること。
  - 1 特別教室も余裕をもって考える。
  - 1 現在ある学科、学級、人数、全日と定時があることなどの条件を意識して
  - 1 将来を見越してハードの面とソフトの面の調和が成されること
- などの条件を説明理解させる導入段階に時間を多くとり、夢の実現に向けての話合いをする。

作業の手順としては

- 1 必要な部屋、及び施設を思いつくままに、羅列してみる。
- 1 友達同士でいろいろな側面から必要な施設を話しながらラフスケッチ・メモをとる。
- 1 最初は平面図をそして次に完成予想図・透視図（着色）と順次制作を進めていきます。

道具として

- 1 方眼紙・定規・コンパス・鉛筆・画用紙・水彩 など

なお、平面図を描く上での記号の資料（プリント）・透視図法（一点透視・二点透視）スケッチの仕方を事前に配布する。

参考作品 紙による立体構成 家設計図 版画デザイン

評価・あしがき

この作業の最終到達点として、立体模型が制作されるのが最善であることの認識には異論がないのですが、制作場所（教室の狭さ、途中の立体作品の保管場所）の問題が隘路になっている。

いずれにしても、身近かな自分たちの学校ということが何よりも制作意欲をかり立てるものと思われまます。good ideaは採用したい気持ちでいっぱいである。

〈提言〉全道造形教育

ネットワーク分科会

「造形教育の全道ネットワークづくりを通して、北海道の造形教育の明日を考えよう」

北海道造形教育連盟本部

事務局 研究部

## 1. はじめに

一昨年の旭川大会で産声をあげた全道造形教育ネットワークも今年で3年目を迎えます。昨年の釧路大会では、ネットワークの活動を具体化し、実質的な第一歩を踏み出すことができました。今回の石狩大会では、釧路大会の成果と課題をふまえ、これからの取り組みに見通しをもてるような話し合いにしたいと思います。

## 2. 釧路大会の話し合いから

分科会の中で出された各支部の抱える課題をまとめると次の2点に要約されました。

- ①世代格差や新入会員の減少
- ②広い地域をネットワークする手立て

これらの問題に対し、席上では以下のような活性化の視点、解決の手立てを話し合いました。

- 大会をきっかけに若い世代の層から意欲的な活動が生み出されている。
- 学校以外の文化的施設（美術館など）と連携をとる多角的な取り組みを行う。
- 幼・小・中・高・大学の連携を図る取り組みを行なう。
- 本部や他支部からの「人」のネットワークづくり（講習会・研究会・実技研修会など）
- 視覚的な情報のネットワークづくり（作品やVTRの交流）

また、今回の石狩大会に向けては、次の3点が具体的に活動内容として確認され、継続的に

取り組まれています。

- ①「作品ネットワーク」の開催
  - 会場に各支部の作品を展示する。
- ②大会授業者、提言者との継続的なかわり
  - 授業者、提言者との研究の関連をネットワーク全体として図っていく。
- ③名簿の形式統一
  - 見やすいものにする形式を揃える。  
(B5版、中折り袋とじ、役職、学校住所、電話番号)

## 3. ネットワーク分科会の内容

- 参加者 ○各支部から最低1名の参加をお願いします。
- その他、関心のある方はふるってご参加ください。
- 内容 ○各地区からの実践報告及び実践交流（作品ネットワークの作品の紹介や、石狩造形連盟作成の授業実践ビデオ「石狩の造形学習95」の試写会など予定）
- 今後の交流を展望する討議
  - 名簿の交換

〈こんな活動もしています……〉

石狩造形教育連盟と札幌造形教育連盟では、昨年度からお互いの授業研究会に参加し合うという交流を行なっています。今年の3月には石狩小学校で札幌の先生が授業を参観させていただきました。

ネットワークでは、このような研究に関する交流を全道でできるようになることを目指しています、まずは、近くの地域と連絡を取り合うことから始めてみてはいかがでしょうか。必ず新しい発見があるものです。



# 全道18支部のネットワークを

## 道北ブロック

- 上川造形教育研究会
- 旭川市教育研究会図工美術部会
- 留萌地方美術教育研究会

## 全道造形教育ネットワーク

〈担当〉 本部事務局研究部  
 教育大学附属札幌小学校  
 野切卓  
 ☎002 札幌市北区あいの里  
 5条3丁目1-10  
 ☎011-778-8607  
 FAX011-778-8475

## 道央ブロック

- 空知美術教育研究会
- 石狩造形連盟

## 札幌ブロック

- 札幌造形教育連盟

## 道東ブロック

- オホーツク造形教育連盟

## 道西ブロック

- 連盟後志支部

- 根室造形教育連盟

## 道南ブロック

- 渡島美術教育研究会

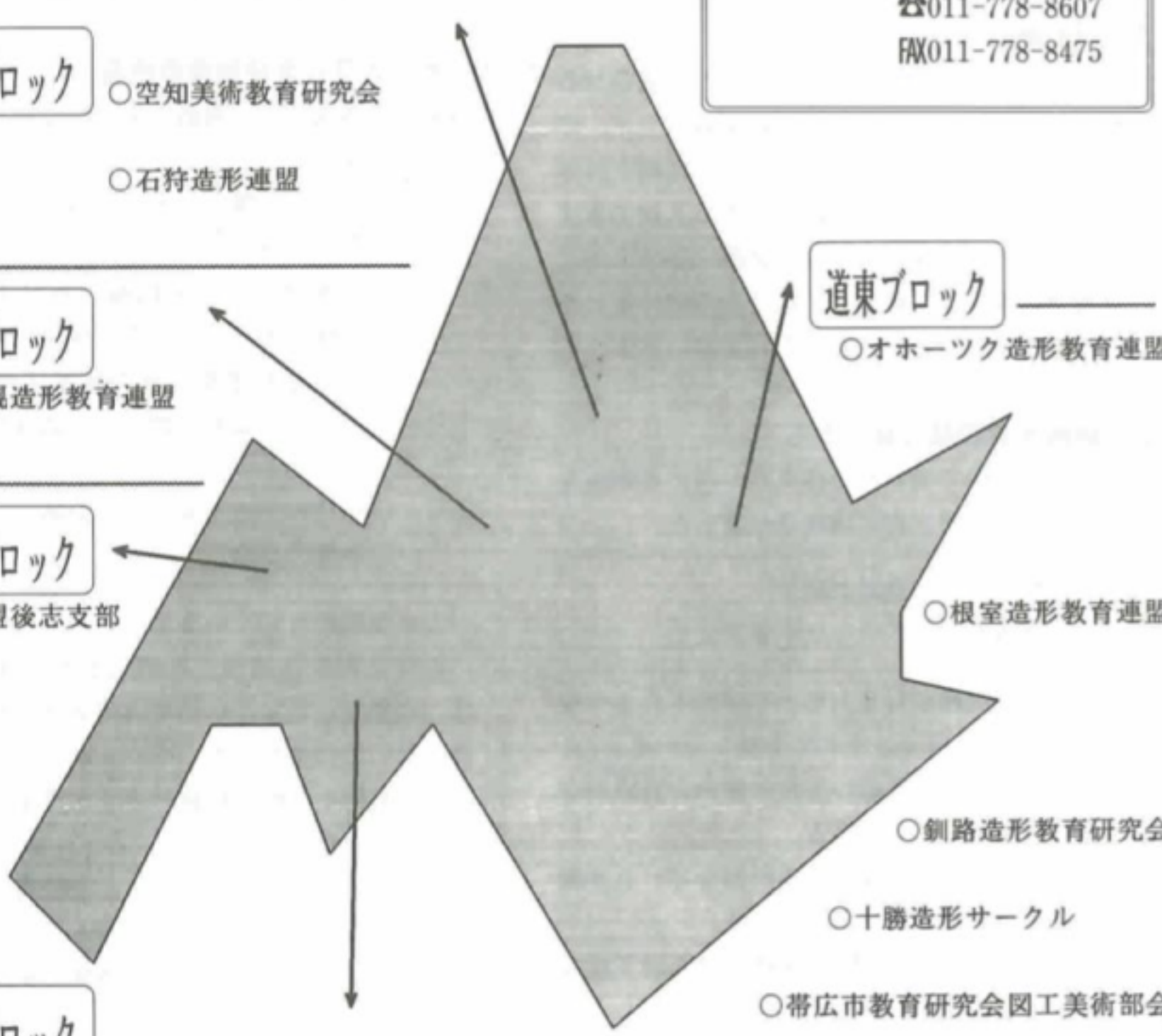
- 胆振造形教育研究会

- 函館市美術教育研究会

- 室蘭市教育研究会造形部

- 檜山造形教育研究会

- 苫小牧市造形研究会



# 平成7年度 北海道造形教育連盟名簿

1995. 5

## 役員

役名	氏名	勤務校	所在地	電話
委員長	船着昭弘	札幌市立伏見小長	064 札幌市中央区南18条西15丁目	011(551)2771
副委員長	和田弘	恵庭市立恵庭中長	061-14 恵庭市文京町79	0123(32)3249
"	小杉信雄	旭川市立神楽岡小長	078 旭川市神楽岡14条3丁目	0166(65)6368
"	伊藤英明	函館市立銭亀沢中長	041-02 函館市豊原町140-30	0138(58)2524
"	鍋谷尊之	別海町立上西春別小長	088-25 野付郡別海町西春別駅前西町2	01537(7)2946
"	奥野郁男	札幌市立石山中長	005 札幌市南区石山2条8丁目7-1	011(591)8853
監査	山宮喬也	北見市立緑小長	090 北見市緑町2丁目1-1	0157(36)2688
"	寺本吉明	芽室町立芽室小長	082 河西郡芽室町東4条南2丁目1	0155(62)2106

## 本部事務局

役名	氏名	勤務校	電話	役名	氏名	勤務校	電話
事務局長	白井圀毅	山鼻小長	(511)6616	研究部長	菅原清貴	三角山小	(643)1133
事務局次長	佐藤靖	三角山小	(643)1133	次長	斉藤三佳	白楊幼	(736)0764
"	村谷利一	栄南中長	(781)1260	"	柏木順	いなづみ幼	(683)3185
"	香西富士夫	札幌平岸高	(812)2010	"	阿部宏行	中央小	(261)6568
会計部長	吉田倭雄	福井野小長	(664)5551	"	篠原寛	宮の森小	(631)6356
次長	植木則子	西岡南小	(582)6350	"	桜田豊	幌西小	(561)2201
庶務部長	永井恭子	中央幼長	(251)6700	"	岡澤邦彦	附属中	(778)8527
次長	池田悦子	円山小	(631)3437	"	八重櫻真一	啓明中	(561)4168
"	今谷孝	平和小	(663)4384	"	角力山旭	明園中	(721)5305
"	古谷壽朗	苗穂小	(721)5105	"	小野泰裕	山鼻中	(531)9941
"	高杉正和	啓明中	(561)4168	"	小林智彦	札幌南高	(521)2311
広報部長	毛馬内國夫	桑園小	(611)4211	事務部長	小柳雄嗣	琴似中央小	(631)6306
次長	板木武	幌南小	(521)0214	次長	稲實順	創成小	(241)1756
"	今裕子	真駒内緑小	(582)2131	"	白井真澄	前田小	(683)3749
"	益村豊	北鼻南小	(532)8340	"	田口和男	白石小	(861)9265
"	伊藤尚	米里中	(875)5711	"	土井善範	伏見小	(551)2771
				"	中居正光	月寒東小	(851)7924
				"	阿部時彦	中央中	(241)6266
				"	開沼英則	札幌東陵高	(791)5055

### 事務局

〒064 札幌市中央区南14条西10丁目

札幌市立山鼻小学校

白井圀毅

TEL (011) 511-6616



## 全道造形教育研究大会の開催地と研究主題一覧

- 第1回（札幌）1950  
情操教育の一貫として本道図工教育の進展を図るため。
- 第2回（札幌）1952  
美術教育の新思潮である創造主義美術教育の諸問題について。
- 第3回（旭川）1953  
美術教育の指導とは何か。
- 第4回（函館）1954  
図画工作教育実践上の諸問題について。
- 第5回（釧路）1955  
図画工作教育における学習指導上の問題点の解明。
- 第6回（札幌）1956  
造形教育において、つくり出す力を養うにはどうしたらよいか。
- 第7回（室蘭）1957  
のぞましい造形教育における具体的諸問題について。
- 第8回（小樽）1958  
図画工作学習によって児童生徒の人間性がどのように培われるか。
- 第9回（帯広）1959  
新段階における造形教育のあり方。
- 第10回（網走）1960  
本道における造形教育の実践を通して今後のあり方を見よう。
- 第11回（滝川）1961  
子どもたちの芸術性を育てるために私たちは何を与え何をすべきか。
- 第12回（名寄）1962  
子どもが生活を見つめて造形的に高まっていくために私たちはどうしたらよいか。
- 第13回（余市）1963  
子どもが生活を見つめ造形的に高まっていくために私たちはどうしたらよいか。
- 第14回（札幌）1964  
子どもの造形能力とは何か。
- 第15回（稚内）1965  
子どもの造形能力とは何か。
- 第16回（室蘭）1966  
子どもの造形能力とは何か。
- 第17回（函館）1967  
指導の構築を具体化する。
- 第18回（苫小牧）1968  
指導の構築を具体化する。
- 第19回（札幌）1969  
造形能力は、どのような指導によって育てられるか。
- 第20回（旭川）1970  
ゆたかに生きる子どもの造形能力をどう育てるか。
- 第21回（札幌）1971  
造形能力は、どのような指導によって育てられるか。
- 第22回（帯広）1972  
未来に生きる子どもの造形教育（生活に根ざした造形教育をどう高めるか）。

- 第23回 (室蘭) 1973  
未来に生きる子どもの造形教育 (たしかな表現力をどのように育てるか)。
- 第24回 (美幌) 1974  
未来に生きる子どもの造形教育 (ひとりひとりの子どもの表現力をどう高めるか)。
- 第25回 (江別) 1975  
未来に生きる子どもの造形教育 (自ら創り出す力をどう育てるか)。
- 第26回 (岩見沢) 1976  
未来に生きる子どもの造形教育 (すべての子どもの造形のよろこびを)。
- 第27回 (札幌) 1977  
(第30回全国造形教育研究大会とかねる)  
みずみずしい中味でしなやかな子どもを育てる造形実践。
- 第28回 (函館) 1978  
みずみずしい中味でしなやかな子どもを育てる造形実践 (すべての子どもが生き生きととりくむ学習)。
- 第29回 (旭川) 1979  
生き生きとしたゆとりのある子どもを育てる図工美術教育のあり方。
- 第30回 (苫小牧) 1980  
ひろがりと深まりの造形教育を求めて。
- 第31回 (釧路) 1981  
創り出す心をよびおこす造形教育
- 第32回 (室蘭) 1982  
見る、知る、感ずる、そして創りあげる喜びを。
- 第33回 (留萌) 1983  
生活とふれ合い、創る心のひろがりを求める造形活動。
- 第34回 (札幌) 1984  
知恵とエネルギーをわきたたせる造形活動 (わきたつ発想・たしかな表現・つくり出す喜び)
- 第35回 (函館) 1985  
知恵とエネルギーをわきたたせる造形活動 (心をこめてつくりだす子どもを育てる)。
- 第36回 (旭川) 1986  
(第39回全国造形教育研究大会とかねる)  
子どもの心をゆり動かす造形教育 (つくる心のひろがり求めて)。
- 第37回 (紋別) 1987  
子どもの心をゆり動かす造形教育 (表現の喜びにひたる子どもを育てる)。
- 第38回 (滝川) 1988  
子どもの心をゆり動かす造形教育 (ひたむきに創る心を育てる)。
- 第39回 (帯広) 1989  
子どもの個性的表現を授ける造形教育の充実 (君はいま創造のとりこに)
- 第40回 (苫小牧) 1990  
広がり、深まり、そして感動を!
- 第41回 (札幌) 1991  
子どもの個性的表現を授ける造形教育 (子どものつくる喜びをひらく)。
- 第42回 (函館) 1992  
子どもの個性的表現を授ける造形教育の充実 (感動、そして創造する喜びを)。
- 第43回 (旭川) 1993  
思いをあたため心はずませ創る喜びを。
- 第44回 (釧路) 1994  
心ときめく、創造の喜びを求めて。
- 第45回 (千歳) 1995  
豊かな心と確かな力をはぐくむ造形学習を



# 北海道造形教育連盟規約

1. 名称と目的 本連盟は、北海道造形教育連盟といい、北海道造形教育の振興を図るをもって目的とする。
2. 事業 本連盟は、目的を達成するため次の事業を行う。  
① 研究会・講習会・展覧会等の開催及び後援。  
② 造形教育に関する教科書・教材・教具等の研究。  
③ 機関誌の刊行。  
④ 他の造形教育団体との連絡提携。  
⑤ その他造形教育振興上必要な事項。
3. 会員 正会員 本道幼・小・中・高・その他これに準ずる学校の教職員。  
賛助会員 本連盟の目的に賛同するもの。
4. 組織 サークル 本道各地にサークルを置き、会員は原則としてこれに所属する。  
本部 本連盟の本部は札幌に置く。
5. 構成及び任務 ① 役員  
委員長 1名 本連盟を代表する。  
副委員長 若干名 委員長を補佐する。  
会計監査 2名 会計の監査をする。  
② 委員  
地区委員 地区1名 地区サークルを代表する。  
常任委員 若干名 本連盟の運営に当たる。  
顧問 連盟の重要な問題につき意見を述べる。
6. 選任 \*委員長、副委員長、会計監査は委員総会で選出する。  
\*地区委員は地区サークルで選出する。  
\*常任委員は委員長の委嘱による。  
\*顧問は委員総会において委嘱する。
7. 任期 役員及び委員の任期は1ヵ年とする。但し再任を妨げない。
8. 会議 \*総会 必要に応じ開催し、連盟事業につき協議する。  
\*委員総会 役員、委員をもって構成し毎年開催する。  
役員を選出、予算、決算及び年度計画等につき審議する。  
\*常任委員会 役員及び常任委員をもって構成し、連盟の事業を執行する。
9. 会計 本連盟の会計は、会費・事業収入及び寄付金により執行する。  
会費 正会員は1人年額1,000円を納入するものとする。  
サークルは、年額8,000円を本部に納入するものとする。
10. 事務局 \*事務局は事務局長在勤の学校におく。  
\*事務局長は常任委員中より委員長が委嘱する。  
\*事務局には必要に応じて各部を設け業務の分担をする。
11. 年度 本連盟の事業並びに会計年度は5月に始まり翌年4月に終わる。
12. 規約の改廃 本規約の改廃は委員総会の決議による。

(昭和62年5月3日改定)

(平成6年4月29日改定)

# 祝

## 第45回全道造形教育研究大会

## いしかり'95千歳大会



千歳市の鳥「やませみ」です

### 年次協賛会員

会 社 名	代表社名	所 在 地	電 話
KKサクラクレパス札幌出張所	木塚 正雄	064 中央区南4条西13丁目	011(563)5161
ぺんてるKK札幌支店	白橋山 傑	003 白石区流通センター1丁目4-18	011(862)8921
開隆堂出版KK北海道支社	鎌田 勝司	060 中央区南1条西4丁目 日の出ビル内	011(231)0403
東京書籍KK北海道支社	塚本 国樹	064 中央区南6条西14丁目1-5 東書ビル内	011(562)5721
日本文教出版KK札幌出張所	中元 忠	001 北区新琴似9条12丁目1-1	011(764)1201
文学堂製筆KK札幌店	向久保 誠	062 豊平区平岸5条9丁目	011(812)4669
セメダイン通商KK札幌店	熊谷 建基	060 中央区北7条西25丁目 協栄生命札幌西ビル内	011(644)6621
コニシKK札幌支店	加藤 敏文	063 西区琴似1条5丁目 札幌松井ビル内	011(612)0211



# 祝

## 第45回全道造形教育研究大会

### いしかり'95千歳大会



# 日本文

---

## 日本文教出版株式会社北海道出張所

札幌市北区新琴似9条12丁目1番1号 (電話) 011-764-1201 ㊞001



本社 大阪市住吉区南住吉4-7-5 (電話) 692-1265 ㊞558

東京支社 東京都中野区新井1丁目2番16号 (電話) 3389-4611 ㊞165

# 祝

## 第45回「全道造形教育研究大会 いしかり'95千歳大会」

美術史上、最も実り豊かな時代

# ルネサンスの 巨匠たち

全30巻

既刊21巻

I GRANDI  
MAESTRI  
DELL' ARTE

ルネサンス期を築いた芸術家たちの生涯と全作品。初めて日本に紹介される作品図版も多数収録。  
新進の研究者による、新しい美術シリーズ。

●フィレンツェ絵画の革新

- 1 チマブーエ M・キエリニ著 野村幸弘訳
- 2 ジョット L・ペローシ著 野村幸弘訳
- 3 マザッチョ O・カザツツァ著 松浦弘明訳

●シエナを飾る画家

- 4 ドウッチョ C・ヤンネッラ著 松原哲哉訳
- 5 シモーネ・マルティニ C・ヤンネッラ著 石原 宏訳
- 6 ロレンツォ・ディ・フランチェスコ著 菅古宇 尚訳

●新しい空間の創造者

- 7 フルネレスキ G・ファネッリ著 見嶋山枝訳
- 8 ドナテッロ G・G・ヘルテラ著 芳野 明訳
- 9 ルカ・デッラ・ロツピアとその一族 F・ドリスを著 遠山公一訳

●素描研究と色彩への関心

- 10 フラ・アンジェリコ J・ホーラー著 高杉村明里訳
- 11 バオロ・ウッチェロ、ドメニコ・ヴェネツィアーノ、アンドレア・デル・カスターニョ A・ハオリエリ著 高杉村明里訳
- 12 ペノツツォ・ゴツツオリ C・A・ルキナート著 池上公平 野村幸弘訳

●フィレンツェの美術

- 13 ファリッポ・リッピ G・フラスシ著 塚本 博訳
- 14 ポツティチェリ B・サンティ著 関根秀一訳
- 15 ドメニコ・ギルランダイオ E・ミケレツチ著 林 羊造代訳

●独自の芸術の探求者

- 16 ビエロ・デッラ・フランチェスカ A・アンジェリーニ著 池上公平訳
- 17 マンテーニャ E・カネサカ著 塚本 博訳
- 18 レオナルド・ダ・ヴィンチ B・サンティ著 高杉村明里訳

●ヴェネツィアの画家

- 22 ジョヴァンニ・ベツリーニ M・オリウエーリ著 塚本 博訳
- 23 カルパッチョ F・ウアルカノーウア著 塚本 博訳
- 24 テイツィアーノ F・ヘドロッコ著 池田 京訳

(以下続刊)

- 19 シニョレッリ 20 ラファエロ
- 21 ポントルモ、ロツソ・フィオレンティーノ
- マニエリスムへの流れ
- 25 ミケランジェロ
- 26 アンドレア・デル・サルトル
- 27 チェリーニ
- 28 コレツジョ 29 カラヴァッジョ
- 30 ベルニーニ



定価各2,000円 送料別 1冊1,000円  
A4変形判、25×35cm、1冊1,000円、オールドカラー



東京書籍

北海道支社：〒064 札幌市中央区南6条西14-1-5 東書ビル TEL.011-562-5721 FAX.011-562-5492 (定価は税込みです)



# 祝

## 第45回全道造形教育研究大会 いしかり'95千歳大会

### 図画工作題材集 〈実践の中から生まれた題材集の決定版〉

■全6巻(各学年1巻)/A4判・オールカラー・32ページ

■定価各1,200円(税込)

1題材につき、見開き2ページで展開。題材の概要、児童の活動、導入時の働きかけ、題材に対する児童の反応、題材の発展例、児童のつまづき等、カラー写真で詳細に解説。

### 段ボールが走る 〈手軽で便利な段ボール工作必携の書〉

■滝口あきはる(造形作家)著

■A4判・64ページ(カラー8ページ/2色刷り56ページ)

■定価2,000円(税込)

段ボールを主材料とし、1作例につき見開き2ページで展開。だれにでも作れる実物大型紙つき。授業のヒントに、クラブ活動に、家庭での自由工作に。学校図書館にも最適。

## 実践造形教育シリーズ

■全10巻・各巻3,800円(本体3,689円)

■セット特価35,000円(本体33,981円)

- |                |           |            |
|----------------|-----------|------------|
| 1. 紙の工作工芸      | 2. 土の工作工芸 | 3. 木の工作工芸  |
| 4. 金属の工作工芸     | 5. 塑造表現   | 6. 木版による表現 |
| 7. 各種の版による表現   | 8. 平面構成   | 9. 立体構成    |
| 10. 機構工作と造形パズル |           |            |

## グリーンブックス

グリーンブックスで、  
図工・美術の授業に奥行を!

■定価各803～930円(本体780～903円)

- |                   |                 |                     |     |
|-------------------|-----------------|---------------------|-----|
| ●長方形の折り紙          | ●はじめての水彩の絵      | ●造形あそび              | あそび |
| ●紙でつくる造形パズル       | ●美術教育論ノート       | ●土による造形・やきもの        |     |
| ●ひとめでわかる造形の基礎技法   | ●よい紙版画はこうして生まれる | ●学校行事と楽しい造形         |     |
| ●美術教育史ノート         | ●図画工作科の評価       | ●ひとりひとりのよさをのばす素描の指導 |     |
| ●ユニークな着想で描かせる絵の指導 | ●クレヨン・パスの絵      | ●よい絵のかかせ方           |     |
| ●学校担任の図工教育        |                 |                     |     |



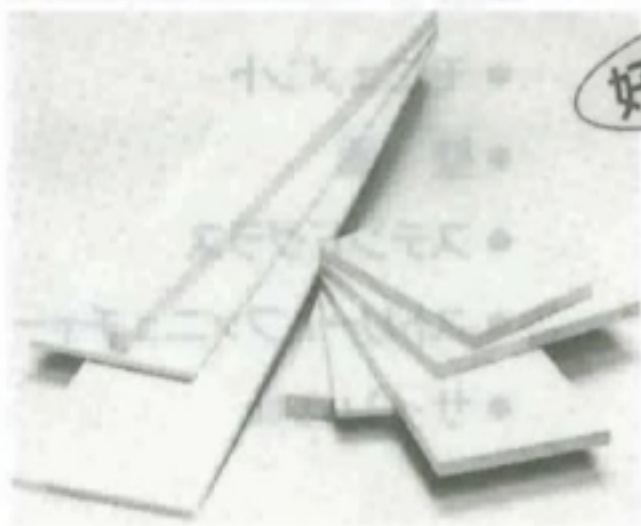
## 開隆堂出版株式会社

本社/〒113 東京都文京区向丘1-13-1 電話 03(5684)6118  
北海道支社/〒060 札幌市中央区南一条西4丁目 日の出ビル6階  
電話 011(231)0403



# フシンの学校教材用木材及び塗料

フシン 工作 工芸 桐 材



- プレーナー・サンダー仕上げ
- 木目がはっきりしていて、木材の形状や性質を指導しやすい。
- 木目が美しい ● 加工がしやすい
- 接着剤で製作ができる ● 端材が生かせる

好評発売中

水性 白木用ニス  
白木カラーニス



白木用ニス(無光沢仕上げ) 白木カラーニス(淡色仕上げ)

- 木工作品・白木全般の仕上げ用
- 白木の木目を生かし、自然の美しさを保ちます。

和信ペイント株式会社 東京サービスセンター 〒170 東京都豊島区駒込1-11-4 TEL 03(3942)9111 FAX 03(3942)9113

● 学校教材用のカタログを用意しております。上記へ電話、FAX又はハガキでご請求ください。

版画、彫刻など日本の伝統文化の土壌の上にあたたなる境地を切り拓いた木工美術の新ジャンル!!

## 新素材! 新芸術!

21世紀をになう子供達の教材に最適

(彫る新芸術)  
**アート板**

特許申請中

〈C・G・P=接着層着色積層材〉

創造性、感性や集中力を豊かにしてくれる話題の新素材。

(社)北海道林産技術普及協会 ●販売元 竹内木材工業(合) 旭川市1条通21丁目右1号 TEL(0166)31-0345(代)





(千歳市北陽小学校陶板レリーフ)

## あらゆる造形物の デザイン・制作・施工

- レリーフ
- モニュメント
- 壁画
- ステンドグラス
- ストリートファニチャー
- サイン etc

株式会社 **造形**

〒047-02 小樽市銭函5丁目524-11  
TEL (0134) 62-1500  
FAX (0134) 62-1504

石彫が指で表現できるユニークなじか付け土粘土

しろ き ぶし いし ちょう  
**白木節 石調**

1kg 350円  
(税込み)

- じか付け土粘土と同じ要領で造形し、乾燥後に歯ブラシで表皮の粘土を軽く水洗いすると、独得の石目が出て石調に仕上がります。

**モディック**

**山立株式会社**

〒214 神奈川県川崎市多摩区登戸309  
TEL. 044(932)7913 FAX. 044(932)7916

**図工・美術教材**

明日の造形教育を指向する  
SNZ製品



**新日本造形株式会社**

〒165 東京都中野区新井1-42-8 ☎03-3389-1221代

電子レンジで1~2分加熱するだけで  
押し花がすばやくできる

電子レンジ専用押し花制作器

# 押し花教室

コニシ株式会社

ポンド事業本部 札幌支店  
札幌市西区琴似一条5-2-27  
TEL. 011(612)0211

建築・設計・施工

高断熱・高气密 換気暖房システム住宅

 株式会社 **生杉工務店**

代表取締役 生杉 訓

〒066 千歳市北光4丁目3番11号  
TEL (0123) 23-5707(代)

情報は友だち

# RICOH

色の表現クリエイター。

- 世界初、ディスプレイエディター搭載による高精度複写
- カラー加工、クワイエット、高度な編集機能
- フルカラーファーストコピー世界最速15.5秒
- ADF装着時もスペースが変わらない省スペース設計
- A3~A6、ハガキ、OHPシート、厚紙等の幅広い用紙対応力
- 93年5月現在（録音デジタルフルカラーFPC）

## PRETER 550



クリエイティブなベクトルを  
溢れるエネルギーに変える、大きな流れがある。  
クオリティーの高い価値観が、広がる。

## e-エネルギー発信。

セントラルは、  
生活創造発信基地として人に、ひとりひとりに  
よりパーソナルなモノをご提案します。

## CENTRAL

大丸藤井セントラル  
札幌市中央区南1西3・電話(011)231-1131(代)



生まれ変わります  
オフィスの環境

**KOKUYO**

株式会社 **大丸カミノ**

千歳市新富3丁目 ☎(代) 23-4255  
FAX 24-1381

小売部 千歳市錦町1丁目 ☎ 26-1666  
恵庭店 恵庭市大町28-8 ☎ 33-5666  
広島店 札幌郡広島町30-1 ☎(011)373-2787

— 事務の能率化をお手伝い —

文具・事務機・OA機器・印章  
雑誌・書籍・花火打上

有限会社 **報業社**

千歳市北栄2丁目27-2  
☎(0123)23-2878・FAX(0123)22-1958

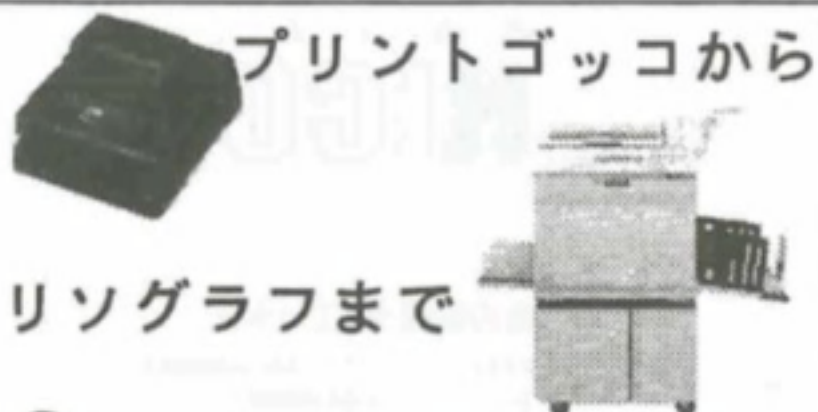
**ミツバ**

株式会社 **北溟教材社**

〒001 札幌市北区北23条西5丁目(札幌サンプラザ前)  
TEL (011) 756-4545  
FAX (011) 737-6389



三菱鉛筆株式会社



**理想科学工業株式会社**  
〒001 札幌市北区北16条西4丁目  
TEL 011-717-5215

**WINSOR & NEWTON**

*The World's Finest Art & Graphics Materials*

ワインザー&ニュートン社日本総代理店  
マルマン株式会社・画材部

千歳市・広島町指名業者

千歳市清水町4丁目17番地

**chi** **千歳スポーツ**  
SPORTS  
電話 代表 26-1004 番  
FAX 23-2587 番



ホンダ シビック  
1,000万台達成

株式会社 **ホンダプリモ千歳**

本社 千歳市新富3丁目2-2 ☎(0123)24-1166  
FAX(0123)24-1170  
ホンダガーデン 千歳市北栄2丁目 ☎(0123)22-5577  
恵み野店 恵庭市恵み野西3丁目1-2 ☎(0123)37-1166  
FAX(0123)37-1170

スーパー ハイライフ

**Mr.お父さん**

がんの治療・克服のために  
がん診断給付金をお支払い  
最高400万円!

生きている間に  
保険金を受け取れる  
リビングス特典  
最高3,000万円!



**フコク生命**

「北ふく郎」は 財団法人北海道新聞野生生物基金に協賛しています。




本店/千歳市千代田町4丁目駅前通り ☎(0123)23-4181  
空港店/新千歳空港ビル2階 ☎(0123)46-4181  
(全日空出発ロビーエスカレーターうえ左側)  
札幌そごう店/札幌そごう地下1階 ☎(011)213-2184  
恵み野店/恵庭市恵み野西2-2-2 ☎(0123)37-4181  
札幌店/札幌市西区山の手3条6丁目3番1号 ☎(011)612-4181



新千歳空港で新しい千歳を発見できます。

楽しい空間、すてきな商品  
一度来てみませんか

 **スノーショップ株式会社**

本社 ☎23-2526  
空港店1F ☎46-2022  
空港店2F ☎46-2023



おかげさまで創立35年



# 名鉄観光

旅行券積立プラン

## トラベルQ

集金事務から解放され、サービス額も付与されるお得なプランです

札幌市中央区北5条西6丁目(札幌センタービル)

札幌センタービル支店 (011) 205-5555

豊かな人間形成の場としての旅へ

ツアーリストにお任せください。

教室では学び得られない、幅広い知識の吸収と貴重な体験を。急速に変化する時代と社会背景の中で、いま修学旅行は、人間形成の場として、より豊かな価値の創造が求められています。ツアーリストは、新しい時代を担う生徒ひとり一人のために、修学旅行、校外体験学習、野外活動、自然教室など、キメ細かな旅づくりでみなさまのご要望にお応えいたします。

支店名

**近畿日本ツアーリスト**

© 近畿日本旅行株式会社 札幌支店 2019年

## くつろぎと便利さの タウンホテル

シングル(1泊)6,000円から

徹底したホテル機能と豪華な設備  
行届いたサービス。

- コピー機、ワープロ、FAX等は24時間いつでもご利用頂けます。
- ポケットベルのご利用もどうぞ。
- 千歳市内を一望できる6F眺望レストランもどうぞご利用ください。



- 日本観光旅館連盟会員
- JR協定旅館連盟会員

## グレースホテル千歳

駐車場完備 千歳市清水町3丁目14

☎ (0123) 23-1001

FAX (0123) 23-1000

ビジネスに、観光に  
アクティヴなあなたをサポートします。

シングル	¥6,200
ダブル	¥7,200
ツイン	¥11,000

**千歳第一ホテル**

〒066 千歳市千代田町6丁目1番地  
☎(0123) 27-2000 FAX(0123) 27-2800

## 千歳エアポートホテル

〒066 千歳市千代田町6丁目1番地  
TEL (0123) 26-1155

■ご旅行のお申し込み・お問い合わせはお気軽に■



株式会社 ジェイティービー北海道 **千歳支店**

For Your TravelLife

千代田町6丁目7番地3(リレントビル1F)

営業時間/平日9:00~17:00 土曜9:00~12:00 定休日/日曜・祝日

☎27-4343



— おかげさまで80年 —



湖畔の宿  
支笏湖

# 丸駒

温泉旅館

日帰りのご入浴も

お待ちしております。

大人 1,000円

小人 500円

温泉旅館/北海道千歳市樺美内番外地/〒066-02  
☎ (0123) 25-2341ℓℓ FAX 25-2715

観光土産店/千歳市支笏湖温泉 ☎25-2717  
レストラン丸駒/千歳市支笏湖温泉 ☎25-2731

## NST J-STAR-TRIP

### 株式会社 戸田

千歳市千代田町5丁目3番地 ☎(0123) 24-2121

日曜・祝日も営業しております。お気軽にお問い合わせください  
平日09:00~18:00 土日祝09:00~15:00

御宿泊・御宴会・御食事(和・洋・中)

冷暖房完備・全室バス・トイレ・TV  
加貸品電話設備付  
大型バス駐車場完備



## ホテル千歳屋

HOTEL CHITOSEYA

ご予約は ☎(0123) 23-2811ℓℓ

〒066 千歳市錦町2丁目17番地(千歳駅前通り)

### 応援します!

### 思い出に残る

### 『修学旅行』

## 東武 トラベル

### 札幌支店

☎ 011(221)6781

■日本観光旅館連盟(日観連)会員



## ホテルかめや

(〒066) 北海道千歳市本町1丁目

TEL (0123) 23-2002

FAX (0123) 27-6278



## かいきょう

本店 ☎22-1898 (錦町4丁目)

駒里店 ☎22-7787 (駒里2212-2)



## ファッション プラザイトヤ

紳士・婦人服 宝石

千歳市幸町2丁目(ニューサンロード) ☎24-4135



## 株式会社 きょうせい 北海道支社

支社 札幌市中央区北二条西10丁目1番12号 〒060

電話(011)241-1971(代表)

FAX(011)241-1973

本社 東京都中央区銀座7丁目4番12号 〒104

児童・生徒の健全な育成をめざす

## 千歳市PTA連合会

事務局 千歳市立桜木小学校内

電話(0123)22-3301

## 宝飾・時計 オバラ

総本店/千歳市千代田町3丁目 ☎(0123) 23-1177



(駐車場のご案内)

7時まで

千歳市立桜木小学校内(千歳市立桜木小学校)

千歳市立桜木小学校

あなたの街の身近な《ちしん》 信頼の笑顔でおつきあい



## 千歳信用組合



Photo Studio Souma


## 相馬写真館

本店 東郷1丁目 TEL.23-2858  
 千代田店 千代田4丁目 TEL.22-3455  
 びーとる101店 千代田3丁目 TEL.23-0101  
 札幌店 (011)773-6530  
 MACセンター(011)773-6306

歓迎 第45回「全道造形教育研究大会  
 いしかり'95千歳大会」

'95 ダイエーのお中元  
 今年も全国無料配達実施中  
 (3,000円以上の品)

2F  
 ギフトコーナー ふるさと自慢  
 うまさ、故郷にあり、この土地で生まれた、  
 味の銘品が揃いました。

 **ちとせデパート** ☎0123-22-5111  
 千歳市幸町4丁目30

文化の振興をめざす

## たなか商事

千歳市北斗3丁目8の13  
 ☎22-4480

Calbee



おいしくて、カラダによくて、  
 いつもある。  
 ポテトチップスには  
 「いねえ」も、  
 まっしらっしらっして、いねえの味です。

# いねえ。

## 第54回日本矯正歯科学会大会

1995年10月5日(木)、6日(金)

北海道厚生年金会館・札幌市教育文化会館

大会長 石井英司 事務局長 武内真利

事務局

〒061-02 北海道石狩郡当別町金沢1757番地  
 北海道医療大学歯学部矯正歯科学講座  
 TEL (01332) 3-1211 内線3383 FAX (01332) 2-0051



街・夢・未来

## 株式会社 駿河

宅地・土地・ビル・マンション売買  
 アパート・マンション・駐車場・賃貸及び管理

総合不動産

本社/千歳市千代田町6丁目7番地 ☎(0123)22-1555  
 札幌支店/札幌市中央区大通西17丁目1-2 ☎(011)631-1555  
 恵庭支店/恵庭市緑町77番地 ☎(0123)33-1555



入館料 (個人/団体: 20名以上)	
◆大人	800円/640円
◆高校生	500円/400円
◆小中学生	300円/200円
◆幼児	無料



## 千歳サケのふるさと館

Chitose Salmon Museum

財団法人千歳青少年教育財団：千歳市花園2丁目：TEL0123-42-3001

みにきて  
ねエー



主要施設

- ・大水槽
- ・マルチビジョン
- ・ものしりプラザ
- ・地下観察室
- ・図書室・AV室

宴会、御料理、仕出、弁当のことなら第一製菓。

株式会社

# 第一製菓本店

千歳市花園1丁目1番2号

TEL (0123) 23-1199 FAX (0123) 23-1816

実用新案登録商品・信頼と実績のKバッグ・登録No.1751741号

登録No.1809118号

三日月



KYOWA

通学用指定カバン製造卸

株式  
会社

# 協和バッグ

代表取締役 大塚 俊一

〒065 札幌市東区北24条東3丁目 ☎ (011) 751-4255・代/FAX (011) 723-0255





8月21日迄  
夜9時迄営業

千歳店

千歳市栄町6丁目51番地  
☎0123(22)4121

株式会社 いのうえ

●本社 千歳市信濃2丁目12番  
TEL 0123-23-3787  
FAX 0123-23-3758

- セブンイレブン信濃2丁目店 千歳市信濃2丁目12番 TEL 0123-23-3789
- セブンイレブン大和店 千歳市大和2丁目7番 TEL 0123-22-2096
- セブンイレブン北栄店 千歳市北栄2丁目24番 TEL 0123-26-2096
- セブンイレブン恵庭柏陽町店 恵庭市柏陽町2丁目12番 TEL 0123-33-2096

本とビデオ・レンタルの店

ビデオ・CD レンタル  
ファミコン 買取り・販売

書籍

ツタヤ・サーモンパーク店

千歳市東郊1丁目4-1-3

☎(0123)26-6626(代)  
FAX (0123)26-5121

連合北海道石狩地域協議会  
千歳地区連合



会長 工藤達也

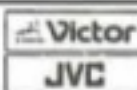
〒066 千歳市東雲町3丁目・労働会館内  
TEL (0123)23-2221  
FAX (0123)22-0440

OA機器・オフィス用品・事務機

HOKUTO

ホクト商会

〒061-14 恵庭市有明町95-1 TEL (0123) 34-2883



カラオケ 楽器 音響機器の専門商社

ビジュアルコーポレーション

代表取締役 白木松敏

●本社 千歳市末広7丁目8番6号  
☎(0123)22-2385・FAX (0123)22-7841

ラバーグリップボールペン  
JIMNIE

事・務・に・イ・イ から

ゼブラ株式会社

お酒とタバコは  
千歳駅前

安達商店

千歳市千代田町6丁目 ☎23-2145

写真の鉄人

みゆき写真館

千歳市幸町5-13-9  
TEL 26-2723




★千歳特産

ハスカップ製品販売


- ハスカップの里ワイン
- ハスカップの里アイスクリーム
- ハスカップの里ジャム
- ハスカップの里ソーダー
- ハスカップの里ゼリー
- 白のシンフォニー  
(ハスカップ&レアチーズ)
- ハスカップの里キャラメル
- ハスカップの里キャンデー

★くらしに力を

● JA貯金/JAローン  
国家公務員給与の自動振込みが  
出来ます。又キャッシュカード  
も全国農協で利用できます。

★確かな保障  JA共済  
自動車、火災、建更、生命、各  
種保険を取扱っております。

ご相談、お問い合わせは

 **千歳市農業協同組合**  
JA千歳市

本 所：千歳市高台5丁目7-13 ☎(0123) 23-5151(代)  
東千歳支所：千歳市東丘824-69 ☎(0123) 21-3111(代)



新鮮な明日へ **KIRIN**

のどごしスッキリ、  
ラベルも一新、北の生。

大樽も大好評! (7L・15L・25L)

北海道限定生

**北のきりん**

北海道千歳市上長都949-1

—— **キリンビール(株)千歳工場** ——



歓迎

# 自治労千歳市職員労働組合

千歳市東雲町2丁目 電話 24-3131 内488、489

### ◆総合建築資材◆

加工部 一般製材・ラワン材・北洋材・防腐剤  
建築部 新建材・サッシ・セメント・生コン・土質資材  
金物部 土本資材・建築金物・住宅設備金物・家庭金物  
工事部 プロインジ・ウレタン・岩綿吹付

## 中村三商株式会社

本社 千歳市末広5丁目10番16号 ☎23-019180 F A X 23-1245 資材センター 根志越847番地 ☎27-6288

千歳市物品納入登録業者

## 有限会社 日旺大工 フジ

取扱品目 木材、大工道具、金物、塗料、園芸用品、物置、ガレージ、日常雑貨、マキタ電動工具、テラモト清掃用品、リンレイワックス

千歳市錦町2丁目1番地 電話 22局6477 F A X 22局4796

## 千歳地区ハイヤー事業協同組合

代表理事 渡部 茂

北海道千歳市北斗4丁目2番18号

TEL 0123-23-2731

かかわ <sup>みか</sup> 関る・琢く・興す <sup>おこ</sup>

## 全ふじやグループ

代表取締役 渡部 茂

〒060 千歳市真々地3-1-2 ☎(0123)23-2111(代)

貯めるコツ。

ふれまハンフ  
ろうきん

幸せは、ろうきんで大きく育てましょう。

期間が選べる手軽な定期預金。

スーパー定期

1年たてばお引き出しもOK。

ワイド定期

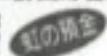
自由に使えて有利にふやせる。

貯蓄預金10/30

半年ごとに新しい金利を適用。

変動金利定期預金

給料天引きで有利に計画貯蓄。

財形貯蓄 

30分仕上げOK!!

きれいなカラー写真なら

(有)フォトプラザ・カネコ

〈いつでもどこでもカラーでうつそう!!〉

千歳市末広4丁目7-10 TEL 23-4081

学校法人 日本航空学園

## 日本航空専門学校

■航空整備科 ■航空電子科 ■航空制御科 ■空港技術科

〒066 千歳市泉沢1007-95 ☎0123-28-1155

有限会社 光健印刷

千歳市栄町1丁目1番地  
TEL (0123) 26-2239代  
FAX (0123) 23-1617

グループ総力結集・安さに挑戦・修理満点エイデンチェーン

 **エイデン北新電気**

千歳市千代田町4丁目 ☎(0123)23-9105

5台の修理無線車で即日修理モットーの店だから安心!



医療法人社団



# 向陽台歯科

院長 柏田 英人

診療時間/午前9時～午後6時 休診/土・日・祭日  
夜間診療/月・水・金 7:00まで

千歳市白樺2丁目2番地の1 ☎(0123) 28-3518代



医療法人社団 誠仁会

# 内科 梅ヶ丘クリニック

定休日・土曜日・祝日

院長 須甲 達也

(日曜日は午前中診療) 梅ヶ丘1の4の1 ☎22-3755

# くまがい薬房

北栄店 千歳市北栄1丁目26-4 ☎23-3602  
新富店 千歳市新富1丁目12-10 ☎23-4568

# 佐々木歯科

院長 佐々木 宇一 白樺五丁目3-11 ☎28-2488

美しい生活文化を創造する...

# FRANCE BED



フランスベッド株式会社

北海道工場

FRANCEBED

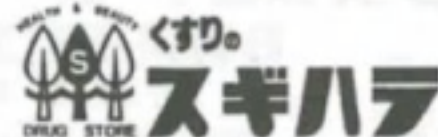
工場長 高塚 博守

北海道千歳市北信濃867番地  
TEL (0123) 23-5221

健康づくりは 幸せづくり

応援します

健やか家族



●錦町店 ●千代田店 ●富丘店  
●祝樽店 ●向陽台店 ●末広店 ●しなの薬局

# ステージ・ノアスポーツクラブ



千歳市北斗2丁目(国道36号線沿)  
お問い合わせは☎(0123) 27-5511代

stage  
NOAH  
SPORTS CLUB

救急指定病院

# 医療法人社団 遠藤病院

理事長 遠藤 昭治 ☎0123-24-1121代  
千歳市本町2丁目1番地

# 株式会社 くすりのもりた

新富店

千歳市新富2丁目5番2号

☎24-9388

高台店

千歳市高台4丁目3番6号

☎22-3489

# 横野整骨院

千歳市里美2丁目2-7(拓銀泉沢店横)

☎28-3616



トヨタカローラ札幌株式会社

千歳営業所

所長 原田 勝明

千歳市朝日町 8 丁目 1206 番地

TEL 0123-23-5191 FAX 0123-23-5287

あなたの一枚をエレガントに包む  
高級ドライクリーニング

おしゃれな  
青山クリーニング

千歳市北栄 1 丁目 29-3 営業時間 / 8 時 ~ 20 時

お気軽にお電話下さい。 ☎ 23-5474

まごころ贈答館

ヴァントワ

結婚・出産・入学・就職・金快・法事・新築・開店  
賞品・御中元・御歳暮 その他、各種贈答品

あなたの真心をお届けします

千歳市幸町 2 丁目 6 番地

☎ 0120-333760 ☎ (0123) 42-8823 FAX 27-6660

一心に残る贈物をあなたに

京呉服

ふろしむ

千歳市ニューサンロード 2 丁目 ☎ 23-347110

フリークス  
FREEX'S

— SPORTS —

各種スポーツ用品

成田スポーツ

〒061-13 北海道恵庭市恵み野西 2 丁目 8-3

TEL (0123) 37-0951 FAX (0123) 37-0952

お酒・ビール・洋酒販売・ご贈答品・カップ・トロフィー

株ギフトフード・大橋

千歳市千代田町 4 丁目 13

☎ 22-1001 FAX 23-0084

笑顔のアフターサービスで ずっと おつきあい

(株) 千歳日成暖房

〒066 千歳市白樺 5 丁目 16-4

☎ (0123) 28-3188

思い出の 1 ページを…撮ります。

PROFESSIONAL PHOTO PRODUCT  
zero  
studio

百日記念・七五三・成人式・入学  
証明写真など撮影します。

CHITOSE, SAKAECHO, 3-17 〒066  
Phone : 0123-24-8780

酒・飲料品・タバコ・雑誌・雑誌

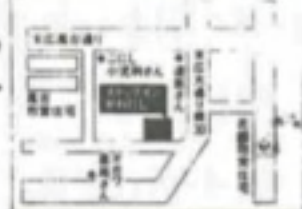
ホワイト急便 (クリーニング)

ストップインかわにし

千歳市花園 7 丁目 3-19

☎ 23-3893

☎ 営業時間 / AM 10:30 ~ PM 11:00



コスモ石油特約店

北日本石油株式会社

ガソリン、軽油を入れポイントを集めて

プレゼント

スタンプ集めてプレゼント

ガソリン、軽油を入れて毎週土・日は

プレゼント

BeerSt 信濃サービスステーション

信濃 4 丁目 ☎ 22-0258

スタッフ一同心よりおまちしております。

所長 奥野正幸

ロータス 太陽モーター(株)

日教済指定工場

民間車検場

TEL 0123-36-8143

恵庭市島松寿町 2 丁目 9-3

車検・整備・钣金塗装



何かが違う 神出設計の注文住宅

KES.  
Enjoy Beautiful Life

株式会社 神出設計

本社 / 千歳市花園 4 丁目 1 番 5 号 (サーモンパーク横) TEL 0123-23-4879  
道新マイホームセンターモデルハウス / 千歳市栄町 4 丁目 TEL 0123-22-8757

恵庭営業所 / 恵庭市恵み野西 1 丁目 23 番 11 TEL 0123-37-4879  
札幌営業所 / 札幌市北区北 36 条西 9 丁目 2 番 34 号 TEL 011-729-2879



# 焼物専門店



有限会社 居酒屋 **番屋**

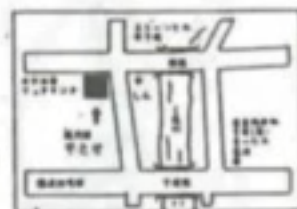
千歳市清水町1丁目29番地  
☎(0123)23-4588

# 銘酒と炭火焼の店

特製若鳥の炭火焼き・焼おにぎり  
焼き魚・牛ステーキ  
その他メニュー豊富



居酒屋 **千とせ**



千歳市錦町1丁目20-9  
☎42-0270

# 親しい仲間と乾杯!!

御宴会プラン-10名様以上2時間  
**焼肉食べ放題+何でも飲み放題(90分)**  
お一人様**3,500円** 女性**2,800円**

成吉思汗食べ放題+何でも飲み放題(90分)  
お一人様 男性 **2,750円** 女性 **2,200円**  
...食べ放題は3人以上にて...

焼き肉食べ放題(60分)  
**1,800円**

ヨツヨツタイ  
焼肉の **手々亭**

お申し込み  
お問い合せは ☎23-9634・24-1231 ちとせ錦町2丁目  
(つば八さん2階)

# Asahi

生、キレ、鮮度  
スーパードライ

**アサヒビール園 千歳**

千歳市千代田町4丁目1番  
道銀千歳ビル4F  
電話 0123-22-6111

一家団らんの  
ひとときは...  
「80名様まで」

各種ご宴会承り中

定休日「月曜日」です。  
千歳市幸町(ニューサンロード1丁目) ☎22-4711

観光とビジネスの  
拠点として  
お気軽にご利用下さい。

24時間営業

千歳市錦町2丁目10-3 (国道36号線) ☎23-11668D

とんかつ亭  
寿し・天ぷら  
ほうりん  
**豊輪**

ビジネス  
HOTEL  
ほうりん  
**豊輪**

宴会・二次会予約承ります

**飲み放題** 男性¥2,000 (2時間)  
女性¥1,700

ウイスキー・焼酎・ジュース・レーザーカラオケサービス

スナック **えみ** PM6時~AM1時

■1F 50名様収容 ■2F 40名様収容 ■  
千歳市清水町2丁目 ☎22-5915

ナイトパブ **エイトスター**

■80名様収容 ■ PM8時~AM4時  
千歳市清水町3丁目パレスビル3F ☎26-8888

NOEVIR  
JICP

JICP販売代理店  
千歳第一主任代理店  
高田 照子

〒066 千歳市豊栄2丁目2899  
TEL (0123)23-2797  
FAX (0123)23-2797

ヘアースタジオ

**髪 芝 居**

恵庭市島松神町270番地 ☎0123(37)2977

sushi **若館**

小僧壽しチェーン

北栄店 千歳市北栄2丁目619 ☎24-8066  
花園店 千歳市花園5丁目10番 ☎24-8557  
有明店 恵庭市有明町803番地 ☎33-7606

# ローソン千歳北栄店

(有)北新ストアー

いつでもバッチリ/配達OK!!

年中無休・24時間営業

千歳市北栄1丁目27-6 ☎23-5607



千歳市清水町二 電話③④〇四〇



千歳市清水町3丁目 ☎0123(23)2333

スナック

# 火の鳥

# 喰い処・飲み処 やすべ

☎(0123)24-6726

千歳市幸町2丁目11番地

# 金太郎

寿し食べ放題 2,500円 5時~8時(先着10名)

千代田町2丁目1-1 電話24-9786

日本名物・大衆酒蔵



千歳市千代田町2-1-1 TEL0123(27)4800



# スナック 華舞

広島町ダイエービル3F ☎373-7054



北国の暖かいひととき

すなック

# サントリー館

清水町2丁目

☎23-2289

朝鮮料理 焼肉

# アヒラン

千歳市千代田町1丁目1-9 TEL0123(23)3132

# すし処 幸 鮨

千歳市清水町3丁目 ☎23-2608 ☎24-6428 駐車場有り 定休日・第2・4・5日曜日

# 千両 寿司

和食  
ご宴会

本店 千歳市幸町3丁目7番地 ☎(0123)23-2304 ☎(0123)23-3450  
支店 千歳美々新千歳空港ターミナルビル1F ☎(0123)46-5813

天ふら専門店  
空港店



# 海老天

本店 千歳市幸町6丁目1-20 電話(0123)23-5656  
空港店 新千歳空港内 電話(0123)46-5656



天婦羅  
うなぎ  
鍋もの一式  
御料理


# 鮨の万代

千歳市清水町3 祇園通 ☎24-1245  
☎24-5219  
事務所 23-4008

# いすはにほへと

千歳店 千歳市幸町3丁目ふじやセブンビル1F 営業時間 PM5:00~AM1:00 (年中無休)

宴会のご予約はお電話で  
TEL0123-26-1682

 とんかつ 泉

千歳市錦町2丁目 ☎27-5221

スナック **BA-TSU**

レーザーカラオケの店



千代田町1丁目1番地 ☎23-2597

千歳市幸町2丁目

樹之家

TEL27-2841

ホリウム 味自慢 広東麵

ラーメン キョーザ **満洲処**

千歳市千代田町3丁目 tel 0123-23-2252

食事処

ぐるめ亭

千歳市新富2丁目5-14 (生協新富店前)  
☎26-2777

お食事処 美空

千歳市清水町2丁目  
tel 23-2737

スナック

サークル

〒066 千歳市千代田町1丁目 (月光館2F)  
TEL0123-22-8206

SNACK 優

高田照子  
〒066 千歳市清水町2丁目つしまビル1F  
TEL (0123) 22-0908番

ナイト・パブ

坊主

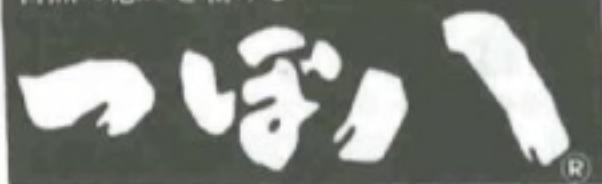
千歳市清水町3丁目15-3  
TEL 0123-23-3071

新潟の銘酒とカラオケで楽しめる店

居酒屋 パブ 奴

千歳市清水町 (祇園通) 2丁目  
tel 24-0037

自然の恵みを届ける



千歳店

千歳市錦町2丁目28番地 TEL26-2000

スナック 夢

千歳市幸町3-19-1  
tel 22-7329

36 **友エツアサム**

〒066 千歳市清水町2丁目 (清月ビル2F)  
TEL (0123) 22-7456

焼肉本舗 **龍乃屋**

営業時間 千歳市富丘4丁目 ☎24-9808  
PM5:00~PM11:00

ぽん太



宴 ぽん太

北広島駅前 入船ビル2F  
☎372-1911

スナック 六本木

千歳市清水町2丁目 軸ビル1F  
TEL 0123-24-4512



食季の店  
季節料理  
**あき味**  
千歳市清水町2丁目 でんわ22-0368

LOUNGE  
**シルクロード**  
千歳市  
清水町3丁目  
☎26-2525



此れが本場の  
炒めた焼き  
銘酒秋田  
**おぼし**  
本店  
苫小牧市錦町  
一丁目六の八  
32  
八七七六  
支店  
千歳市清水町  
二丁目十九  
22-1296



手打そば・うどん  
鮎房  
**長之家**  
千歳市白樺2丁目4番地10 ☎(0123)28-2464

営業時間/AM11:00~PM2:00  
PM 5:00~PM8:00  
定休日/毎週火曜日



すし物語  
**季の風**  
千歳市錦町  
1-19-4  
TEL (0123)  
22-0278



**天ぷら 倶楽部**  
千歳市錦町4丁目16  
☎27-5108



スタンド割烹  
**源氏**  
千歳市清水町1丁目12 TEL (24)6794

真心のこもった サービスで  
御満足 頂けます。  
串焼・若鶏  
一品料理  
**鳥天**  
千歳市千代田町2丁目 ☎22-3969

今日のお昼は  
ボリュームたっぷり  
ハンタッキーのお弁当で  
◀営業時間 AM11:30~PM11:00▶  
ビア・レストラン **ケンタッキー**  
千歳市本町1丁目20番地  
TEL 23-3040

SNACK  
**西鶴**  
千歳市千代田町1丁目月光館1F  
TEL 24-1763




スナック  
**コムカラ**  
千歳市幸町3丁目 千成ビル5F  
TEL 22-2227

居酒屋  
**はやし**  
千歳市幸町3丁目 千成ビル2F  
TEL (0123)27-7373  
焼酎店 スナック 舞  
TEL 0123-23-1791

スナック  
**3 3 3**  
サンズリー  
〒066 千歳市清水町2丁目仲通り  
サンフラワービル 2F  
☎(0123)24-7029

千歳の新名所、カラオケ&御飲食処  
**ビッグエース**  
☎(0123)22-8880  
清水町1丁目25番地

**水車ラーメン**  
☎27-2788  
千歳市稲穂1丁目2-1  
(定休日・毎週水曜日、第1水・木は連休)  
(営業時間: AM11:00~PM8:00) お気軽にお電話下さい。



ご家族で味わっていただける店!!  
〒066 千歳市錦町1丁目12の11  
**焼肉のニコニコ屋**  
電話 24-2525番  
電話 24-5050番

労働保険の事務手続きは当社が代行いたします  
取扱い種目 雇用・労災・健康保険、建設業許可願等、諸官庁指名願等  
労働保険事務組合

# 千歳行政事務代行社

行政書士代表 村松克重  
社会保険労務士

電話 23-3524

千歳青葉会

平方雄二

千歳市北光2丁目2-15 ☎24-5047

## KOKUYO

コクヨは、人と環境に優しい企業として  
環境資源の問題に積極的に取り組んで  
います。

株式会社 北海道コクヨ

## Total Media Plaza

千歳民報は地域の総合情報紙として  
ニュースを伝えるのはもち論、地域の課題を  
掘り起こして問題提起し、読者とともに考え、望ましい地域社会形成の  
お役に立ちたいと思います。  
今後も千歳民報を、ご愛読ください。  
購読のお申し込みは、お近くの千歳民報販売店まで。

地域の総合情報広場  
**千歳民報社**

〒066 千歳市北斗2丁目10番15号 TEL.(0123)23-4211  
恵庭支局/〒061-14 恵庭市佐志町397-1 TEL.(0123)32-3127



小さな伝票から大きなチラシまで

印刷の御用命は

# (有)松浦印刷

千歳市栄町4丁目 ☎23-2628 FAX 23-0530



千歳市立千歳中学校  
 千歳市立千歳中学校  
 千歳市立千歳中学校

# 千歳市立千歳中学校

千歳市立千歳中学校



テーマ文字  
 表紙絵  
 カット

石狩造形連盟顧問 (元委員長)  
 石狩造形連盟顧問 (前委員長)  
 石狩造形連盟顧問

三上 晤氏  
 巖 信栄氏  
 奈良 孝秋氏

## 第45回 全道造形教育研究大会 いしかり'95千歳大会

実行委員会事務局：〒066 千歳市栄町4丁目35番地  
 千歳市立千歳中学校  
 吉田英夫  
 ☎ 0123-23-3161 FAX 0123-23-3163



全道造形教育研究大会  
いしかり'95千歳大会

